

# 第1回課題調査

## 第I部 調査の概要



## 1 調査の目的

県政の直面する重要な課題や県民生活に関するテーマにおける県民ニーズを把握し、今後の行政施策の展開に資することを目的とする。

## 2 調査内容

- (1) 食の安全・安心
- (2) 食・食育
- (3) かながわの農林水産業
- (4) かながわの水源地域
- (5) 地域社会との関わり
- (6) 地域活動
- (7) 治安対策
- (8) 地震対策の取組み
- (9) 自転車ヘルメットの着用
- (10) スポーツ
- (11) ともに生きる社会かながわ
- (12) 受動喫煙
- (13) 肝炎対策

## 3 調査設計

- (1) 調査地域 神奈川県全域
- (2) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の男女
- (3) 標本数 4,000 標本
- (4) 標本抽出方法 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法  
ア 郵送による調査票の配布  
イ 郵送回答とインターネット回答の併用
- (6) 調査期間 令和 7 年 9 月 5 日（金）～9 月 30 日（火）
- (7) 調査委託機関 株式会社 CCNグループ

## 4 回収結果

- (1) 全体の回収結果

標 本 数	4,000 標本
有効回収数	1,905 標本 〔 郵送回答 : 1,078 件 〕 〔 インターネット回答 : 827 件 〕
有効回収率	47.6%

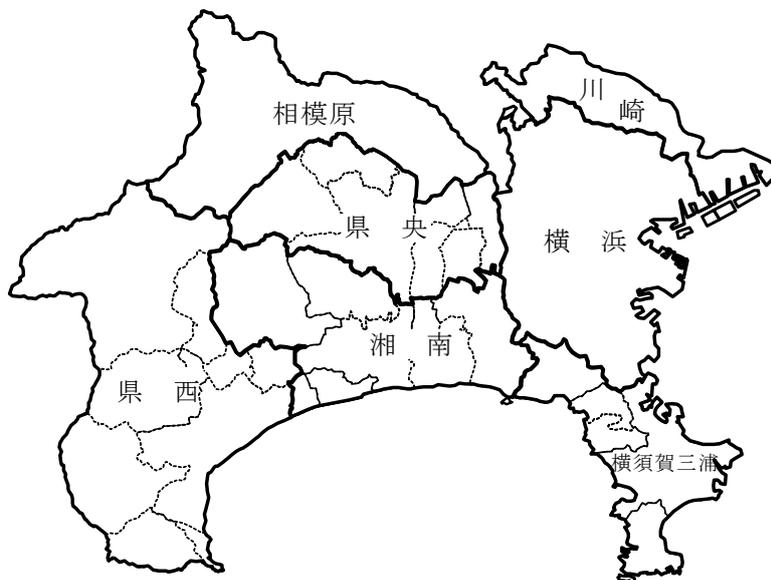
(2) 地域別の回収結果

地 域		設計標本数	有効回収数	有効回収率
横浜	横浜市	1,620	736	45.4%
川崎	川崎市	660	324	49.1%
相模原	相模原市	300	133	44.3%
横須賀三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町	300	127	42.3%
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村	380	213	56.1%
湘南	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町	580	275	47.4%
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	160	73	45.6%
無 回 答			24	
全 体		4,000	1,905	47.6%

5 標本の抽出方法について

- (1) 県内を7地域に分類し、さらに各地域を人口規模によって層化した。
- (2) 各地域・人口規模別の層における18歳以上の人口（令和6年1月1日現在の推計値）により、4,000標本を比例配分した。
- (3) 比例配分した標本数を20（1地点あたりの標本数）で除し、地点数を算出した。

地域区分図



## 地点数及び標本配分

地域	人口50万人以上の市	人口50万人未満の市	町 村	計
横 浜	3,156,795人 81地点 1,620標本	-	-	3,156,795人 81地点 1,620標本
川 崎	1,283,024人 33地点 660標本	-	-	1,283,024人 33地点 660標本
相模原	607,446人 15地点 300標本	-	-	607,446人 15地点 300標本
横須賀三浦	-	557,093人 14地点 280標本	25,917人 1地点 20標本	583,010人 15地点 300標本
県 央	-	689,893人 18地点 360標本	36,552人 1地点 20標本	726,445人 19地点 380標本
湘 南	-	1,017,415人 26地点 520標本	91,084人 3地点 60標本	1,108,499人 29地点 580標本
県 西	-	193,400人 5地点 100標本	90,880人 3地点 60標本	284,280人 8地点 160標本
人口計	5,047,265人	2,457,801人	244,433人	7,749,499人
地点数計	129地点	63地点	8地点	200地点
標本数計	2,580標本	1,260標本	160標本	4,000標本

※ 人口数は、「神奈川県年齢別人口統計調査（令和6年1月1日現在）」（県統計センター）をもとに、18歳以上の各市区町村の人口を積算したものである。

## 6 集計・分析にあたって

- (1) 集計にあたっては、小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (2) 標本数「n」は「number of cases」の略で、質問に対する回答者数を表す。
- (3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並べ替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。（例えば、「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせたものを《重要である》と表現している。）また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (6) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。
- (7) 今後の精査により、数値等は変動することがある。

## 7 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数調査をした場合に得られる数値）と異なることがある。これを標本誤差という。

層化二段無作為抽出の場合、信頼度 95%のときの標本誤差は次の式で算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$b$  = 標本誤差  
 $N$  = 母集団数  
 $n$  = 回答者数  
 $P$  = 回答比率

上の式により、回答者数（ $n$ ）、および回答比率（ $P$ ）ごとに信頼度 95%のときの標本誤差(%)を計算すると、おおよそ次表のとおりとなる。

回答比率（ $P$ ） 回答者数（ $n$ ）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,905	± 1.94	± 2.59	± 2.97	± 3.17	± 3.24
1,200	± 2.45	± 3.27	± 3.74	± 4.00	± 4.08
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
200	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数（ $n$ ）が 1,905 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差は 95%の信頼度で、±3.17 以内（真の値は、56.83%～63.17%）である」とみることができる。

## 8 回答者の属性

(1) 居住地域 (n=1,905) (%)

横浜	38.6
川崎	17.0
相模原	7.0
横須賀三浦	6.7
県央	11.2
湘南	14.4
県西	3.8

(無回答 1.3)

(2) 性別 (n=1,905) (%)

男性	43.4
女性	53.4

(無回答 3.1)

(3) 年齢 (n=1,905) (%)

18～29歳	5.1
30～39歳	11.3
40～49歳	17.8
50～59歳	22.7
60～69歳	18.5
70～74歳	7.6
75歳以上	12.0

(無回答 4.8)

(4) 子どもの状況 (複数回答) (n=1,905) (%)

小学校入学前	6.8
小学校在学中	10.4
中学校在学中	7.1
高校在学中	6.5
短大、専門学校等在学中	0.8
大学、大学院等在学中	8.3
学校教育終了[未婚]	22.3
学校教育終了[既婚]	22.5
その他	2.7
子どもはいない	30.6

(無回答 5.5)

(5) 家族形態 (n=1,905) (%)

一人暮らし (単身世帯)	16.1
夫婦のみ (1世代世帯)	27.8
親と子の世帯 (2世代世帯)	43.4
祖父母と親と子の世帯 (3世代世帯)	3.6
その他の世帯	4.1

(無回答 5.0)

(6) 職業区分 (n=1,905) (%)

自営業主・ 家族従業者	自営業主	5.0
	家族従業者	1.2
勤め・内職	勤め (フルタイム)	40.9
	勤め (パートタイム)	15.2
	内職	0.2
主婦・主夫 (勤めていない)		13.2
学生		0.9
無職		14.4
その他		2.4

(無回答 6.7)

(6-1) 有職者の職業内容 (n=1,191) (%)

自営業主・ 家族従業者	農林水産業	0.4
	商工サービス業	4.4
	自由業	4.5
勤め・内職	経営・管理職	7.1
	専門・技術職	23.9
	事務職	24.5
	教育職	4.9
	技能・労務職	9.2
	販売・サービス職	18.3

(無回答 2.8)



## 第 1 回課題調査

# 第Ⅱ部 調査結果の概要



## 調査結果の概要

### 【記載内容についての注意】

- ・ 調査結果の比率（％）の数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。
- ・ 複数回答の設問では、その比率（％）の合計が100%を上回ることがある。
- ・ 文中の「n」は、「number of cases」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- ・ 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせた場合に用いる。

例：問3で「持っていると思う」と「ある程度持っていると思う」を合わせたものを《持っていると思う》と表現している。

また、この場合の比率は実際の回答数の合計から算出しており、個々の選択肢の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。

- ・ 文中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

## 1 食の安全・安心（問1～問3）

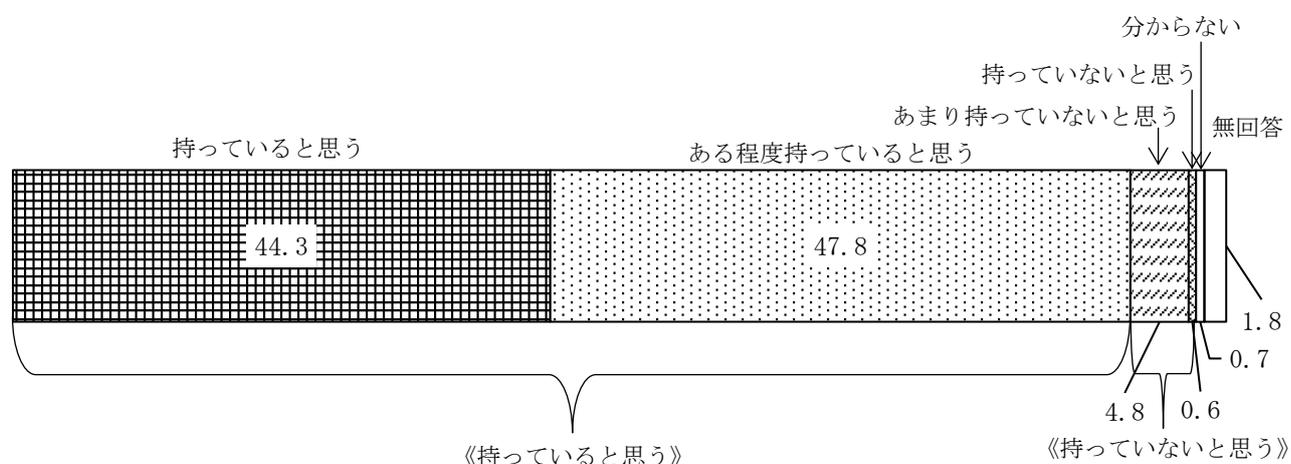
県では、県民の皆様の食の安全・安心の確保に向けた取組みを推進しています。今回、食品を安全に食べるために必要な知識などについて調査しました。

### ▼食品を安全に食べるために必要な知識（問3）

食品を安全に食べるために必要な知識（例えば、調理や食事前によく手を洗う、生肉はよく加熱するなど）を持っていると思うか尋ねたところ、「持っていると思う」（44.3％）と「ある程度持っていると思う」（47.8％）を合わせた《持っていると思う》は92.1％であった。

一方、「持っていないと思う」（0.6％）と「あまり持っていないと思う」（4.8％）を合わせた《持っていないと思う》は5.4％であった。〔図表1〕

図表1 食品を安全に食べるために必要な知識（n=1,905）（％）



## 2 食・食育（問4～問7）

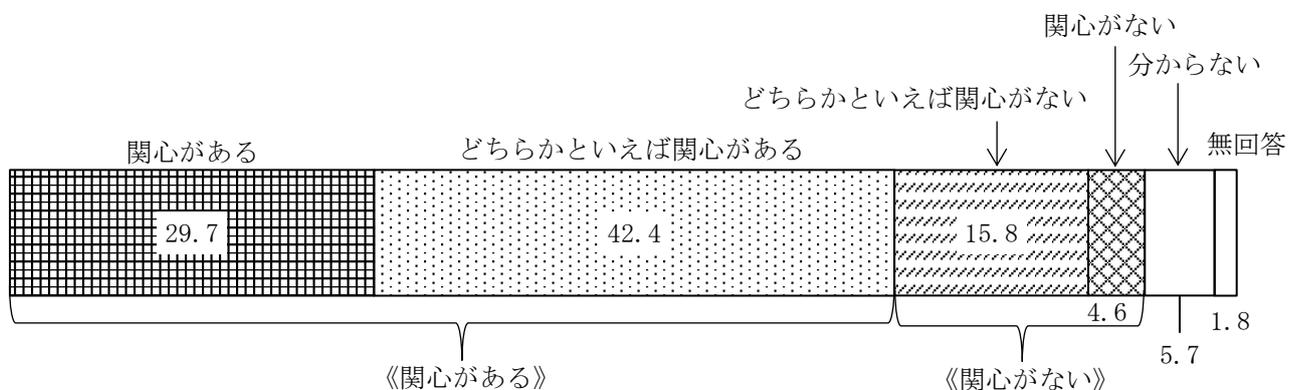
県では、未病を改善するための重要な要素である「食」について、県民一人ひとりが理解を深め、健全な食生活を実践することで、誰もが元気に笑顔で長生きできる社会の実現を目指して、「食育」を推進しています。今回、「食育」への関心などについて調査しました。

### ▼「食育」への関心（問4）

「食育」に関心があるか尋ねたところ、「関心がある」（29.7%）と「どちらかといえば関心がある」（42.4%）を合わせた《関心がある》は72.1%であった。

一方、「関心がない」（4.6%）と「どちらかといえば関心がない」（15.8%）を合わせた《関心がない》は20.4%であった。〔図表2〕

図表2 「食育」への関心（n=1,905）（%）



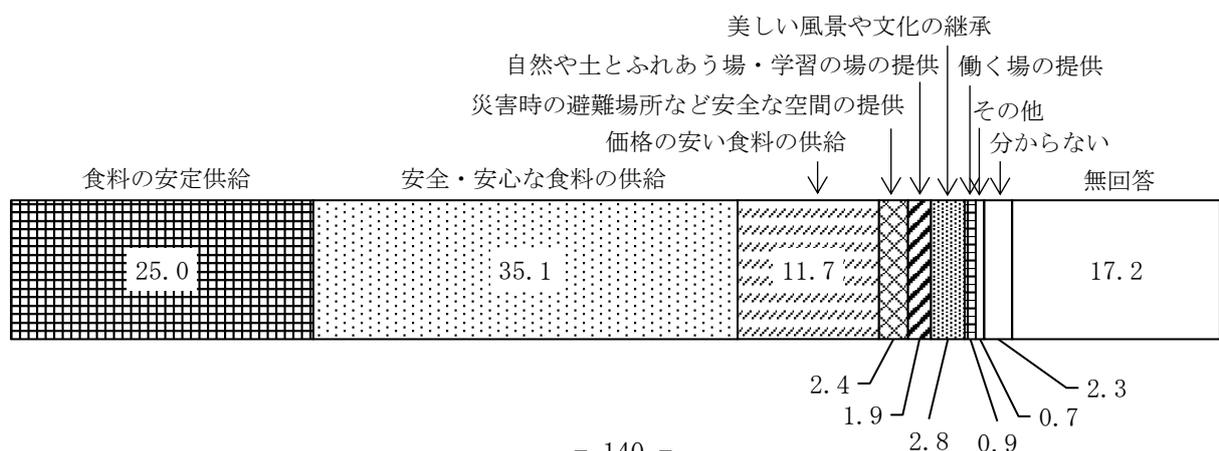
## 3 かながわの農林水産業（問8～問11）

県では、都市農業の持続的な発展を図るため、地産地消の推進や多様な担い手の育成などの取組みを進めています。今回、県の農業に期待する役割などについて調査しました。

### ▼県の農業に期待する役割（問8）

県の農業にどのような役割を期待するか尋ねたところ、「安全・安心な食料の供給」が35.1%で最も多く、次いで「食料の安定供給」が25.0%であった。〔図表3〕

図表3 県の農業に期待する役割（n=1,905）（%）



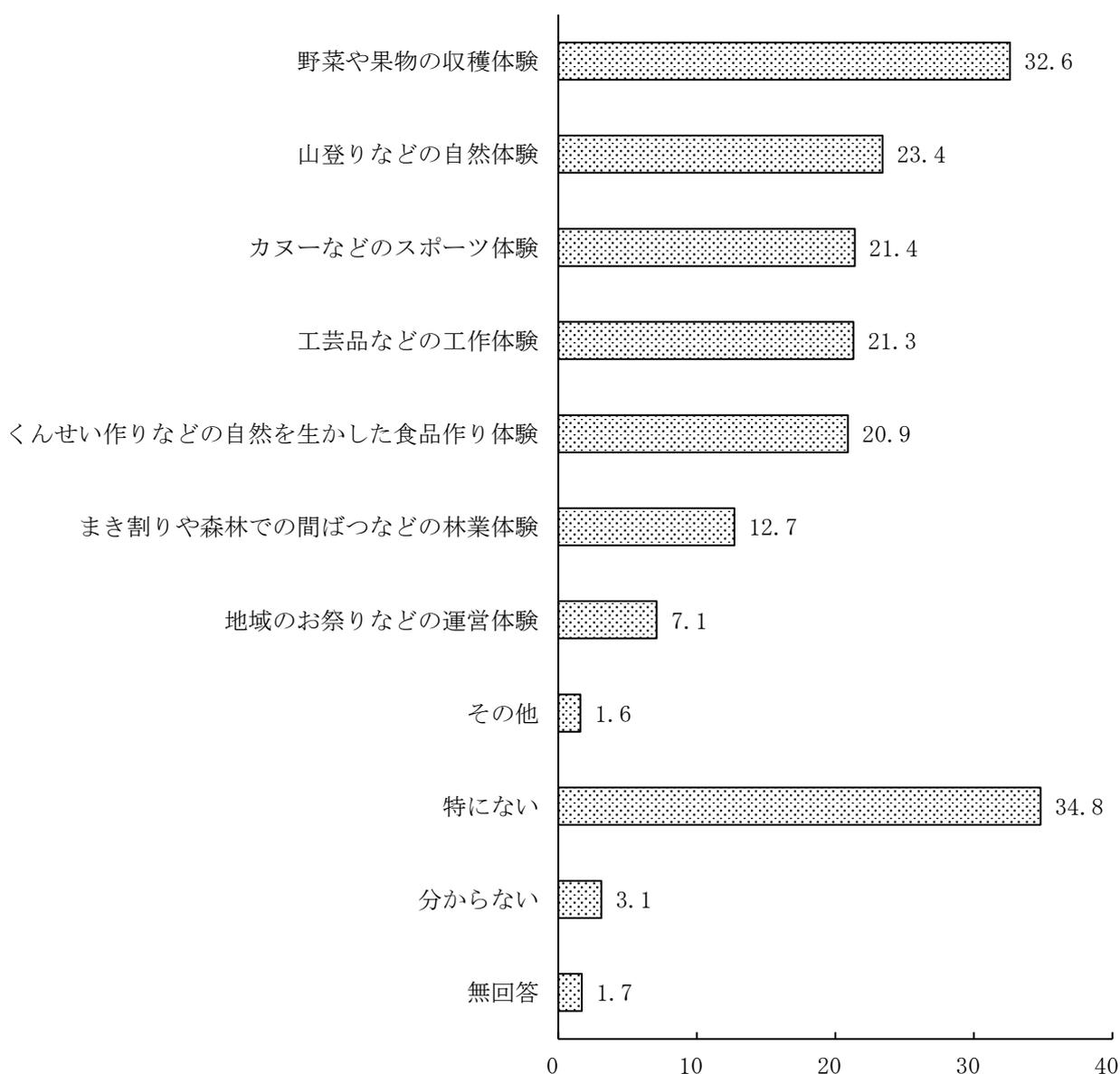
#### 4 かながわの水源地域（問 12～問 14）

県では、水源地域を取り巻く環境を良好な状態で維持していくため、水源地域における交流を通じて、水源地域の活性化と水源環境の理解促進に取り組んでいます。今回、水源地域で参加したい活動などについて調査しました。

##### ▼水源地域で参加したい活動（問 13）

水源地域で参加したい活動はあるか複数回答で尋ねたところ、「野菜や果物の収穫体験」が 32.6%で最も多く、次いで「山登りなどの自然体験」が 23.4%であった。[図表 4]

図表 4 水源地域で参加したい活動（複数回答）（n=1,905）（%）



## 5 地域社会との関わり（問15）

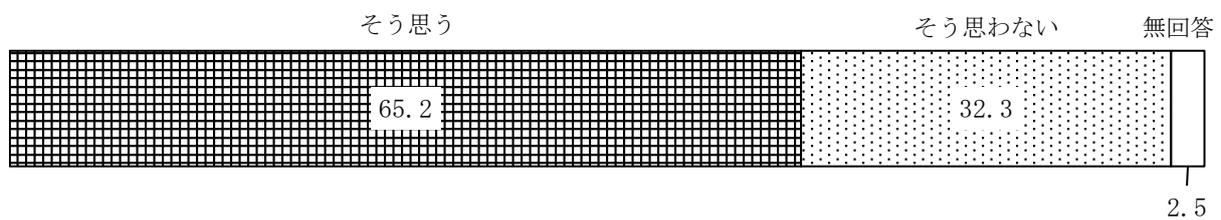
県では、人生100歳時代におけるコミュニティ再生・活性化に向けた取組みを推進しています。今回、地域社会との関わりを大切にすることを意識について調査しました。

### ▼地域社会との関わりを大切にすることを意識（問15）

長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしているか尋ねたところ、「そう思う」が65.2%であった。

一方、「そう思わない」が32.3%であった。〔図表5〕

図表5 地域社会との関わりを大切にすることを意識（n=1,905）（%）



## 6 地域活動（問16～問18）

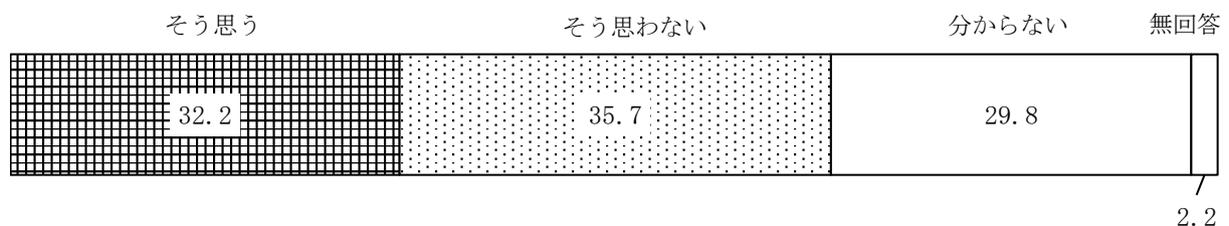
県では、急速な高齢化と子育て世帯や若者の流出による、地域コミュニティの活力低下などの住生活に係る課題解決に向けて、「多世代居住のまちづくり」などの施策を推進しています。今回、地域住民の意向を確認するため、地域活動への参加意欲などについて調査しました。

### ▼地域活動への参加意欲（問17）

地域活動に参加したいと思うか尋ねたところ、「そう思う」が32.2%であった。

一方、「そう思わない」が35.7%であった。〔図表6〕

図表6 地域活動への参加意欲（n=1,905）（%）



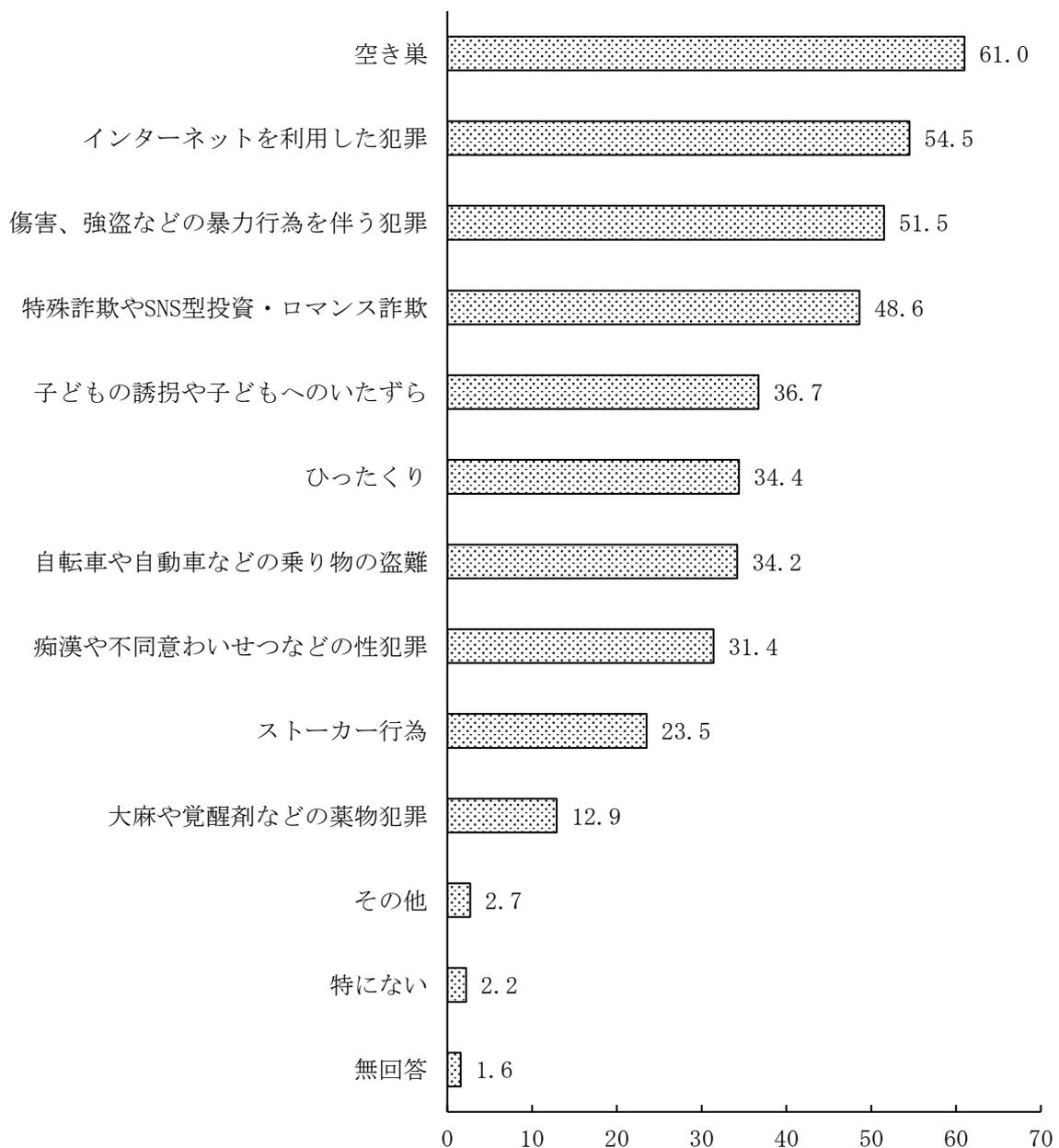
## 7 治安対策（問 19～問 21）

県警察では、県民が身近に不安を感じる犯罪の抑止・検挙活動を始めとした各種警察活動を推進し、県民の皆様が安全で安心してくださる地域社会の実現に努めています。今回、不安を感じる犯罪などについて調査しました。

### ▼不安を感じる犯罪（問 19）

不安を感じる身近な犯罪について複数回答で尋ねたところ、「空き巣」が 61.0%で最も多く、次いで「インターネットを利用した犯罪」が 54.5%であった。〔図表 7〕

図表 7 不安を感じる犯罪（複数回答）（n=1,905）（%）



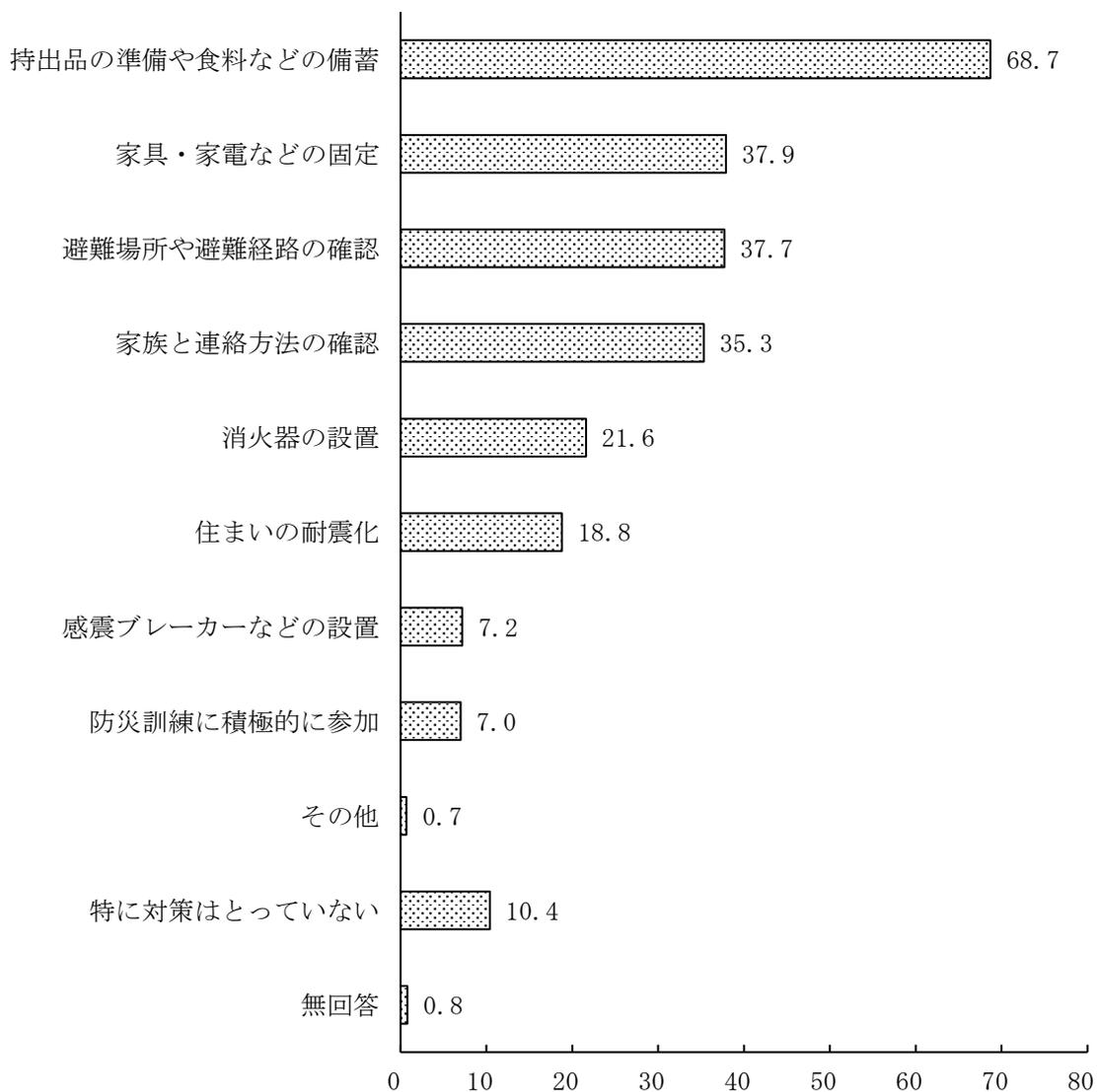
## 8 地震対策の取組み（問 22）

県では、「誰一人取り残さない」防災を目指して戦略的に取り組むためのアクションプランである「神奈川県地震防災戦略」を策定するなど、防災・減災対策の取組みを推進しています。今回、大きな地震に備えて家でとっている対策について調査しました。

### ▼大きな地震に備えて家でとっている対策（問 22）

大きな地震に備えて家でどのような対策をとっているかを複数回答で尋ねたところ、「持出品の準備や食料などの備蓄」が68.7%で最も多く、次いで「家具・家電などの固定」が37.9%であった。[図表 8]

図表 8 大きな地震に備えて家でとっている対策（複数回答）（n=1,905）（%）



## 9 自転車ヘルメットの着用（問 23）

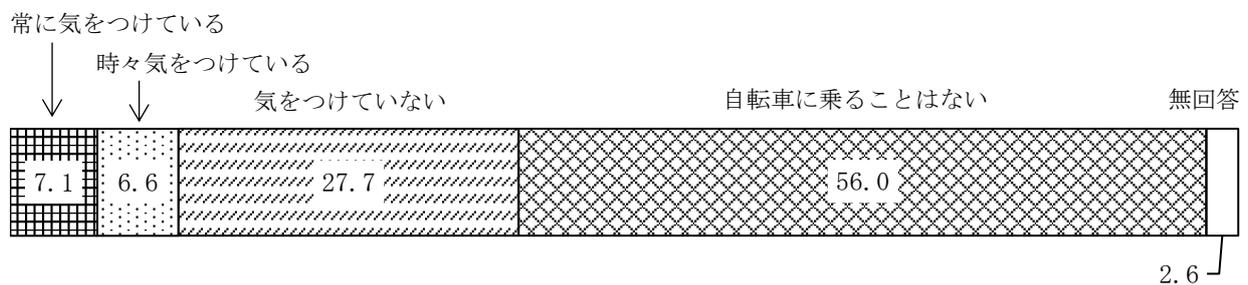
県では、「神奈川県交通安全計画」に基づき、交通事故のない安全で安心してらせる社会を目指して、交通安全対策を推進しています。今回、自転車ヘルメットの着用に関する意識について調査しました。

### ▼自転車ヘルメットの着用に関する意識（問 23）

自転車に乗るときは、ヘルメットを着用するよう気をつけているか尋ねたところ、「常に気をつけている」が7.1%、「時々気をつけている」が6.6%であった。

一方、「気をつけていない」が27.7%であった。[図表 9]

図表 9 自転車ヘルメットの着用に関する意識（n=1,905）（%）



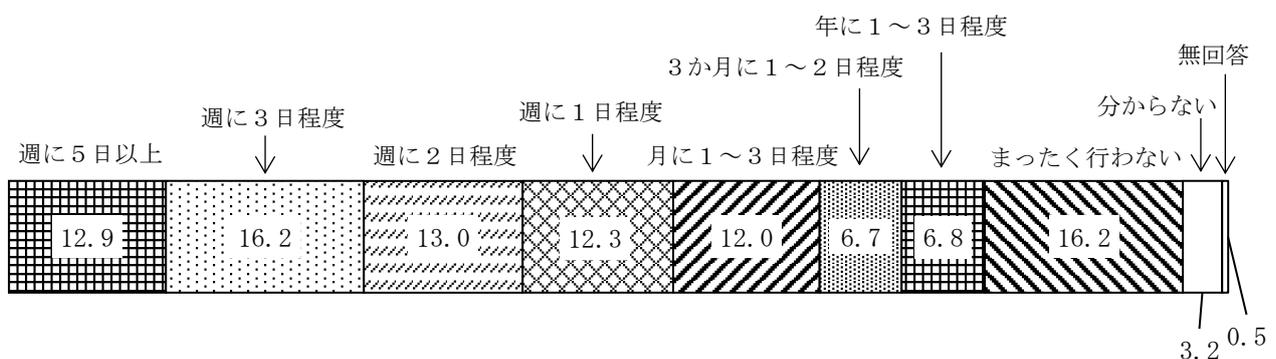
## 10 スポーツ（問 24～問 27）

県では、「神奈川県スポーツ推進条例」に基づき、神奈川県スポーツ推進計画「エンジョイ・スポーツ！かながわプラン」を策定し、様々なスポーツ施策に取り組んでいます。今回、1年間のスポーツ実施日数などについて調査しました。

### ▼1年間のスポーツ実施日数（問 25）

この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツをした日数を尋ねたところ、「週に3日程度」と「まったく行わない」が16.2%と同じ割合で最も多く、次いで「週に2日程度」が13.0%であった。[図表 10]

図表 10 1年間のスポーツ実施日数（n=1,905）（%）



## 11 とともに生きる社会かながわ（問 28～34）

平成 28 年 7 月に県立の障害者支援施設である「津久井やまゆり園」で発生した事件が二度と繰り返されないよう、県は、ともに生きる社会の実現をめざし、県議会とともに「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しました。この憲章の理念を広く県民の皆様に普及する活動を行い、ともに生きる社会の実現に向けた取組みを推進しています。今回、「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度などについて調査しました。

### ▼「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度（問 29）

「ともに生きる社会かながわ憲章」を知っているか尋ねたところ、「知っている」（5.5%）と「言葉は聞いたことがある」（22.8%）を合わせた《「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度》は 28.3%であった。

一方、「知らなかった」が 70.2%であった。〔図表 11〕

図表 11 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度（n=1,905）（%）



《「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度》

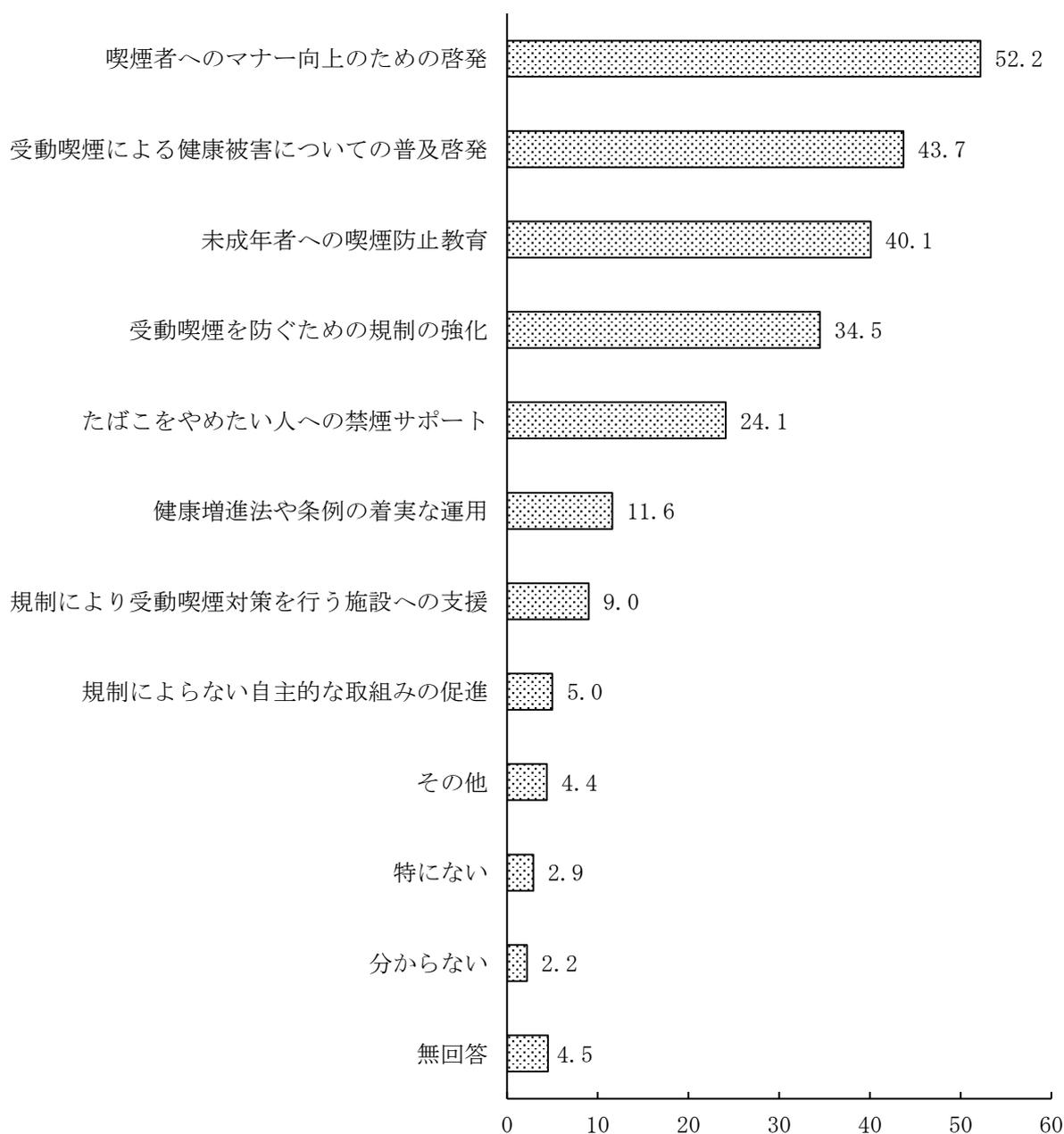
## 12 受動喫煙（問 35～37）

県では、健康増進法や神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例に基づき、生活習慣病などを発症するリスクの減少を目指して、望まない受動喫煙の機会を減らす環境づくりに取り組んでいます。今回、受動喫煙を防ぐために、県に期待することなどについて調査しました。

### ▼受動喫煙を防ぐために、県に期待すること（問 37）

受動喫煙を防ぐために、県にどのようなことを期待するか複数回答（3つまで選択可）で尋ねたところ、「喫煙者へのマナー向上のための啓発」が 52.2%で最も多く、次いで「受動喫煙による健康被害についての普及啓発」が 43.7%であった。〔図表 12〕

図表 12 受動喫煙を防ぐために、県に期待すること（複数回答）（n=1,905）（%）



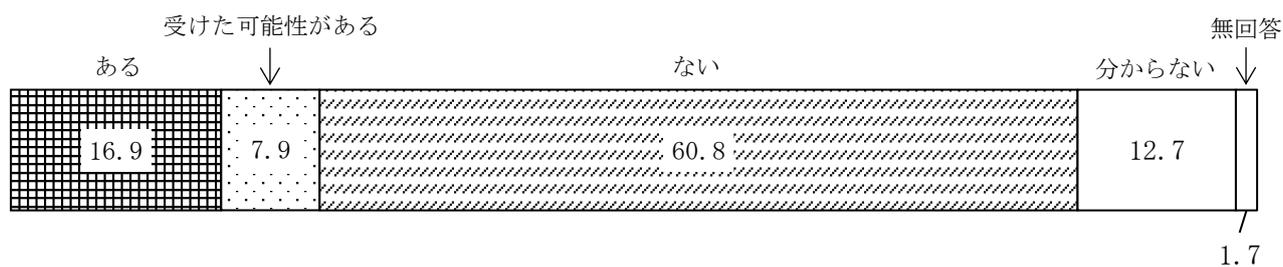
### 13 肝炎対策（問 38～問 39）

県では、「神奈川県肝炎対策推進計画」を策定し、肝炎治療医療費の助成など、様々な対策に取り組んでいます。今回、「肝炎ウイルス検査」の受検状況などについて調査しました。

#### ▼「肝炎ウイルス検査」の受検状況（問 39）

これまでに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがあるかを尋ねたところ、「ある」が 16.9%であった。一方、「ない」が 60.8%であった。〔図表 13〕

図表 13 「肝炎ウイルス検査」の受検状況（n=1,905）（%）



## 第Ⅲ部 調査結果の詳細

### 【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of cases」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。



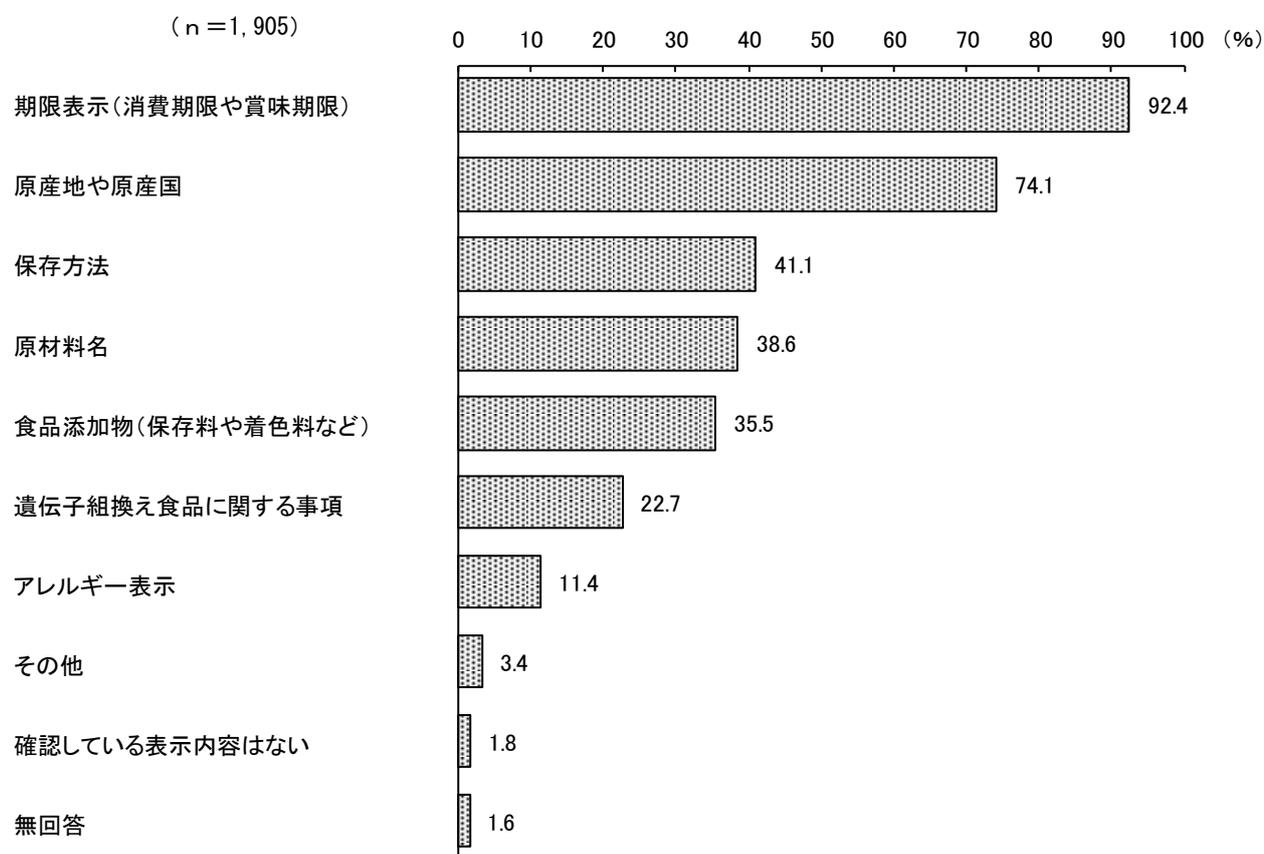
# 第1章 食の安全・安心【問1～問3】

## 1 食品を購入する際に確認している表示内容【問1】

### 【全体の状況】

食品を購入する際に、確認している表示内容を複数回答で尋ねたところ、「期限表示（消費期限や賞味期限）」が92.4%で最も多く、次いで「原産地や原産国」が74.1%であった。（図表1-1-1）

図表1-1-1 食品を購入する際に確認している表示内容（複数回答）



図表1-1-2 食品を購入する際に確認している表示内容（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)

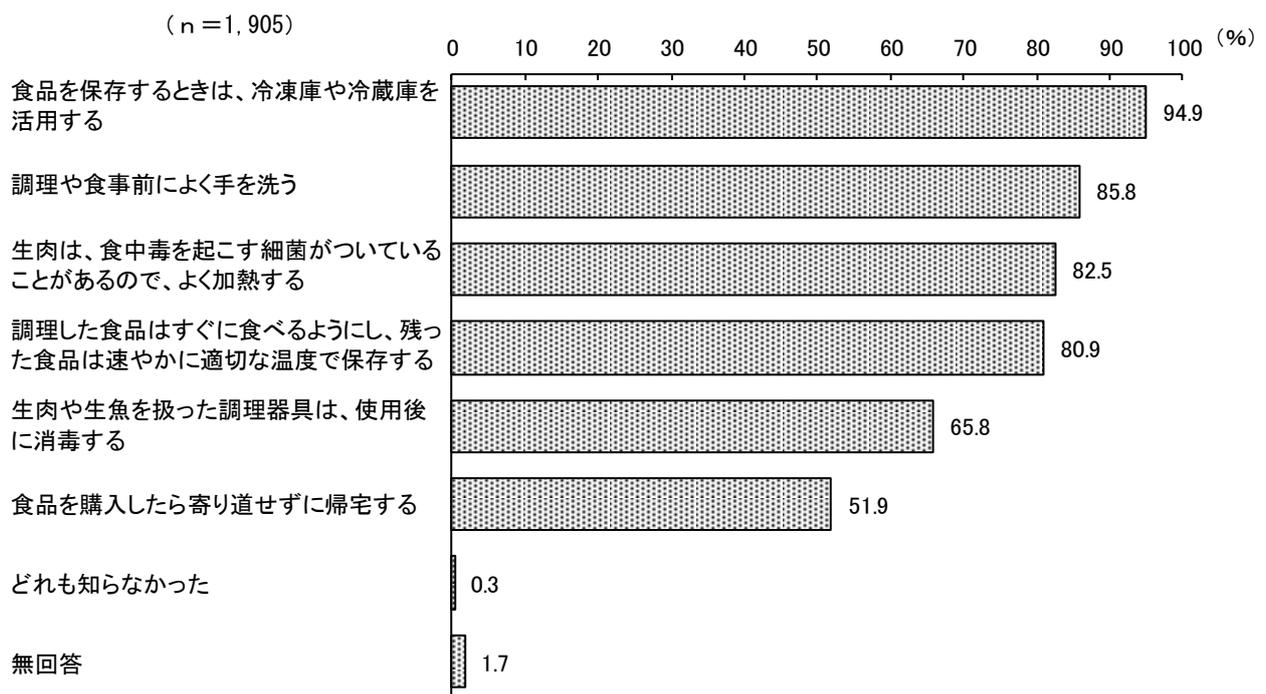
	n	期限表示 (消費期限や賞味期限)	原産地や原産国	保存方法	原材料名	食品添加物 (保存料や着色料など)	遺伝子組換え食品に関する事項	アレルギー表示	その他	確認している表示内容はない	無回答
全 体	1,905	92.4	74.1	41.1	38.6	35.5	22.7	11.4	3.4	1.8	1.6
【地 域 別】											
横 浜	736	91.8	74.5	40.8	40.8	36.1	26.2	13.0	4.2	1.9	1.9
川 崎	324	91.7	75.9	41.7	39.2	40.1	25.3	11.1	2.8	0.9	1.2
相 模 原	133	91.7	75.9	38.3	33.8	33.8	21.1	9.0	2.3	3.8	1.5
横 須 賀 三 浦	127	95.3	76.4	42.5	42.5	37.8	14.2	13.4	3.1	1.6	0.8
県 央	213	94.4	73.7	47.9	33.3	31.9	19.2	12.2	2.8	0.9	1.9
湘 南	275	93.1	70.2	33.5	34.5	29.5	17.1	7.3	3.3	2.2	1.1
県 西	73	93.2	74.0	52.1	49.3	41.1	28.8	13.7	2.7	1.4	-
【性・年代別】											
男 性	827	91.4	66.7	37.5	30.5	29.6	16.0	9.4	4.2	2.8	1.3
女 性	1,018	93.6	80.6	43.8	45.5	40.1	28.1	13.1	2.8	0.9	1.7
男性18～29歳	45	91.1	57.8	28.9	17.8	11.1	4.4	11.1	4.4	4.4	-
30歳代	91	85.7	62.6	30.8	30.8	28.6	12.1	12.1	3.3	6.6	-
40歳代	127	91.3	68.5	28.3	36.2	30.7	18.9	8.7	6.3	2.4	-
50歳代	183	91.3	62.8	32.2	29.0	30.1	24.0	7.1	3.8	3.8	1.1
60歳代	167	94.0	70.1	37.1	32.9	29.3	19.8	9.0	5.4	0.6	2.4
70～74歳	72	94.4	75.0	50.0	23.6	30.6	8.3	13.9	2.8	2.8	1.4
75歳以上	105	92.4	65.7	49.5	31.4	33.3	8.6	9.5	1.0	1.9	1.9
女性18～29歳	53	98.1	41.5	22.6	24.5	17.0	5.7	7.5	5.7	-	-
30歳代	117	93.2	81.2	38.5	47.0	44.4	23.9	12.0	2.6	0.9	1.7
40歳代	201	94.0	81.6	35.8	48.8	40.8	33.3	13.9	3.0	0.5	1.5
50歳代	238	92.4	84.5	42.4	43.7	35.3	30.3	9.7	2.9	-	1.7
60歳代	175	95.4	82.3	54.9	46.3	34.9	27.4	12.0	-	2.3	1.1
70～74歳	72	95.8	87.5	56.9	48.6	54.2	33.3	19.4	5.6	-	1.4
75歳以上	121	92.6	84.3	55.4	47.1	54.5	28.1	20.7	3.3	1.7	0.8

## 2 食中毒を予防する上で重要なこと【問2】

### 【全体の状況】

食中毒を予防する上で重要なことがらについて、知っていたことを複数回答で尋ねたところ、「食品を保存するときは、冷凍庫や冷蔵庫を活用する」が94.9%で最も多く、次いで「調理や食事前によく手を洗う」が85.8%であった。(図表1-2-1)

図表1-2-1 食中毒を予防する上で重要なこと（複数回答）



図表1-2-2 食中毒を予防する上で重要なこと（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)

	n	冷食 蔵品を 保存す ると きは、 冷凍 庫や	調 理 や 食 事 前 に よ く 手 を 洗 う	熱 い 生 肉 は、 食 中 毒 を 起 こ す 細 菌 が 加 つ て い る こ と が あ る の で、 よ く 加 つ	生 肉 は、 食 中 毒 を 起 こ す 細 菌 が 加 つ て い る こ と が あ る の で、 よ く 加 つ	な に 調 理 し た 食 品 は す ぐ に 食 べ る よ う な 温 度 で 残 つ た 食 品 は 速 や か に 適 切	使 用 後 に 生 魚 を 扱 つ た 調 理 器 具 は、	宅 食 品 を 購 入 し た ら 寄 り 道 せ ず に 帰	ど れ も 知 ら な か つ た	無 回 答
全 体	1,905	94.9	85.8	82.5	80.9	65.8	51.9	0.3	1.7	
【地 域 別】										
横 浜	736	94.2	86.1	82.3	79.8	66.8	51.6	0.3	2.0	
川 崎	324	96.3	87.0	84.0	83.0	64.5	50.0	-	1.5	
相 模 原	133	94.7	83.5	82.7	75.2	66.2	53.4	-	2.3	
横 須 賀 三 浦	127	96.1	91.3	80.3	85.0	72.4	52.0	-	0.8	
県 央	213	95.8	82.6	82.6	80.3	64.8	50.7	0.5	1.9	
湘 南	275	94.9	83.6	80.4	82.2	62.2	56.7	0.4	1.1	
県 西	73	97.3	93.2	90.4	89.0	64.4	46.6	-	-	
【性・年代別】										
男 性	827	95.2	79.2	75.1	76.2	58.6	44.1	0.5	1.6	
女 性	1,018	95.0	91.2	88.6	85.1	71.2	58.0	-	1.8	
男性 18～29歳	45	100.0	88.9	82.2	82.2	73.3	35.6	-	-	
30 歳 代	91	90.1	85.7	81.3	76.9	69.2	49.5	2.2	-	
40 歳 代	127	95.3	85.8	85.0	81.1	66.1	49.6	-	-	
50 歳 代	183	95.1	79.2	78.1	76.0	55.7	44.3	1.1	1.1	
60 歳 代	167	96.4	74.9	71.9	74.9	59.9	44.3	-	3.0	
70～74歳	72	97.2	76.4	68.1	81.9	50.0	48.6	-	1.4	
75歳以上	105	96.2	71.4	60.0	70.5	43.8	34.3	-	1.9	
女性 18～29歳	53	96.2	81.1	90.6	84.9	71.7	49.1	-	-	
30 歳 代	117	94.9	94.0	89.7	84.6	76.9	66.7	-	1.7	
40 歳 代	201	96.0	90.0	92.5	86.1	74.6	65.2	-	1.5	
50 歳 代	238	96.2	92.9	87.4	84.0	66.4	54.6	-	1.7	
60 歳 代	175	94.3	94.3	91.4	84.6	76.6	56.6	-	1.1	
70～74歳	72	94.4	90.3	87.5	93.1	66.7	61.1	-	1.4	
75歳以上	121	97.5	90.1	83.5	86.0	68.6	51.2	-	0.8	

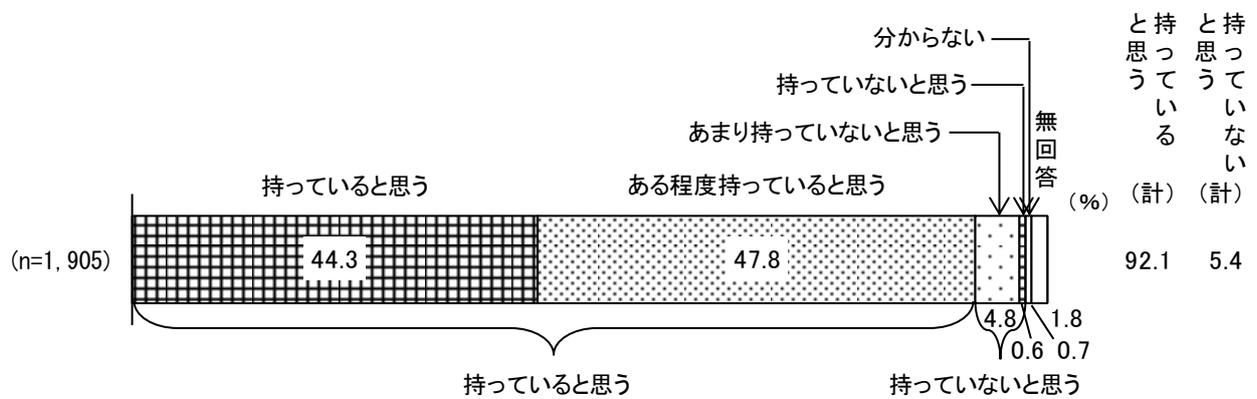
### 3 食品を安全に食べるために必要な知識【問3】

#### 【全体の状況】

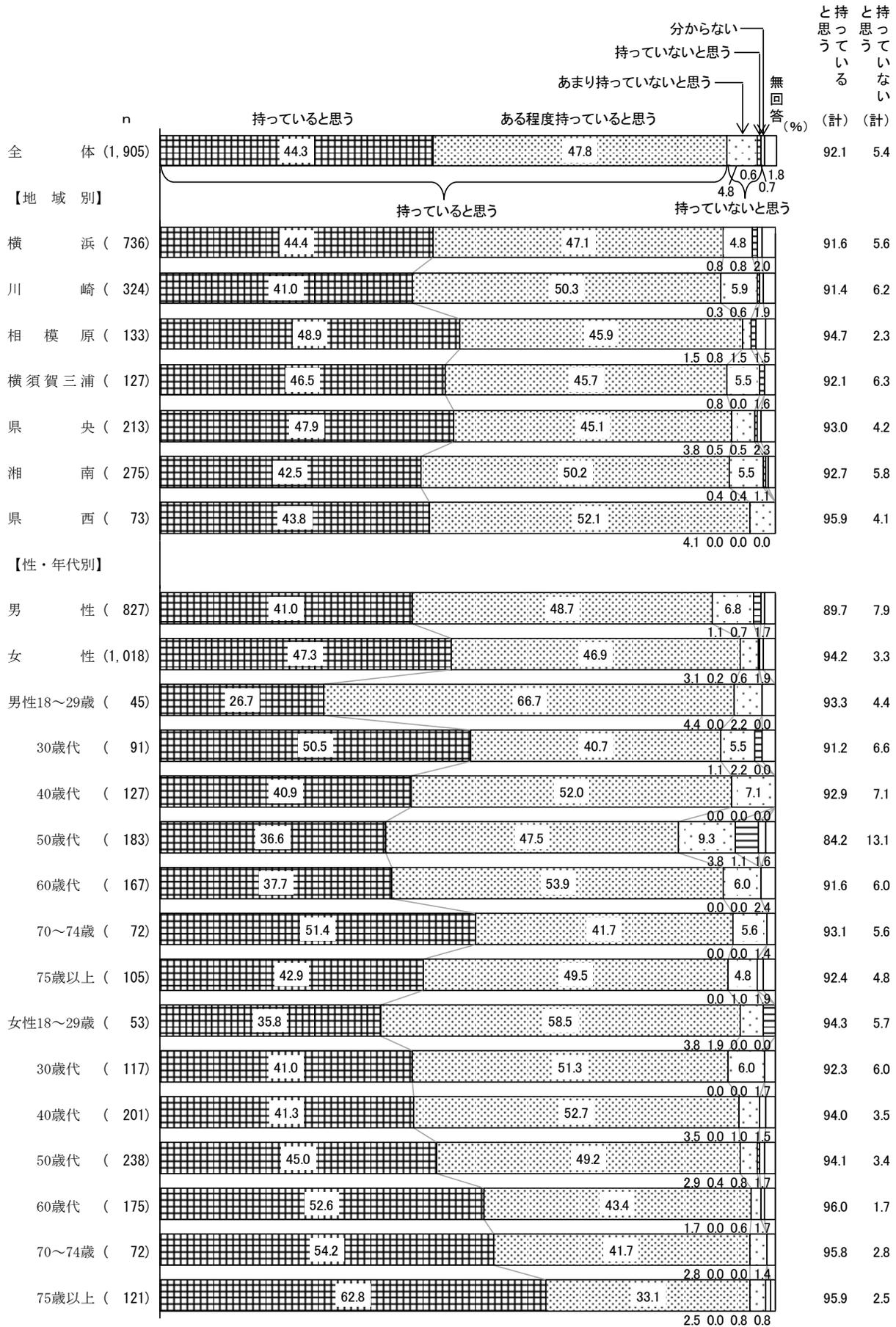
食品を安全に食べるために必要な知識（例えば、調理や食事前によく手を洗う、生肉はよく加熱するなど）を持っていると思うか尋ねたところ、「持っていると思う」（44.3%）と「ある程度持っていると思う」（47.8%）を合わせた《持っていると思う》は92.1%であった。

一方、「持っていないと思う」（0.6%）と「あまり持っていないと思う」（4.8%）を合わせた《持っていないと思う》は5.4%であった。（図表1-3-1）

図表1-3-1 食品を安全に食べるために必要な知識



図表1-3-2 食品を安全に食べるために必要な知識—地域別、性・年代別



## 第2章 食・食育【問4～問7】

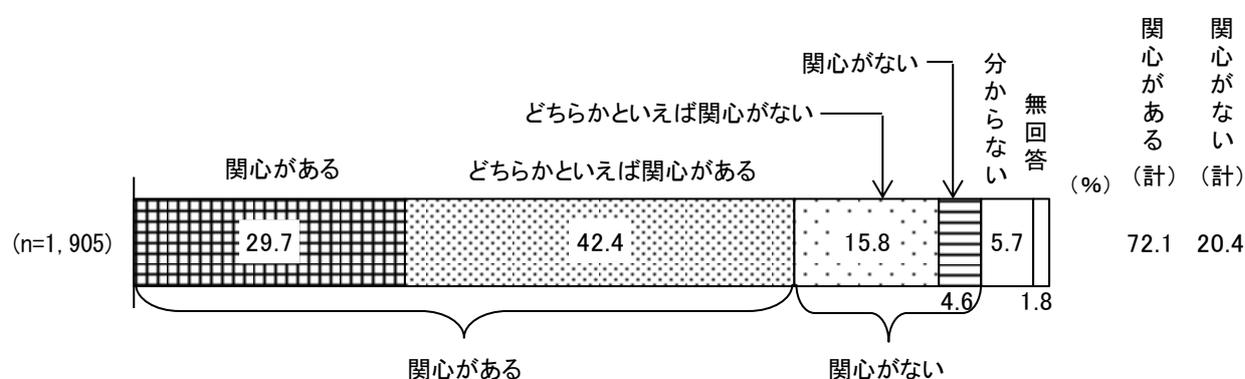
### 1 「食育」への関心【問4】

#### 【全体の状況】

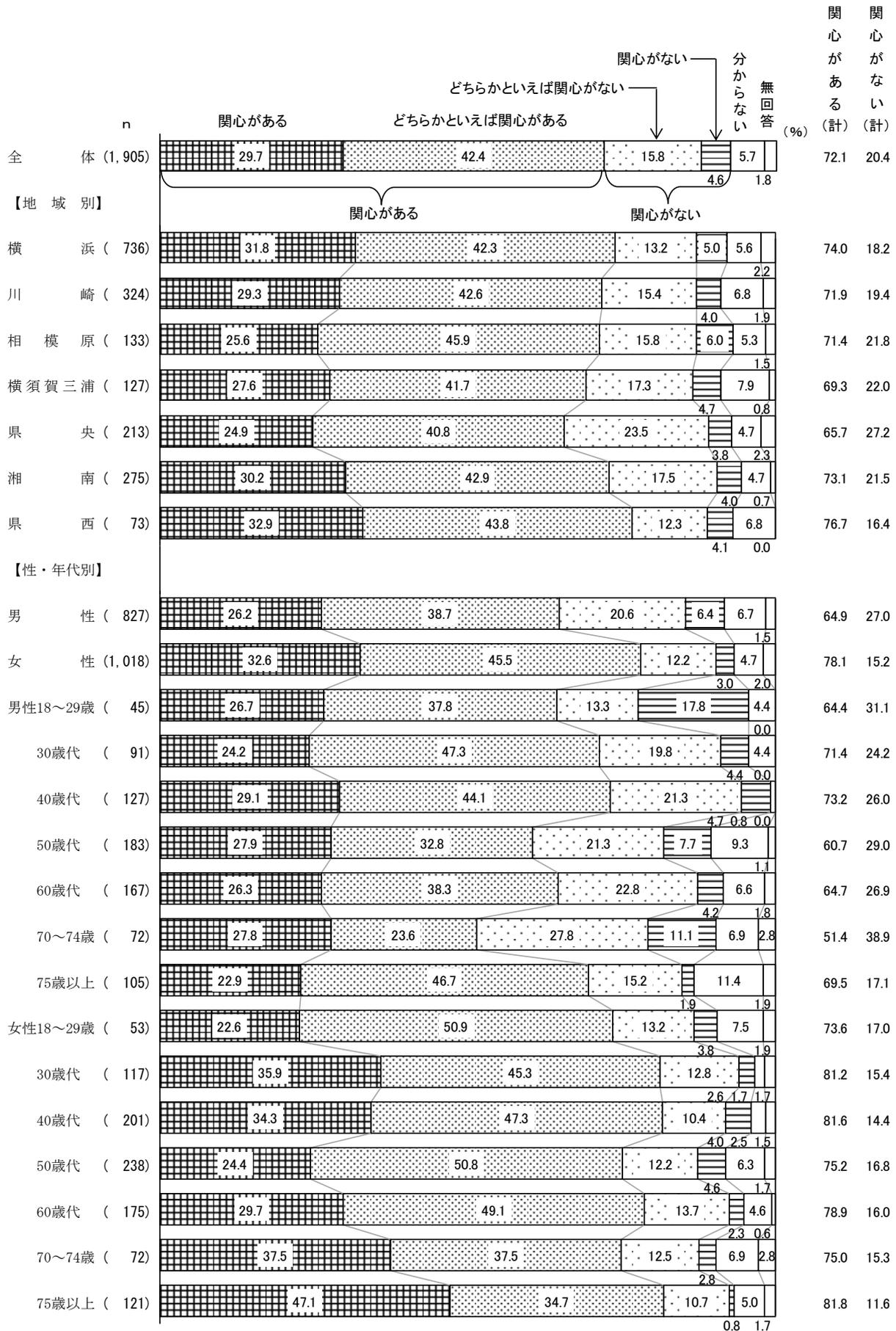
「食育」に関心があるか尋ねたところ、「関心がある」(29.7%)と「どちらかといえば関心がある」(42.4%)を合わせた《関心がある》は72.1%であった。

一方、「関心がない」(4.6%)と「どちらかといえば関心がない」(15.8%)を合わせた《関心がない》は20.4%であった。(図表2-1-1)

図表2-1-1 「食育」への関心



図表2-1-2 「食育」への関心—地域別、性・年代別



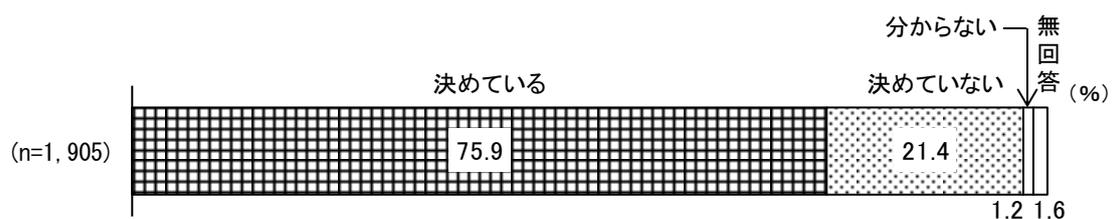
## 2 歯と口の健康を保つためにかかりつけ歯科医を決めているか【問5】

### 【全体の状況】

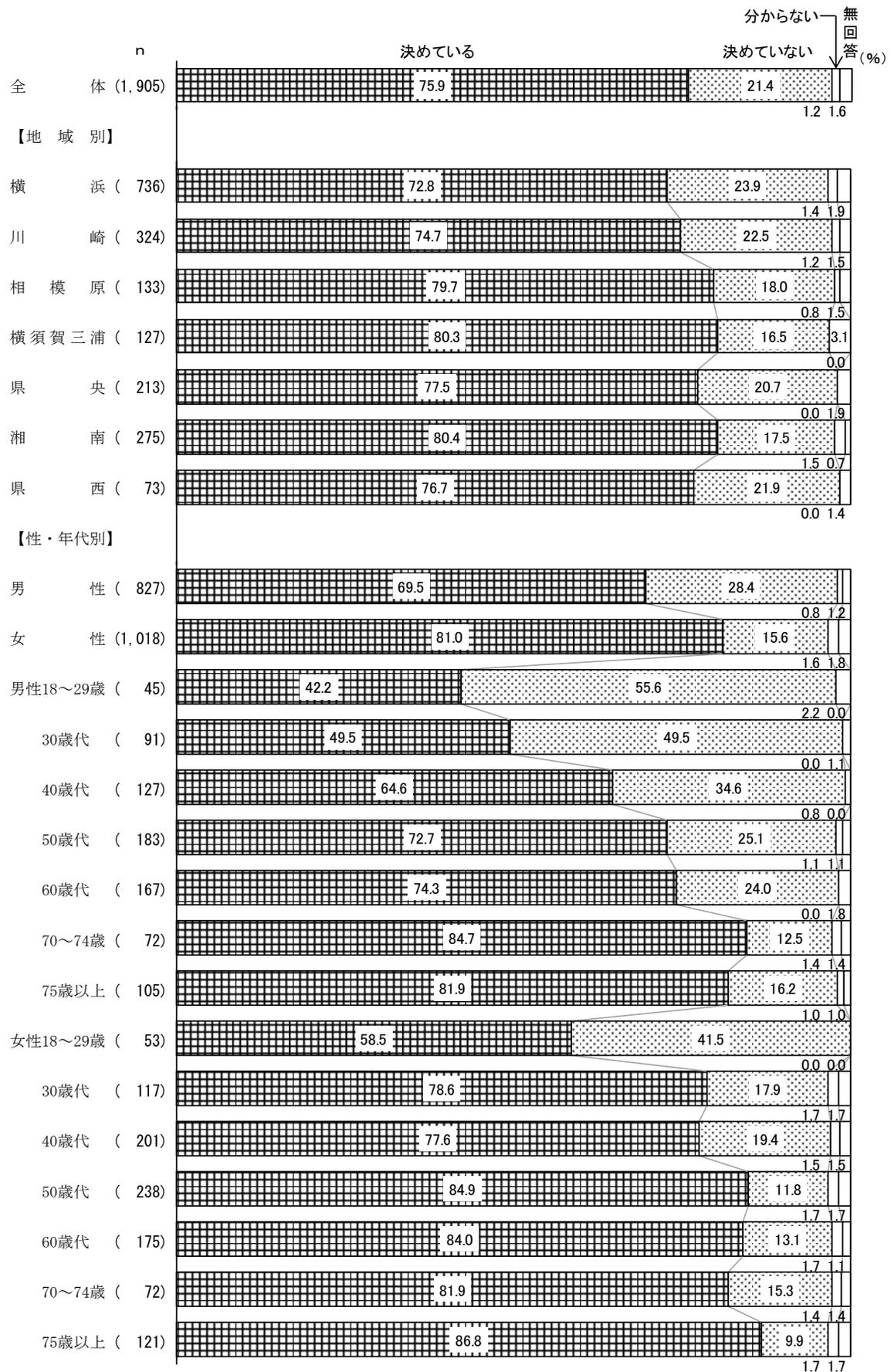
歯と口の健康を保つためにかかりつけ歯科医を決めているか尋ねたところ、「決めている」が75.9%であった。

一方、「決めていない」は、21.4%であった。(図表2-2-1)

図表2-2-1 歯と口の健康を保つためにかかりつけ歯科医を決めているか



図表2-2-2 歯と口の健康を保つためにかかりつけ歯科医を決めているか—地域別、性・年代別

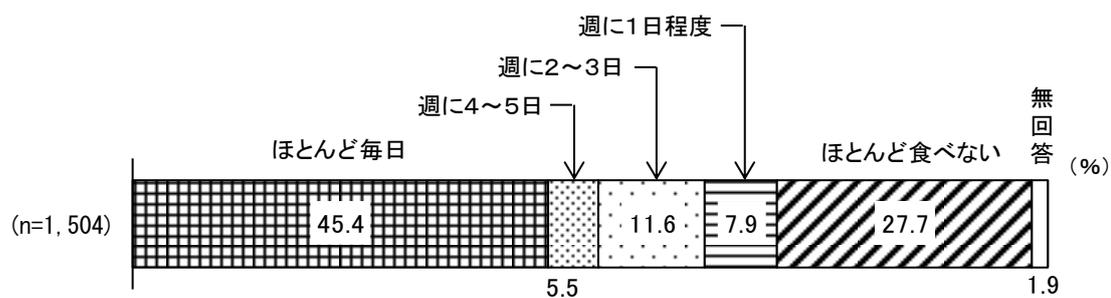


### 3 朝食を同居の方と食べる頻度【問6-1】

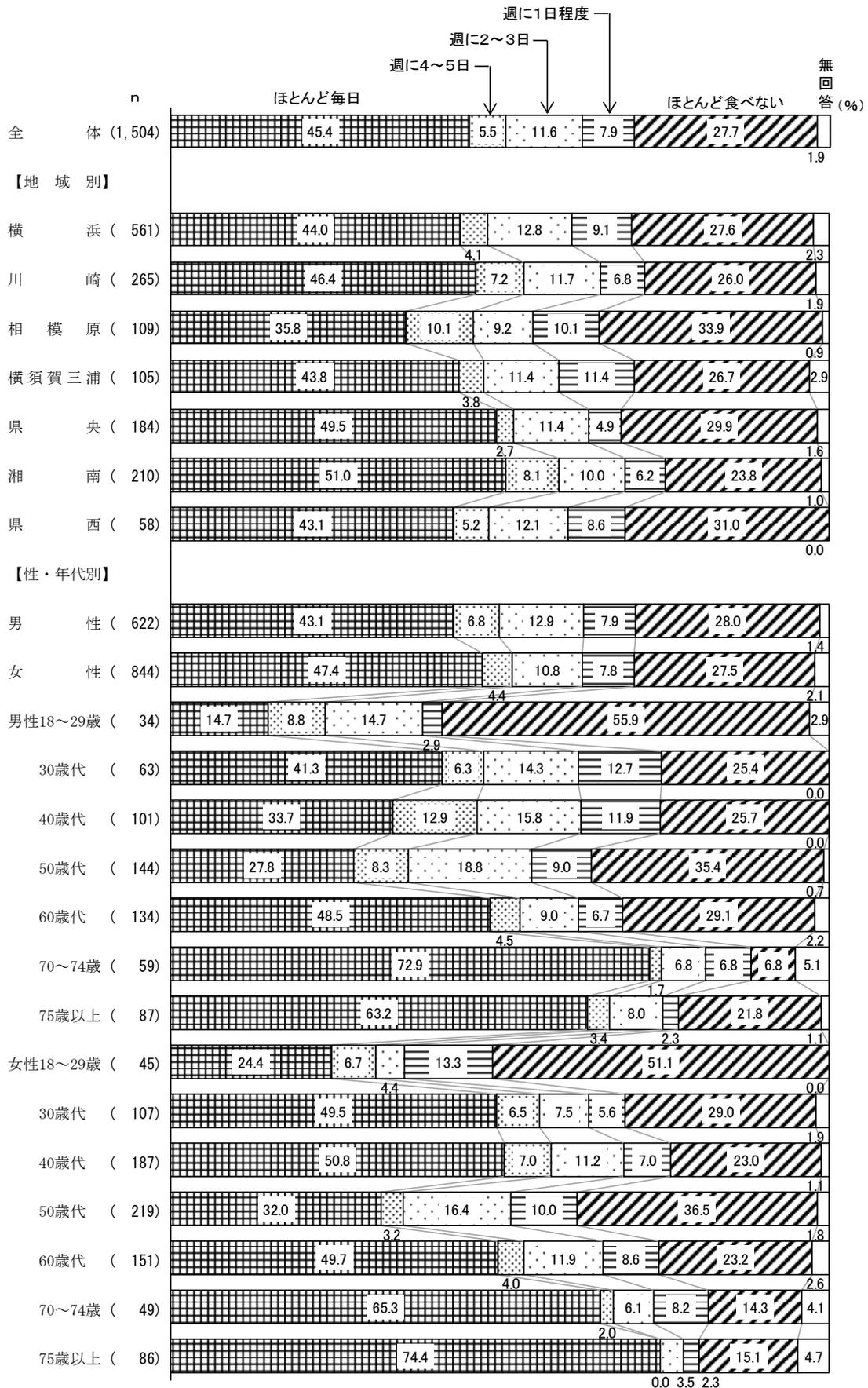
#### 【全体の状況】

複数人でお住まいの1,504人に、朝食を同居の方と食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど毎日」が45.4%で最も多く、次いで「ほとんど食べない」が27.7%であった。(図表2-3-1)

図表2-3-1 朝食を同居の方と食べる頻度



図表2-3-2 朝食を同居の方と食べる頻度—地域別、性・年代別

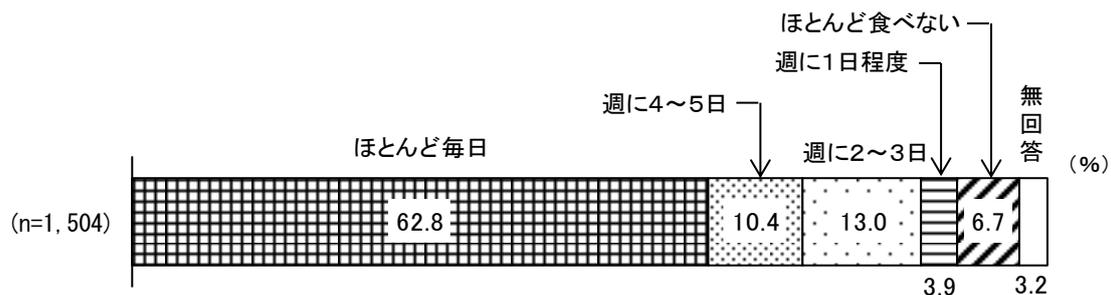


#### 4 夕食を同居の方と食べる頻度【問6-2】

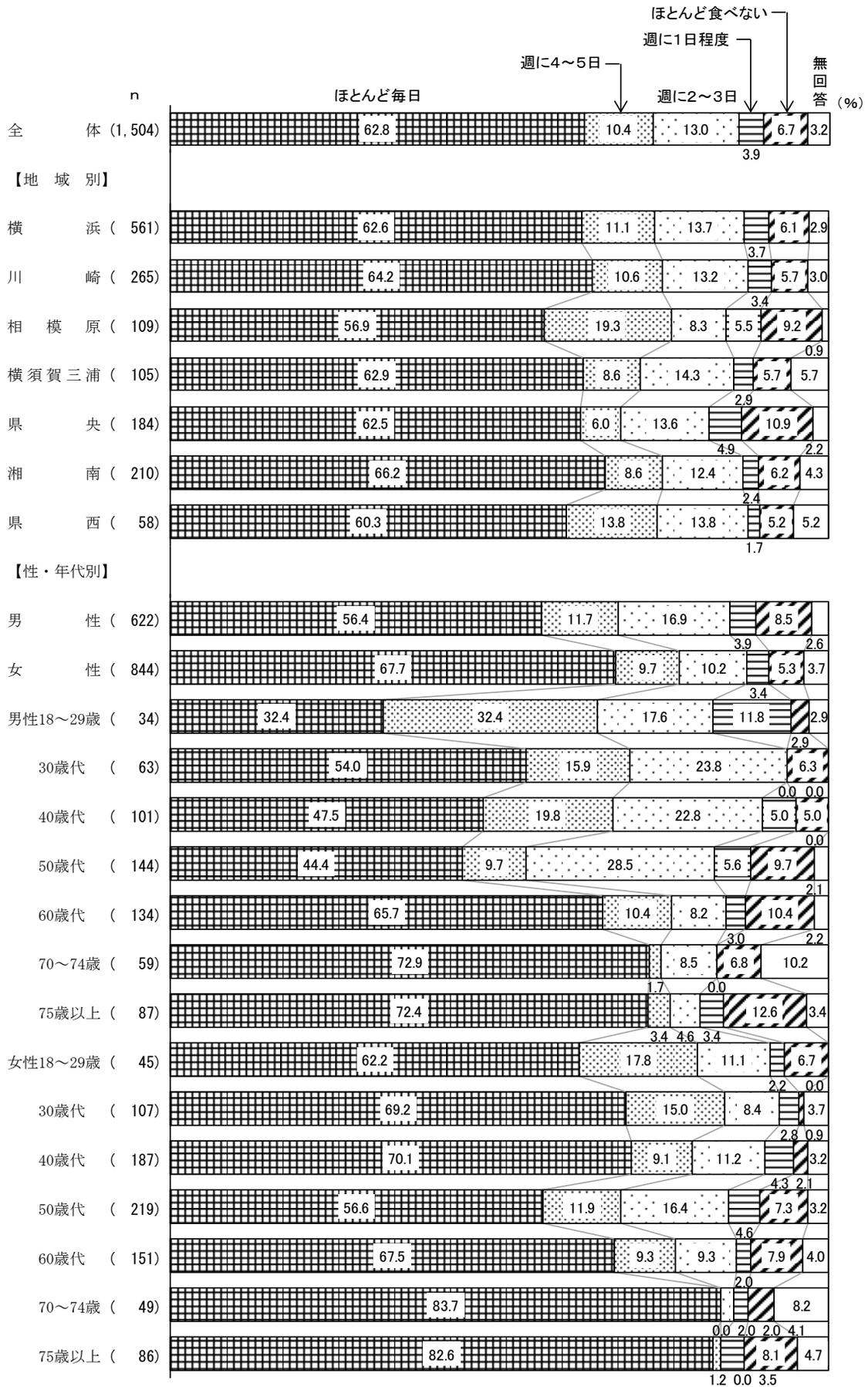
##### 【全体の状況】

複数人でお住まいの1,504人に、夕食を同居の方と食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど毎日」が62.8%で最も多く、次いで「週に2～3日」が13.0%であった。(図表2-4-1)

図表2-4-1 夕食を同居の方と食べる頻度



図表2-4-2 夕食を同居の方と食べる頻度—地域別、性・年代別

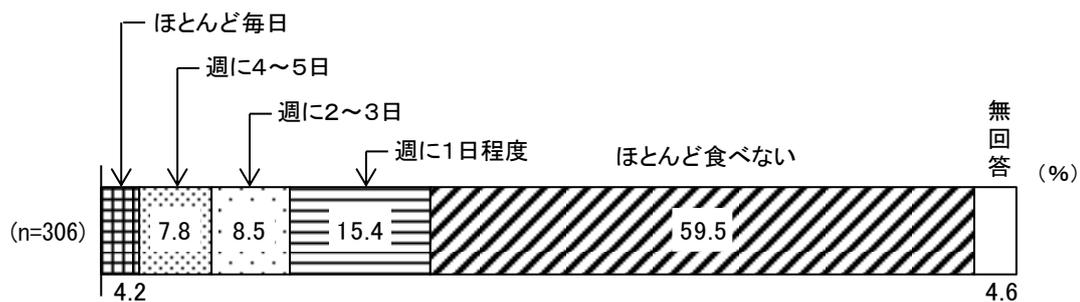


## 5 昼食を仲間や友人など複数人で食べる頻度【問7-1】

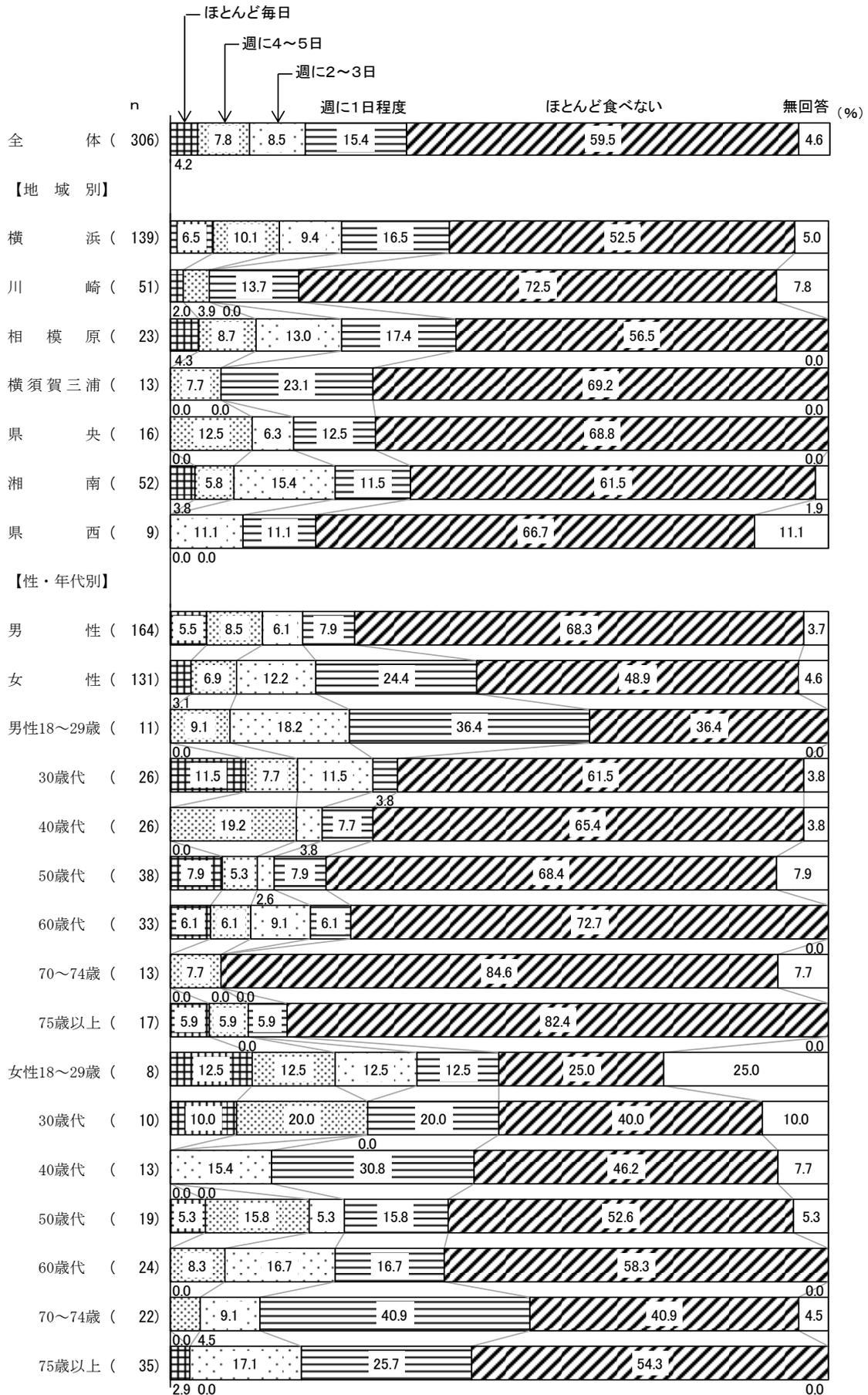
### 【全体の状況】

一人暮らしの306人に、昼食を仲間や友人など、複数人で食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど食べない」が59.5%で最も多く、次いで「週に1日程度」が15.4%であった。(図表2-5-1)

図表2-5-1 昼食を仲間や友人など複数人で食べる頻度



図表2-5-2 昼食を仲間や友人など複数人で食べる頻度—地域別、性・年代別

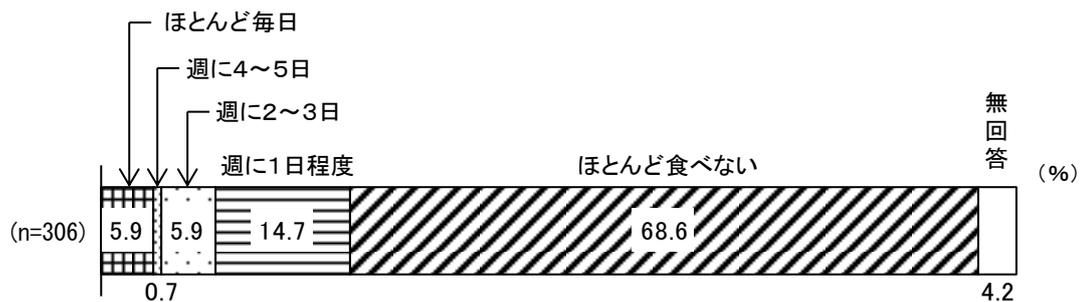


## 6 夕食を仲間や友人など複数人で食べる頻度【問7-2】

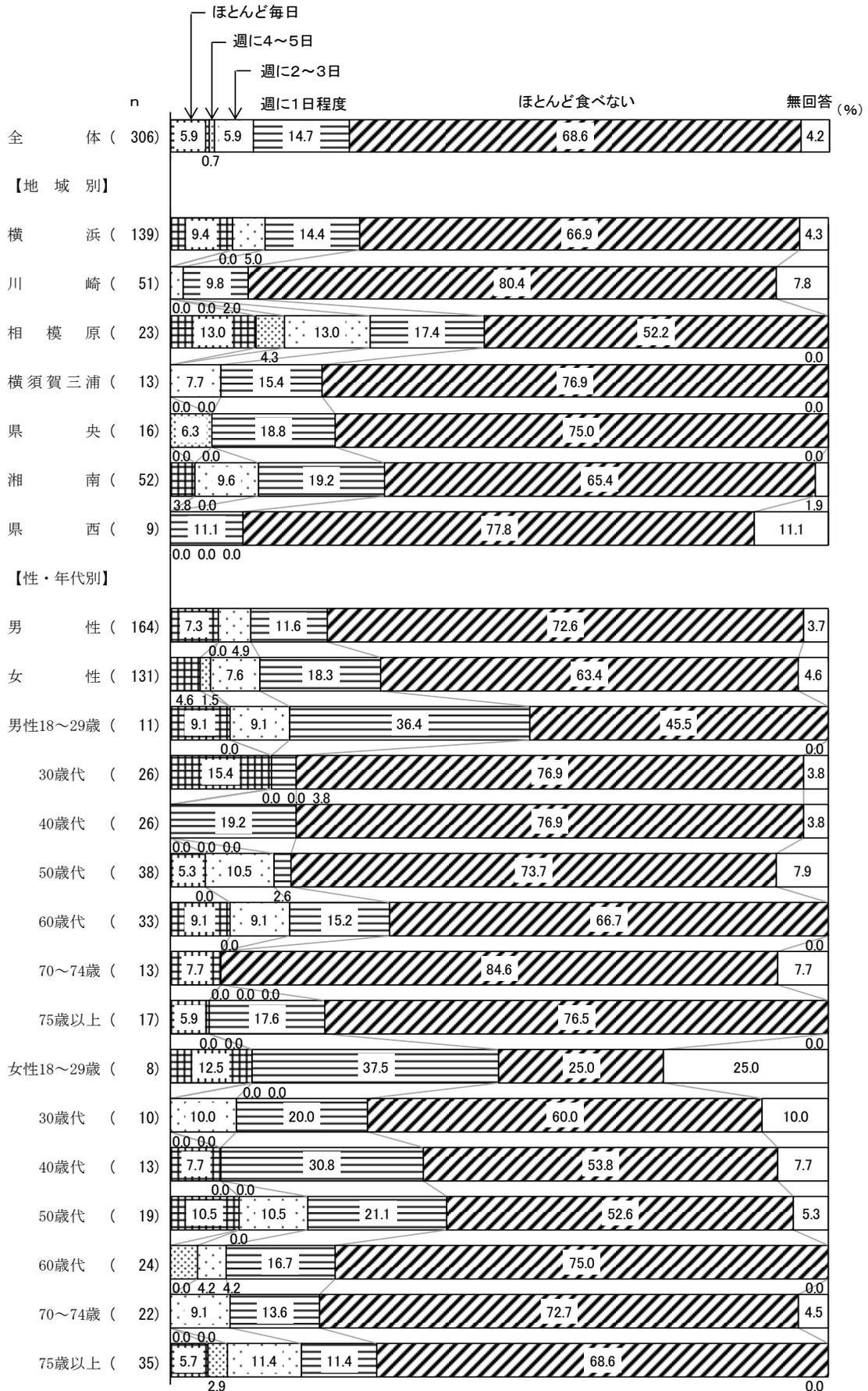
### 【全体の状況】

一人暮らしの306人に、夕食を仲間や友人など、複数人で食べる頻度を尋ねたところ、「ほとんど食べない」が68.6%で最も多く、次いで「週に1日程度」が14.7%であった。(図表2-6-1)

図表2-6-1 夕食を仲間や友人など複数人で食べる頻度



図表2-6-2 夕食を仲間や友人など複数人で食べる頻度—地域別、性・年代別



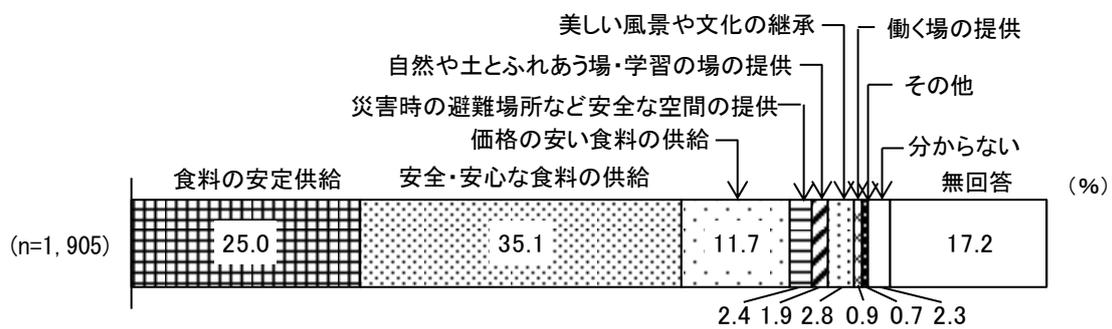
### 第3章 かながわの農林水産業【問8～問11】

#### 1 県の農業に期待する役割【問8】

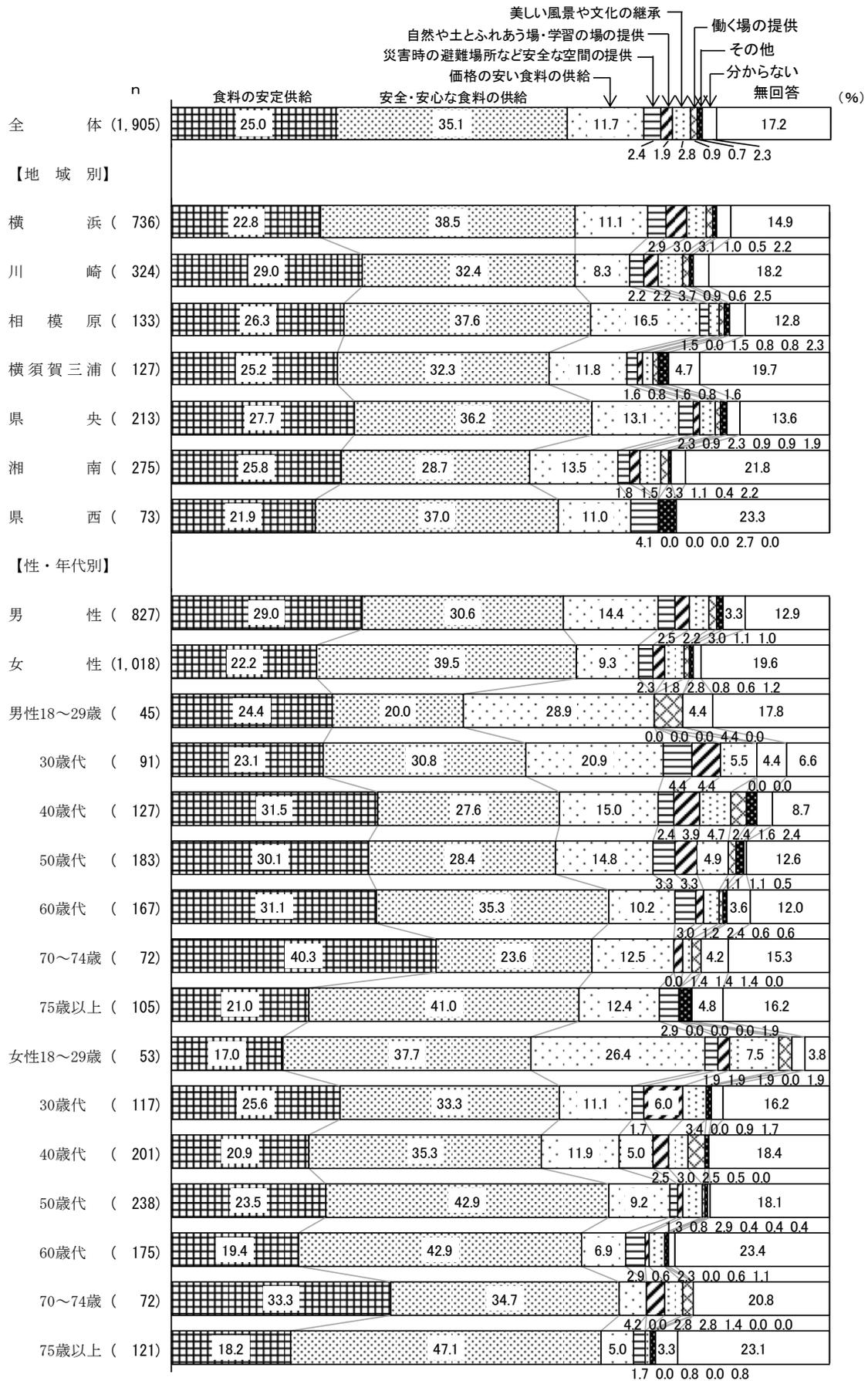
##### 【全体の状況】

県の農業に特にどのような役割を期待するか尋ねたところ、「安全・安心な食料の供給」が35.1%で最も多く、次いで「食料の安定供給」が25.0%であった。(図表3-1-1)

図表3-1-1 県の農業に期待する役割



図表3-1-2 県の農業に期待する役割—地域別、性・年代別



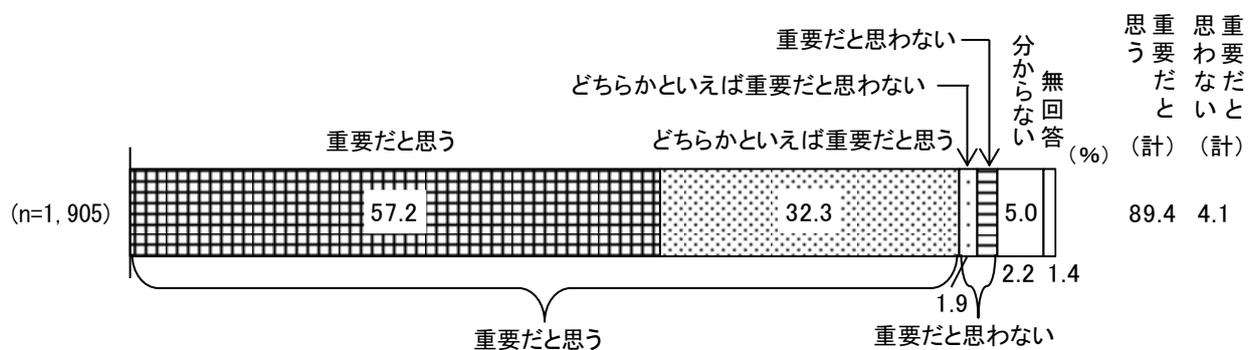
## 2 「地産地消」の取組みの重要度【問9】

### 【全体の状況】

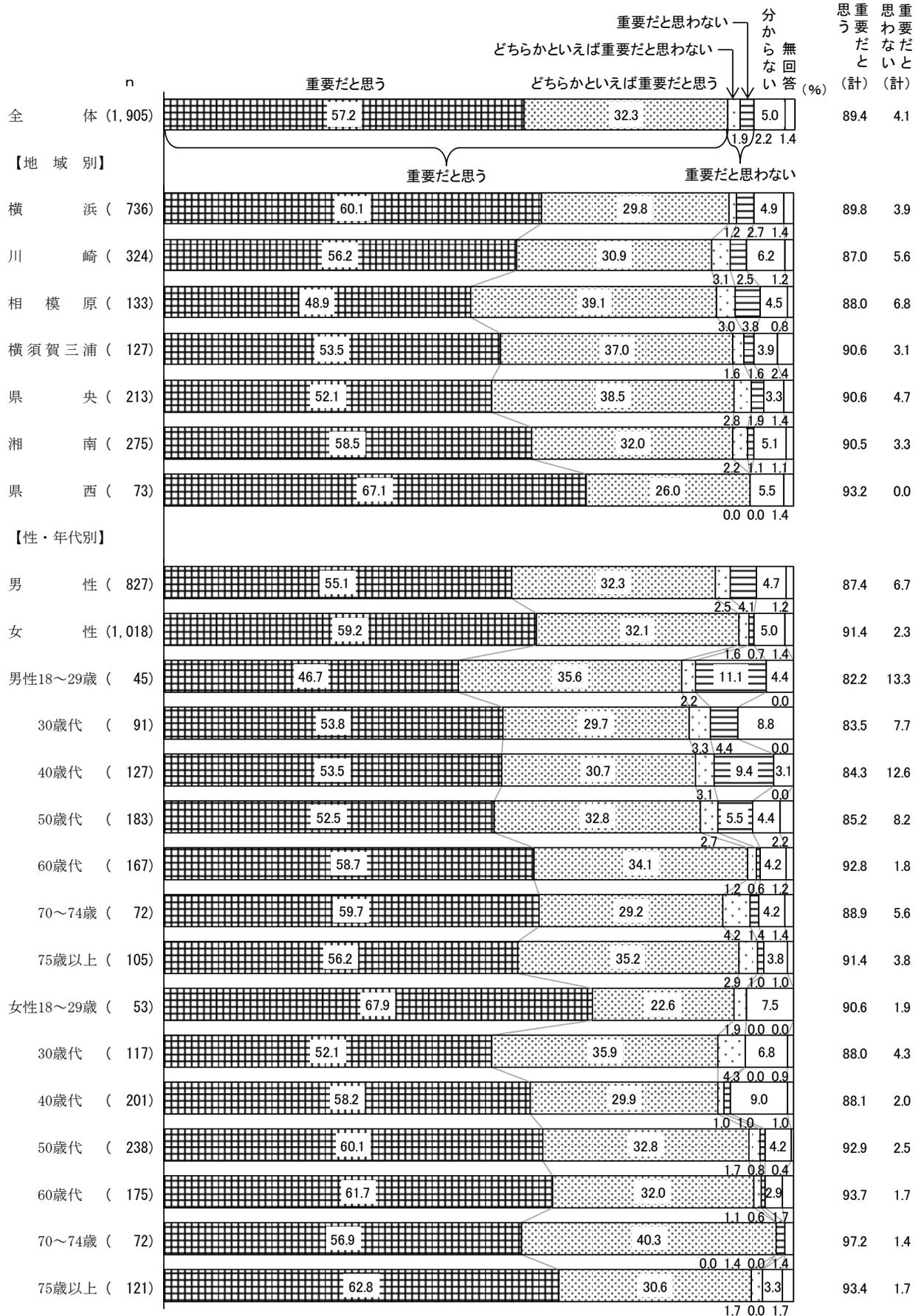
県内の農林水産業を活性化する上で、「地産地消」の取組みを重要だと思うか尋ねたところ、「重要だと思う」(57.2%)と「どちらかといえば重要だと思う」(32.3%)を合わせた《重要だと思う》は89.4%であった。

一方、「重要だと思わない」(2.2%)と「どちらかといえば重要だと思わない」(1.9%)を合わせた《重要だと思わない》は4.1%であった。(図表3-2-1)

図表3-2-1 「地産地消」の取組みの重要度



図表3-2-2 「地産地消」の取組みの重要度—地域別、性・年代別



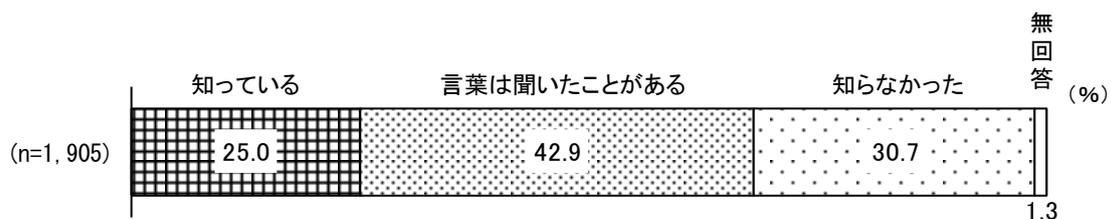
### 3 「かながわブランド」の認知度【問10】

#### 【全体の状況】

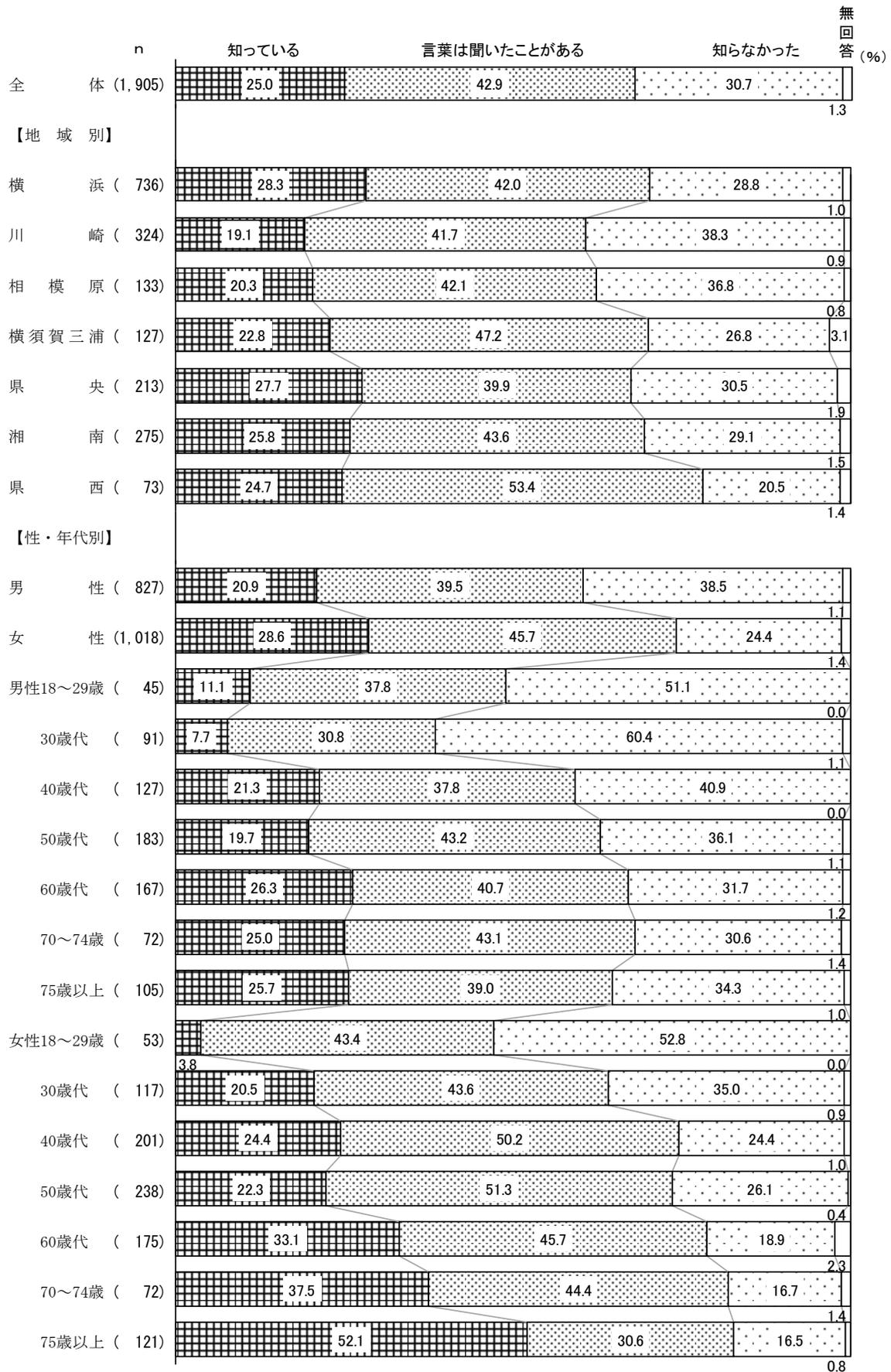
「かながわブランド」という言葉の意味を知っているか尋ねたところ、「知っている」が25.0%であった。また、「言葉は聞いたことがある」が42.9%であった。

一方、「知らなかった」は、30.7%であった。(図表 3-3-1)

図表3-3-1 「かながわブランド」の認知度



図表3-3-2 「かながわブランド」の認知度—地域別、性・年代別



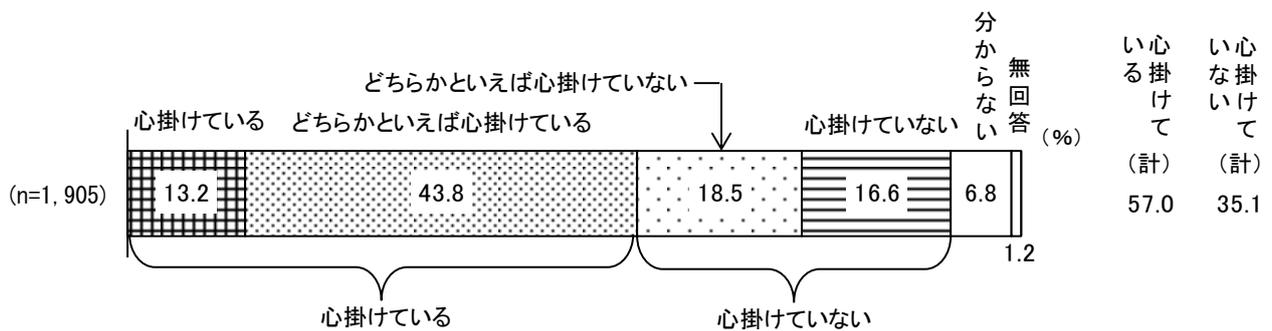
#### 4 環境に配慮した農林水産物や食品を選ぶ心掛け【問11】

##### 【全体の状況】

環境に配慮した農林水産物や食品を選ぶよう心掛けているか尋ねたところ、「心掛けている」(13.2%)と「どちらかといえば心掛けている」(43.8%)を合わせた《心掛けている》は57.0%であった。

一方、「心掛けていない」(16.6%)と「どちらかといえば心掛けていない」(18.5%)を合わせた《心掛けていない》は35.1%であった。(図表3-4-1)

図表3-4-1 環境に配慮した農林水産物や食品を選ぶ心掛け





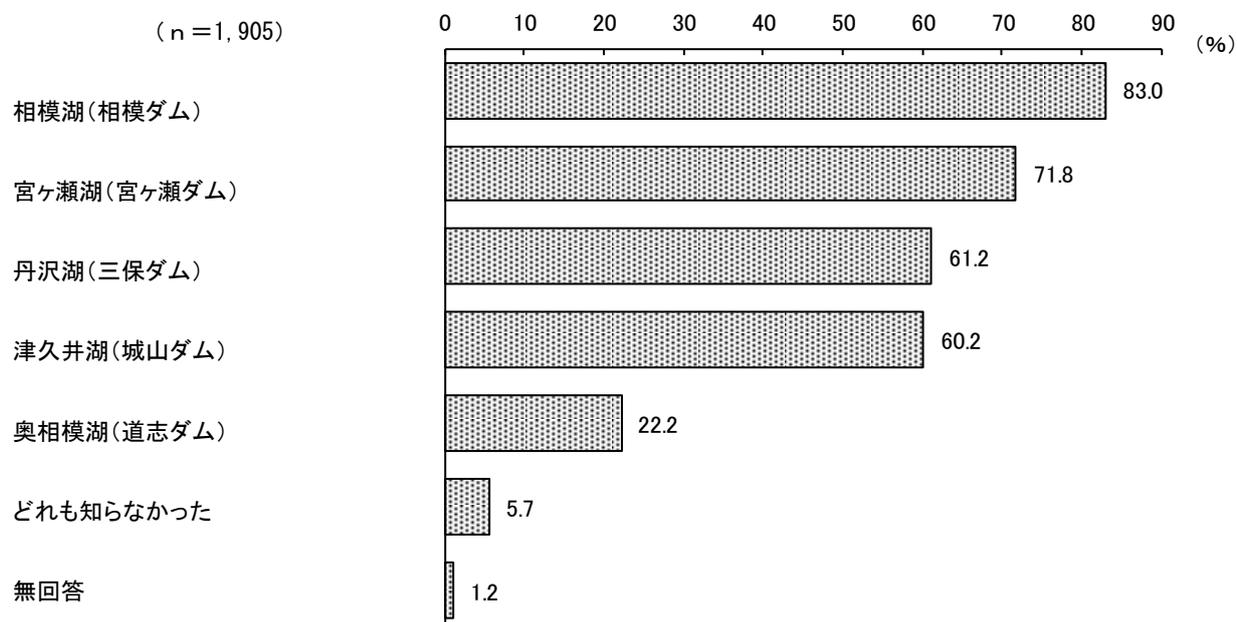
## 第4章 かながわの水源地域【問12～問14】

### 1 県内のダム湖（ダム）の認知度【問12】

#### 【全体の状況】

県にある各ダム湖（ダム）を知っているかについて複数回答で尋ねたところ、「相模湖（相模ダム）」が83.0%で最も多く、次いで「宮ヶ瀬湖（宮ヶ瀬ダム）」が71.8%であった。（図表4-1-1）

図表4-1-1 県内のダム湖（ダム）の認知度（複数回答）



図表4-1-2 県内のダム湖（ダム）の認知度（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)

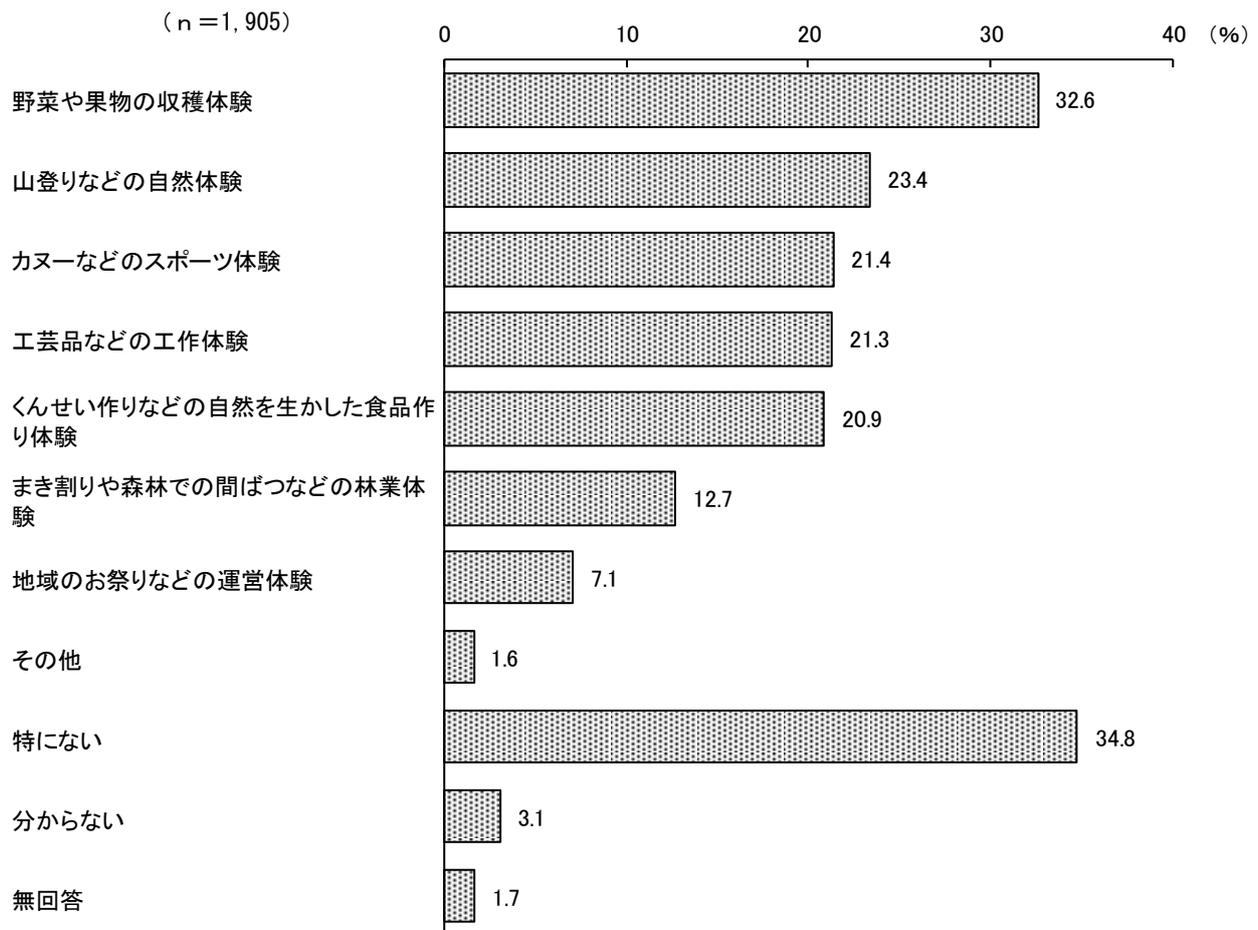
	n	相模湖 （相模ダム）	宮ヶ瀬湖 （宮ヶ瀬ダム）	丹沢湖 （三保ダム）	津久井湖 （城山ダム）	奥相模湖 （道志ダム）	どれも 知らなかつた	無 回 答
全 体	1,905	83.0	71.8	61.2	60.2	22.2	5.7	1.2
【地 域 別】								
横 浜	736	82.7	64.8	58.6	53.9	24.3	7.1	0.8
川 崎	324	79.6	52.2	56.2	52.8	16.0	10.8	0.6
相 模 原	133	92.5	92.5	53.4	88.7	36.1	0.8	0.8
横 須 賀 三 浦	127	78.0	69.3	63.0	57.5	16.5	7.1	2.4
県 央	213	86.9	93.9	62.9	73.7	24.9	0.5	1.4
湘 南	275	84.0	86.2	66.5	64.7	20.0	2.9	1.8
県 西	73	78.1	78.1	93.2	54.8	16.4	2.7	1.4
【性・年代別】								
男 性	827	85.1	69.8	62.4	64.8	26.8	6.4	0.8
女 性	1,018	81.4	73.0	59.5	56.8	18.9	5.2	1.3
男性18～29歳	45	66.7	53.3	24.4	22.2	11.1	24.4	-
30歳代	91	76.9	42.9	39.6	33.0	15.4	16.5	-
40歳代	127	81.1	69.3	58.3	46.5	25.2	6.3	-
50歳代	183	85.2	72.7	69.4	68.3	30.1	5.5	1.1
60歳代	167	92.2	78.4	73.1	84.4	31.1	3.0	1.8
70～74歳	72	94.4	73.6	68.1	80.6	23.6	1.4	1.4
75歳以上	105	87.6	73.3	65.7	83.8	33.3	1.9	-
女性18～29歳	53	67.9	60.4	24.5	22.6	13.2	15.1	-
30歳代	117	79.5	64.1	41.0	33.3	10.3	11.1	0.9
40歳代	201	76.1	66.7	60.2	42.8	16.9	6.0	1.0
50歳代	238	81.1	77.3	63.9	62.6	21.8	2.5	0.4
60歳代	175	85.7	74.3	65.1	70.3	26.9	4.6	1.7
70～74歳	72	93.1	84.7	66.7	72.2	15.3	-	-
75歳以上	121	87.6	82.6	71.1	81.0	20.7	3.3	2.5

## 2 水源地域で参加したい活動【問13】

### 【全体の状況】

水源地域で参加したい活動はあるか複数回答で尋ねたところ、「野菜や果物の収穫体験」が32.6%で最も多く、次いで「山登りなどの自然体験」が23.4%であった。(図表4-2-1)

図表4-2-1 水源地域で参加したい活動（複数回答）



図表4-2-2 水源地域で参加したい活動（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)

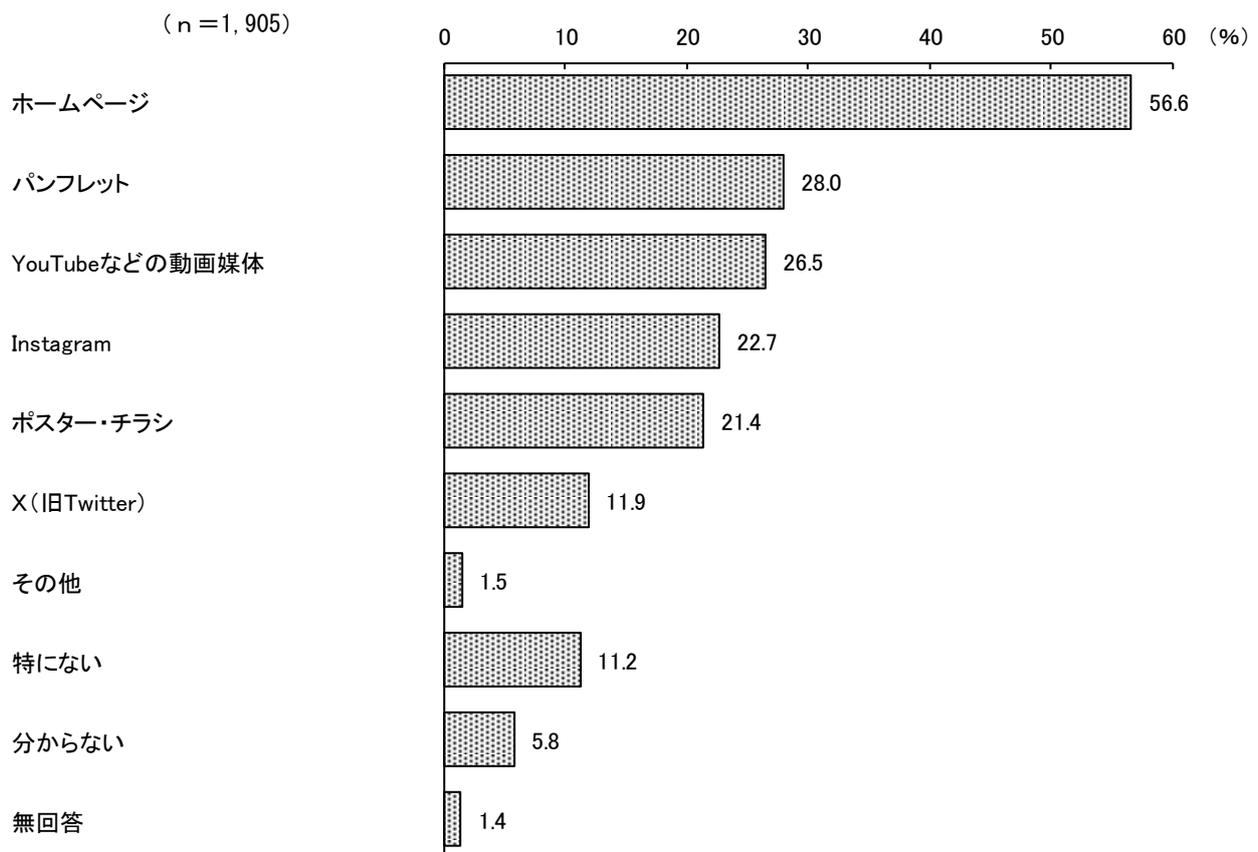
	n	野菜や果物の収穫体験	山登りなどの自然体験	カヌーなどのスポーツ体験	工芸品などの工作体験	くんせい作りなどの自然を生かした食品作り体験	まき割りや森林での間ばつなどの林業体験	地域のお祭りなどの運営体験	その他	特にない	分からない	無回答
全体	1,905	32.6	23.4	21.4	21.3	20.9	12.7	7.1	1.6	34.8	3.1	1.7
【地域別】												
横浜	736	32.3	23.6	22.6	21.6	20.5	12.8	7.2	1.9	32.6	3.7	1.4
川崎	324	37.7	31.2	26.5	23.8	24.1	14.2	7.7	1.5	30.9	2.8	1.2
相模原	133	33.1	22.6	22.6	18.0	21.8	12.8	10.5	-	36.8	2.3	1.5
横須賀三浦	127	25.2	20.5	23.6	19.7	22.8	15.0	3.9	3.1	35.4	3.1	3.9
県央	213	32.9	18.3	13.6	23.0	20.7	11.3	4.7	1.4	36.6	3.3	1.4
湘南	275	32.0	22.2	16.7	17.5	18.2	11.6	6.9	1.5	40.0	3.3	1.8
県西	73	27.4	19.2	23.3	26.0	20.5	9.6	11.0	-	39.7	-	2.7
【性・年代別】												
男性	827	24.2	26.0	20.7	15.4	16.8	13.2	6.7	2.5	39.3	3.3	1.3
女性	1,018	39.9	21.5	21.8	26.0	24.6	12.0	7.6	0.9	31.3	3.0	1.9
男性18～29歳	45	33.3	24.4	28.9	22.2	22.2	11.1	13.3	2.2	31.1	4.4	-
30歳代	91	26.4	27.5	35.2	18.7	26.4	15.4	13.2	2.2	33.0	6.6	-
40歳代	127	36.2	32.3	33.9	22.8	24.4	19.7	10.2	4.7	26.0	1.6	0.8
50歳代	183	23.5	29.0	23.0	15.3	19.1	14.2	6.6	2.2	35.0	2.7	1.1
60歳代	167	18.0	27.5	16.2	14.4	12.0	13.2	1.8	3.0	40.7	2.4	1.8
70～74歳	72	27.8	19.4	9.7	8.3	11.1	12.5	5.6	1.4	55.6	1.4	1.4
75歳以上	105	14.3	17.1	5.7	11.4	6.7	5.7	3.8	-	54.3	5.7	2.9
女性18～29歳	53	41.5	20.8	49.1	34.0	20.8	13.2	17.0	-	15.1	5.7	1.9
30歳代	117	56.4	32.5	38.5	37.6	35.0	22.2	13.7	3.4	15.4	1.7	0.9
40歳代	201	56.2	30.3	33.3	32.8	36.8	19.9	10.9	0.5	19.4	1.0	1.0
50歳代	238	37.0	24.8	22.7	26.5	23.1	12.2	4.6	-	31.1	3.4	0.4
60歳代	175	28.6	17.1	9.7	21.1	20.6	9.7	5.7	1.1	37.1	4.0	2.9
70～74歳	72	27.8	11.1	1.4	16.7	12.5	1.4	2.8	1.4	54.2	4.2	1.4
75歳以上	121	25.6	5.8	4.1	14.0	13.2	1.7	5.0	0.8	49.6	4.1	4.1

### 3 「やまなみ五湖」に関する情報収集手段【問14】

#### 【全体の状況】

「やまなみ五湖」に関する観光やグルメなどの情報収集をする場合、どの手段を利用したいかを複数回答で尋ねたところ、「ホームページ」が56.6%で最も多く、次いで「パンフレット」が28.0%であった。（図表4-3-1）

図表4-3-1 「やまなみ五湖」に関する情報収集手段（複数回答）



図表4-3-2 「やまなみ五湖」に関する情報収集手段（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)

	n	ホームページ	パンフレット	YouTubeなどの動画媒体	Instagram	ポスター・チラシ	X(旧Twitter)	その他	特になし	分からない	無回答
全体	1,905	56.6	28.0	26.5	22.7	21.4	11.9	1.5	11.2	5.8	1.4
【地域別】											
横浜	736	58.4	27.2	27.6	22.1	19.4	11.8	1.5	10.5	6.0	1.1
川崎	324	60.2	24.7	28.4	27.2	21.9	14.5	0.9	9.9	4.6	0.6
相模原	133	54.9	32.3	32.3	29.3	25.6	11.3	0.8	12.0	3.8	0.8
横須賀三浦	127	55.9	26.8	26.0	22.8	17.3	11.0	1.6	13.4	5.5	3.1
県央	213	56.3	36.6	23.0	17.8	28.6	10.8	0.9	13.1	4.2	1.4
湘南	275	50.2	24.7	21.5	16.7	18.5	11.3	2.2	12.7	9.1	1.8
県西	73	58.9	32.9	27.4	32.9	31.5	9.6	2.7	8.2	2.7	2.7
【性・年代別】											
男性	827	55.9	25.3	29.7	15.7	17.4	12.2	1.5	13.7	6.4	1.1
女性	1,018	57.6	30.7	23.9	28.5	25.1	11.9	1.5	9.2	5.0	1.4
男性18～29歳	45	44.4	6.7	35.6	24.4	4.4	22.2	-	20.0	13.3	-
30歳代	91	51.6	11.0	37.4	24.2	7.7	22.0	-	18.7	6.6	-
40歳代	127	55.9	28.3	36.2	19.7	23.6	21.3	0.8	11.8	4.7	-
50歳代	183	69.9	16.4	32.2	21.3	12.0	16.9	2.7	7.7	4.9	1.1
60歳代	167	67.7	26.3	26.9	13.2	15.0	4.8	1.2	10.8	4.2	1.8
70～74歳	72	54.2	36.1	26.4	5.6	25.0	2.8	2.8	15.3	5.6	1.4
75歳以上	105	27.6	44.8	17.1	1.9	27.6	1.0	1.0	21.0	10.5	1.0
女性18～29歳	53	49.1	17.0	24.5	47.2	15.1	35.8	1.9	11.3	11.3	-
30歳代	117	65.0	21.4	35.0	63.2	21.4	23.1	1.7	3.4	3.4	0.9
40歳代	201	66.2	22.9	26.9	40.8	18.4	13.4	1.0	6.0	5.5	1.0
50歳代	238	63.0	26.1	29.0	30.3	17.2	15.5	1.3	8.0	5.0	0.4
60歳代	175	58.9	36.0	21.7	14.3	28.0	4.6	2.9	8.0	4.6	1.7
70～74歳	72	52.8	54.2	15.3	5.6	41.7	-	-	13.9	5.6	-
75歳以上	121	31.4	48.8	11.6	1.7	45.5	1.7	-	19.8	4.1	2.5

## 第5章 地域社会との関わり【問15】

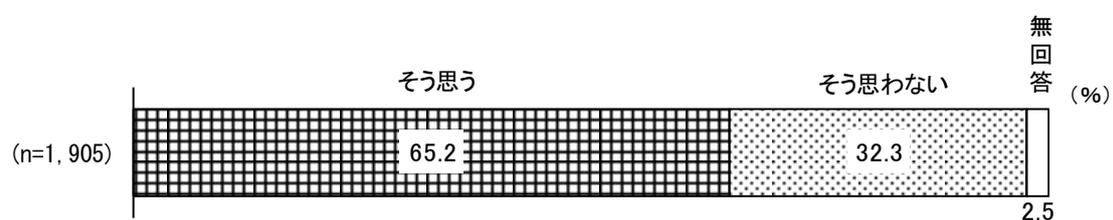
### 1 地域社会との関わりを大切にする意識【問15】

#### 【全体の状況】

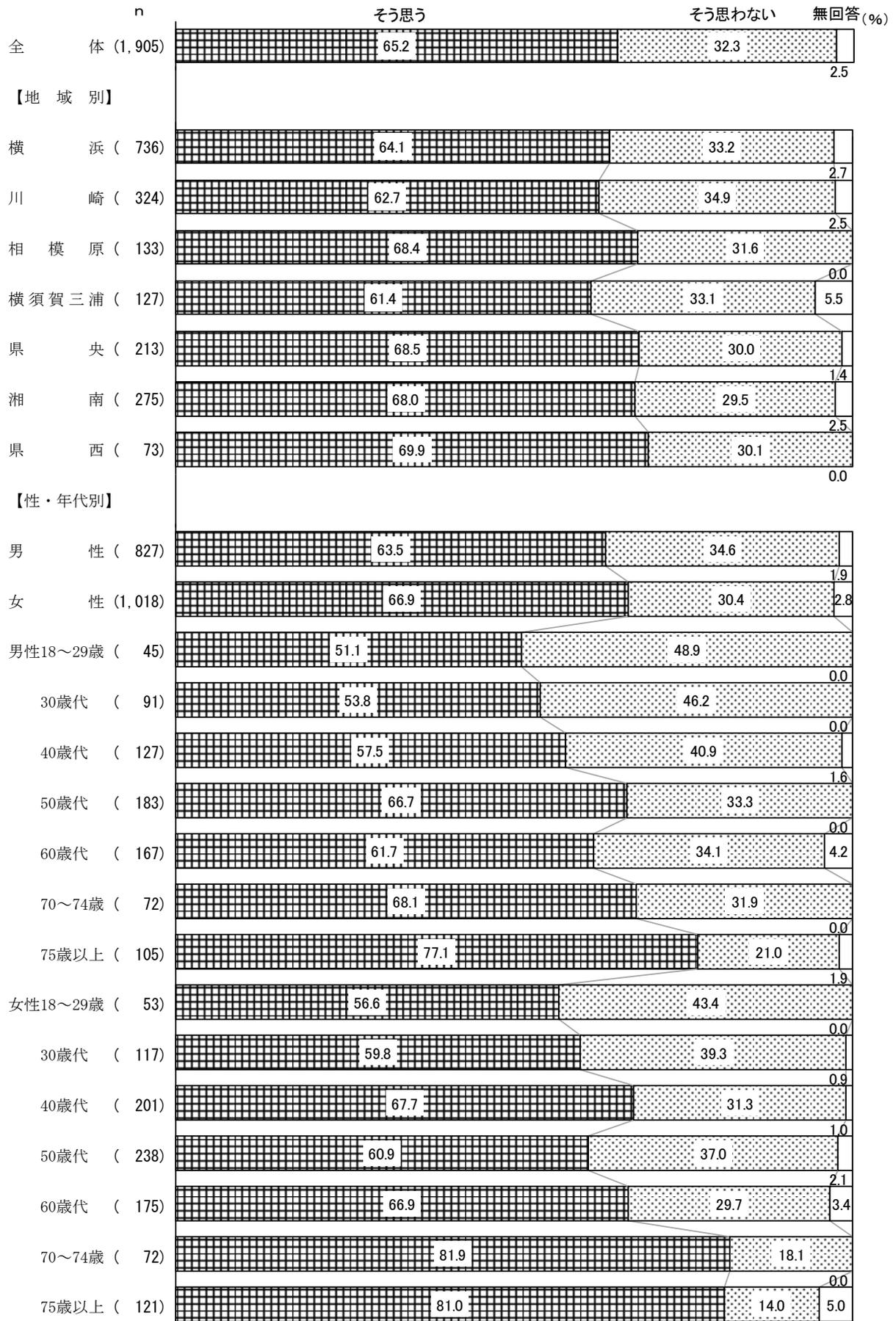
長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしているか尋ねたところ、「そう思う」が65.2%であった。

一方、「そう思わない」が32.3%であった。(図表5-1-1)

図表5-1-1 地域社会との関わりを大切にする意識



図表5-1-2 地域社会との関わりを大切にする意識－地域別、性・年代別



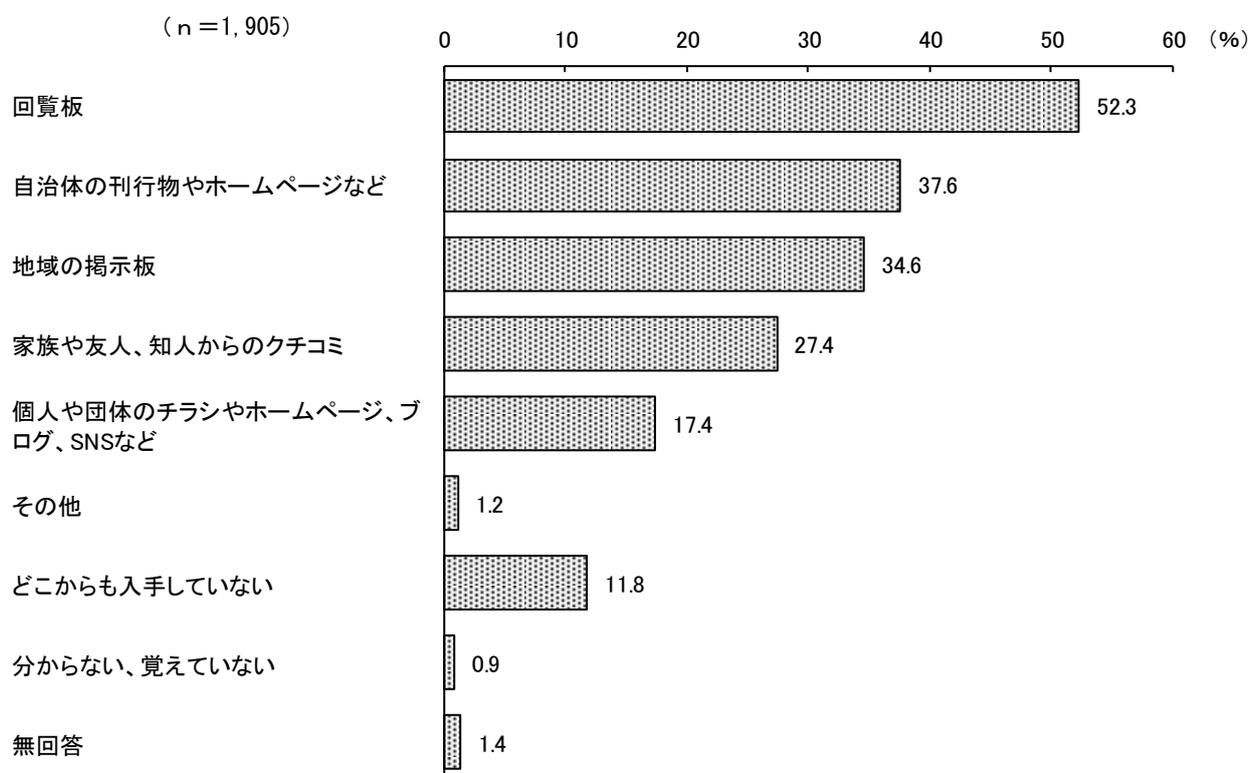
## 第6章 地域活動【問16～問18】

### 1 地域活動情報の入手手段【問16】

#### 【全体の状況】

地域活動の情報をどこで入手しているかを複数回答で尋ねたところ、「回覧板」が52.3%で最も多く、次いで「自治体の刊行物やホームページなど」が37.6%であった。（図表6-1-1）

図表6-1-1 地域活動情報の入手手段（複数回答）



図表6-1-2 地域活動情報の入手手段（複数回答）－地域別、性・年代別

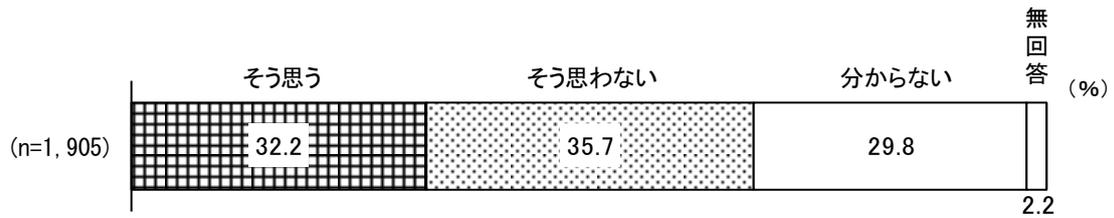
		(%)								
	n	回覧板	自治体の刊行物やホームページなど	地域の掲示板	家族や友人、知人からのクチコミ	個人や団体のチラシやホームページ、ブログ、SNSなど	その他	どこからも入手していない	分からない、覚えていない	無回答
全 体	1,905	52.3	37.6	34.6	27.4	17.4	1.2	11.8	0.9	1.4
【地 域 別】										
横 浜	736	48.6	33.4	39.1	24.7	15.4	1.4	13.0	1.2	1.5
川 崎	324	38.3	36.7	39.5	28.1	19.4	0.3	15.4	0.3	0.9
相 模 原	133	63.9	27.1	23.3	29.3	11.3	-	13.5	1.5	-
横 須 賀 三 浦	127	58.3	47.2	50.4	29.1	21.3	3.1	4.7	0.8	2.4
県 央	213	53.5	47.4	28.2	31.0	19.7	1.4	8.0	1.9	1.4
湘 南	275	63.6	41.8	24.4	26.9	18.9	1.5	9.5	-	1.8
県 西	73	71.2	47.9	19.2	39.7	17.8	-	9.6	-	-
【性・年代別】										
男 性	827	51.9	35.6	31.8	21.6	15.7	0.8	13.9	0.8	1.3
女 性	1,018	53.1	39.7	37.2	32.4	18.8	1.4	9.6	0.8	1.4
男性18～29歳	45	13.3	8.9	24.4	26.7	15.6	-	40.0	2.2	-
30歳代	91	30.8	23.1	19.8	20.9	18.7	-	27.5	1.1	1.1
40歳代	127	40.2	26.0	32.3	22.8	21.3	-	15.7	-	1.6
50歳代	183	54.1	34.4	32.8	24.6	16.4	-	12.0	1.1	-
60歳代	167	58.7	41.3	31.1	19.2	13.2	3.0	7.2	1.2	2.4
70～74歳	72	62.5	45.8	30.6	18.1	18.1	-	12.5	-	-
75歳以上	105	74.3	54.3	44.8	22.9	8.6	-	6.7	-	-
女性18～29歳	53	22.6	18.9	30.2	24.5	17.0	1.9	32.1	1.9	-
30歳代	117	38.5	25.6	44.4	38.5	28.2	0.9	16.2	-	0.9
40歳代	201	47.8	37.8	35.3	37.3	27.4	3.0	9.0	2.5	0.5
50歳代	238	50.4	38.7	34.0	28.6	16.8	1.3	10.9	0.4	1.3
60歳代	175	56.6	46.9	37.7	27.4	13.1	1.1	6.3	-	1.1
70～74歳	72	72.2	52.8	40.3	44.4	11.1	-	2.8	-	1.4
75歳以上	121	76.0	50.4	45.5	33.9	13.2	0.8	4.1	0.8	1.7

## 2 地域活動への参加意欲【問17】

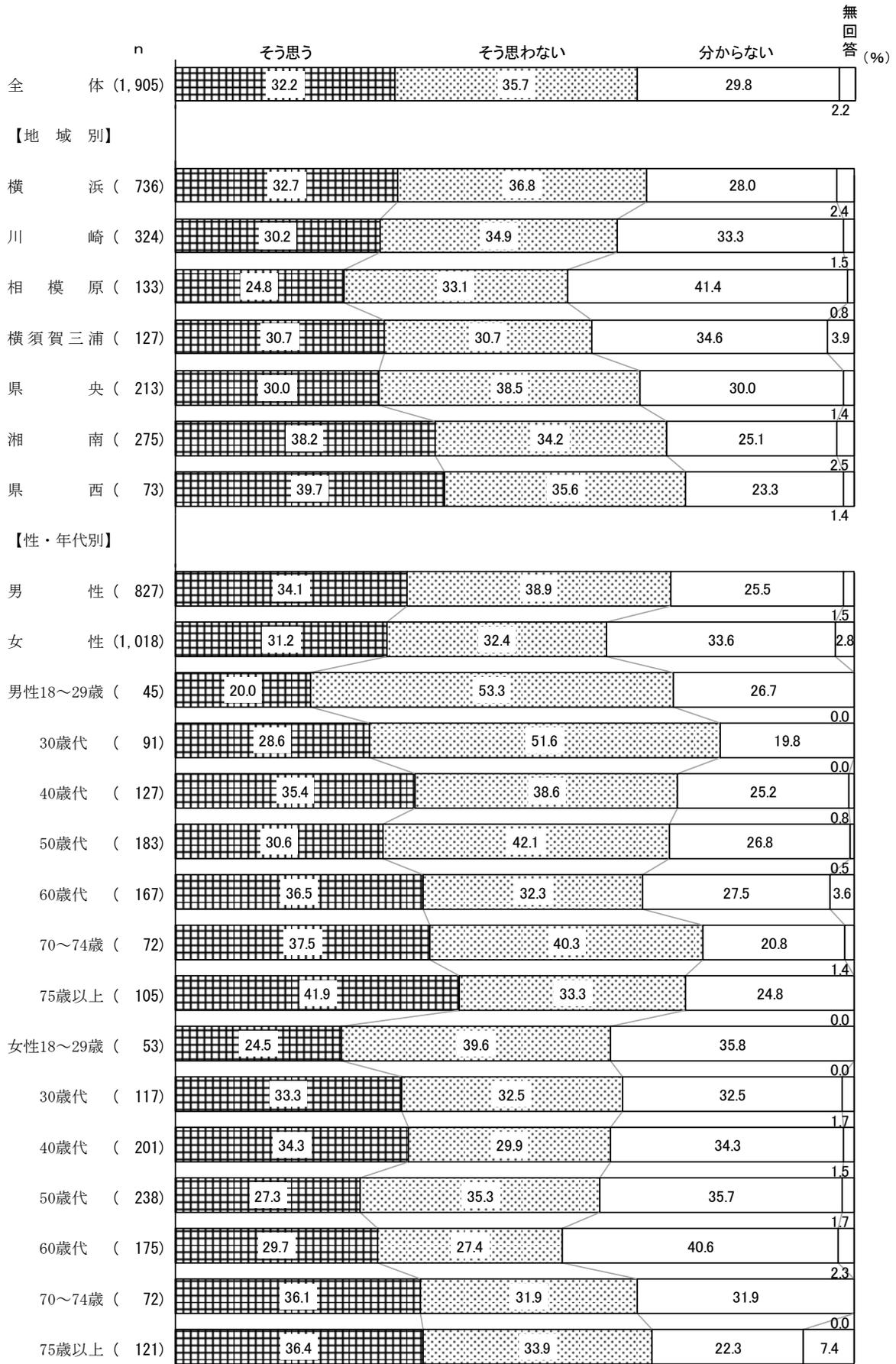
### 【全体の状況】

地域活動に参加したいと思うか尋ねたところ、「そう思う」が32.2%であった。一方、「そう思わない」が35.7%であった。(図表6-2-1)

図表6-2-1 地域活動への参加意欲



図表6-2-2 地域活動への参加意欲—地域別、性・年代別

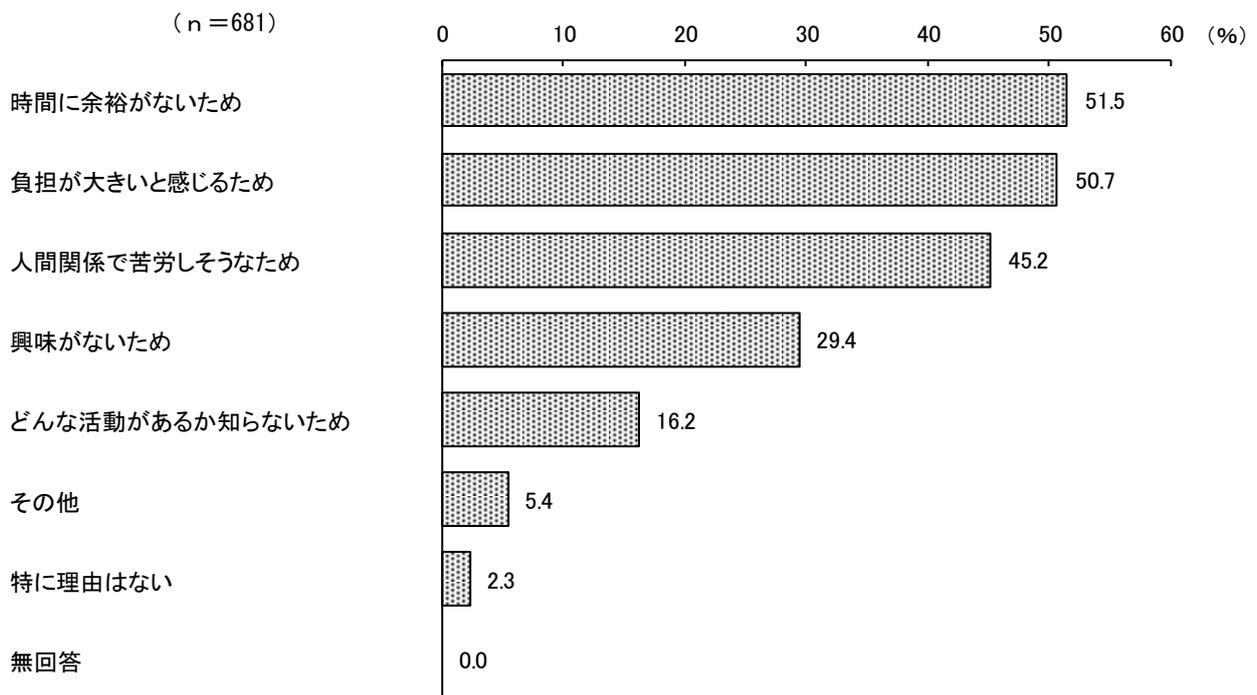


### 3 地域活動に参加したいと思わない理由【問17-1】

#### 【全体の状況】

地域活動への参加意欲（問 17）で、「そう思わない」と回答した 681 人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「時間に余裕がないため」が 51.5%で最も多く、次いで「負担が大きいつ感じるため」が 50.7%であった。（図表 6-3-1）

図表6-3-1 地域活動に参加したいと思わない理由（複数回答）



図表6-3-2 地域活動に参加したいと思わない理由（複数回答）－地域別、性・年代別

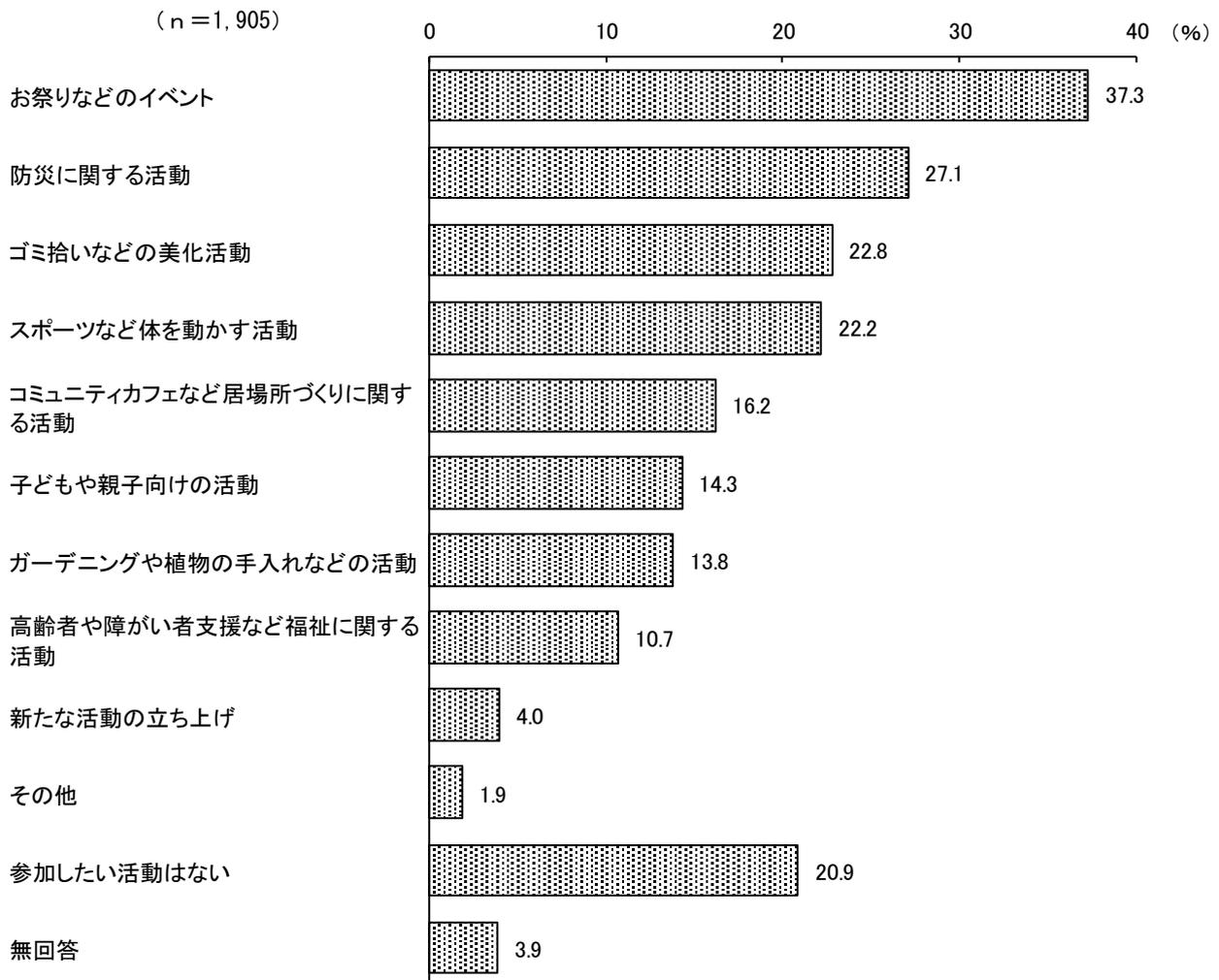
		(%)							
	n	時間に余裕がないため	負担が大きいと感じるため	人間関係で苦勞しそうなため	興味がないため	どんな活動があるか知らないため	その他	特に理由はない	無回答
全 体	681	51.5	50.7	45.2	29.4	16.2	5.4	2.3	-
【地 域 別】									
横 浜	271	51.3	47.6	42.8	28.0	16.2	5.5	1.8	-
川 崎	113	53.1	51.3	51.3	29.2	23.0	0.9	1.8	-
相 模 原	44	59.1	54.5	43.2	45.5	4.5	6.8	4.5	-
横 須 賀 三 浦	39	41.0	56.4	48.7	35.9	17.9	5.1	-	-
県 央	82	48.8	54.9	47.6	26.8	14.6	7.3	3.7	-
湘 南	94	53.2	53.2	40.4	30.9	11.7	7.4	3.2	-
県 西	26	50.0	50.0	53.8	15.4	26.9	7.7	-	-
【性・年代別】									
男 性	322	50.6	43.8	43.2	36.3	15.8	4.7	2.5	-
女 性	330	51.5	57.0	46.7	24.2	16.7	6.1	2.1	-
男性 18～29歳	24	58.3	50.0	41.7	62.5	25.0	4.2	-	-
30 歳 代	47	61.7	57.4	46.8	42.6	27.7	4.3	-	-
40 歳 代	49	65.3	38.8	53.1	28.6	16.3	4.1	-	-
50 歳 代	77	64.9	49.4	41.6	32.5	11.7	1.3	2.6	-
60 歳 代	54	35.2	33.3	46.3	40.7	7.4	3.7	1.9	-
70～74歳	29	34.5	58.6	48.3	31.0	17.2	6.9	3.4	-
75歳以上	35	17.1	20.0	20.0	25.7	14.3	14.3	8.6	-
女性 18～29歳	21	71.4	52.4	57.1	23.8	52.4	-	-	-
30 歳 代	38	71.1	68.4	55.3	28.9	31.6	5.3	-	-
40 歳 代	60	63.3	65.0	50.0	25.0	18.3	3.3	1.7	-
50 歳 代	84	48.8	50.0	46.4	29.8	10.7	4.8	1.2	-
60 歳 代	48	47.9	56.3	50.0	27.1	8.3	8.3	-	-
70～74歳	23	21.7	60.9	43.5	21.7	13.0	4.3	4.3	-
75歳以上	41	24.4	48.8	31.7	12.2	9.8	12.2	9.8	-

#### 4 参加してみたい地域活動【問18】

##### 【全体の状況】

どのような地域活動があれば参加してみたいかを複数回答で尋ねたところ、「お祭りなどのイベント」が37.3%で最も多く、次いで「防災に関する活動」が27.1%であった。(図表6-4-1)

図表6-4-1 参加してみたい地域活動（複数回答）



図表6-4-2 参加してみたい地域活動（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)

	n	お祭りなどのイベント	防災に関する活動	ゴミ拾いなどの美化活動	スポーツなど体を動かす活動	コミュニティカフェなど居場所づくりに関する活動	子どもや親子向けの活動	ガーデニングや植物の手入れなどの活動	高齢者や障がい者支援など福祉に関する活動	新たな活動の立ち上げ	その他	参加したい活動はない	無回答
全 体	1,905	37.3	27.1	22.8	22.2	16.2	14.3	13.8	10.7	4.0	1.9	20.9	3.9
【地 域 別】													
横 浜	736	35.2	25.8	18.9	21.9	17.1	14.9	12.4	9.1	3.8	1.6	20.8	3.5
川 崎	324	41.7	30.2	22.5	25.3	15.1	15.4	18.8	10.5	4.6	2.5	17.9	3.1
相 模 原	133	39.8	24.1	21.8	24.1	15.0	15.0	8.3	9.0	4.5	2.3	18.8	2.3
横 須 賀 三 浦	127	31.5	26.0	22.8	19.7	20.5	11.8	14.2	10.2	2.4	2.4	26.0	7.1
県 央	213	38.0	28.6	29.1	20.2	14.6	10.8	10.3	15.5	4.2	0.9	22.1	4.7
湘 南	275	37.8	28.4	29.8	22.9	15.3	15.6	16.4	12.4	3.3	2.5	22.5	4.0
県 西	73	42.5	27.4	24.7	17.8	16.4	12.3	19.2	12.3	8.2	1.4	19.2	2.7
【性・年代別】													
男 性	827	39.8	27.9	24.4	24.9	15.1	11.7	12.0	8.3	5.7	2.1	22.5	3.1
女 性	1,018	35.6	26.9	21.9	20.6	16.9	16.3	15.4	12.8	2.8	1.8	19.3	4.3
男性 18～29歳	45	44.4	11.1	8.9	31.1	13.3	11.1	11.1	2.2	6.7	2.2	35.6	-
30 歳 代	91	46.2	18.7	16.5	33.0	17.6	27.5	6.6	1.1	5.5	2.2	24.2	1.1
40 歳 代	127	52.0	30.7	24.4	32.3	15.0	26.0	15.0	4.7	8.7	0.8	17.3	2.4
50 歳 代	183	42.1	28.4	30.1	24.6	16.9	9.3	9.8	4.4	8.7	0.5	23.0	0.5
60 歳 代	167	34.1	38.3	27.5	23.4	16.2	4.8	13.2	13.2	4.8	1.8	21.6	3.0
70～74歳	72	31.9	23.6	23.6	18.1	13.9	4.2	16.7	20.8	1.4	4.2	20.8	1.4
75歳以上	105	32.4	27.6	23.8	18.1	10.5	2.9	14.3	9.5	2.9	2.9	22.9	10.5
女性 18～29歳	53	58.5	11.3	15.1	9.4	22.6	13.2	13.2	9.4	3.8	1.9	22.6	-
30 歳 代	117	63.2	28.2	15.4	23.1	17.9	54.7	6.8	5.1	3.4	2.6	7.7	1.7
40 歳 代	201	47.8	32.3	21.9	19.4	16.4	30.3	11.9	8.0	4.0	1.5	16.4	1.5
50 歳 代	238	32.4	27.7	20.6	21.0	16.0	6.3	16.8	14.3	2.5	0.8	25.2	3.4
60 歳 代	175	20.6	26.9	22.9	22.3	16.6	5.1	18.9	19.4	2.9	2.3	22.9	6.3
70～74歳	72	20.8	26.4	30.6	13.9	27.8	4.2	23.6	19.4	1.4	2.8	18.1	4.2
75歳以上	121	21.5	25.6	26.4	26.4	11.6	2.5	18.2	15.7	1.7	2.5	16.5	8.3

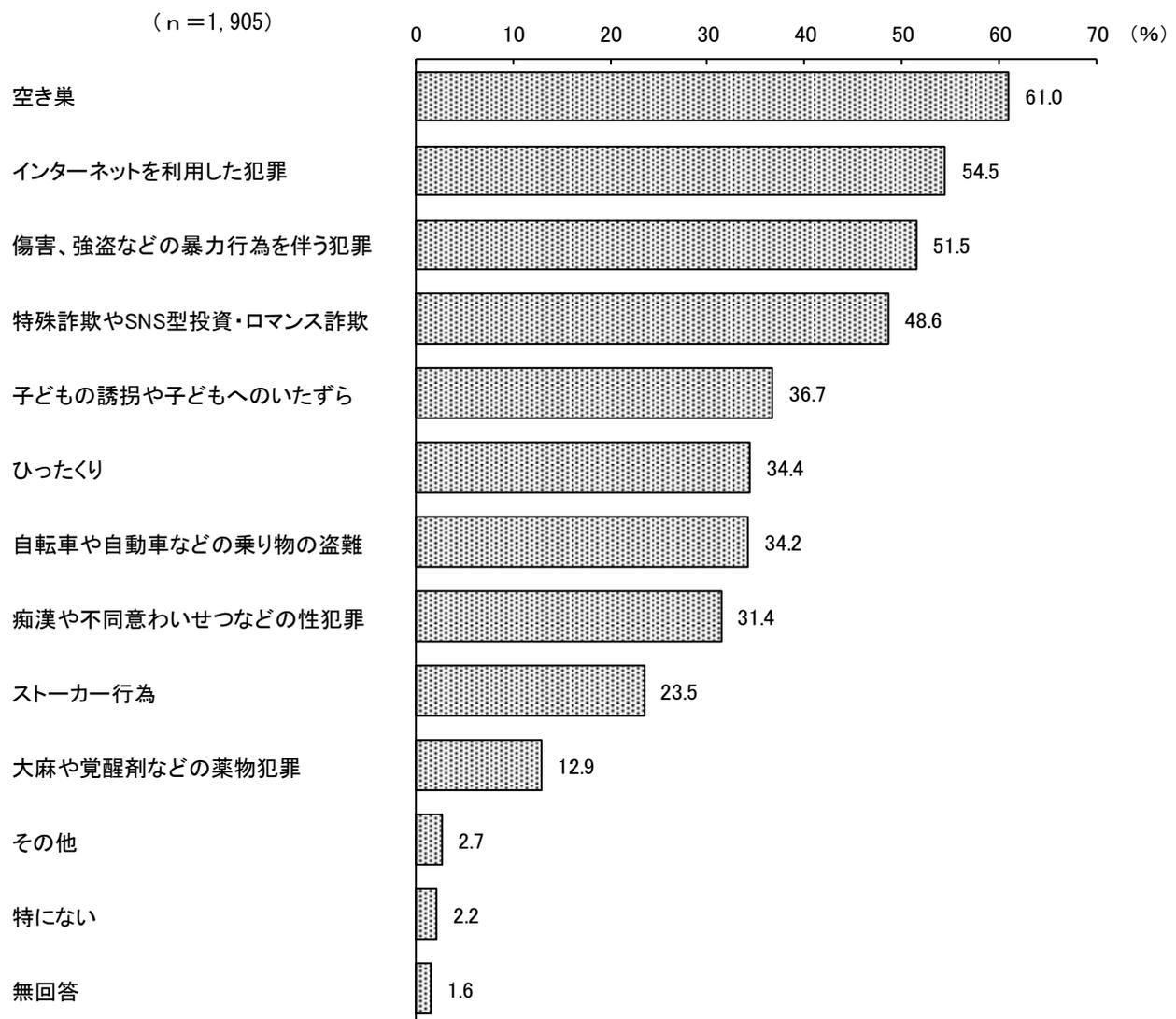
## 第7章 治安対策【問19～問21】

### 1 不安を感じる犯罪【問19】

#### 【全体の状況】

不安を感じる身近な犯罪を複数回答で尋ねたところ、「空き巣」が61.0%で最も多く、次いで「インターネットを利用した犯罪」が54.5%であった。(図表7-1-1)

図表7-1-1 不安を感じる犯罪（複数回答）



図表7-1-2 不安に感じる犯罪（複数回答）—地域別、性・年代別

(%)

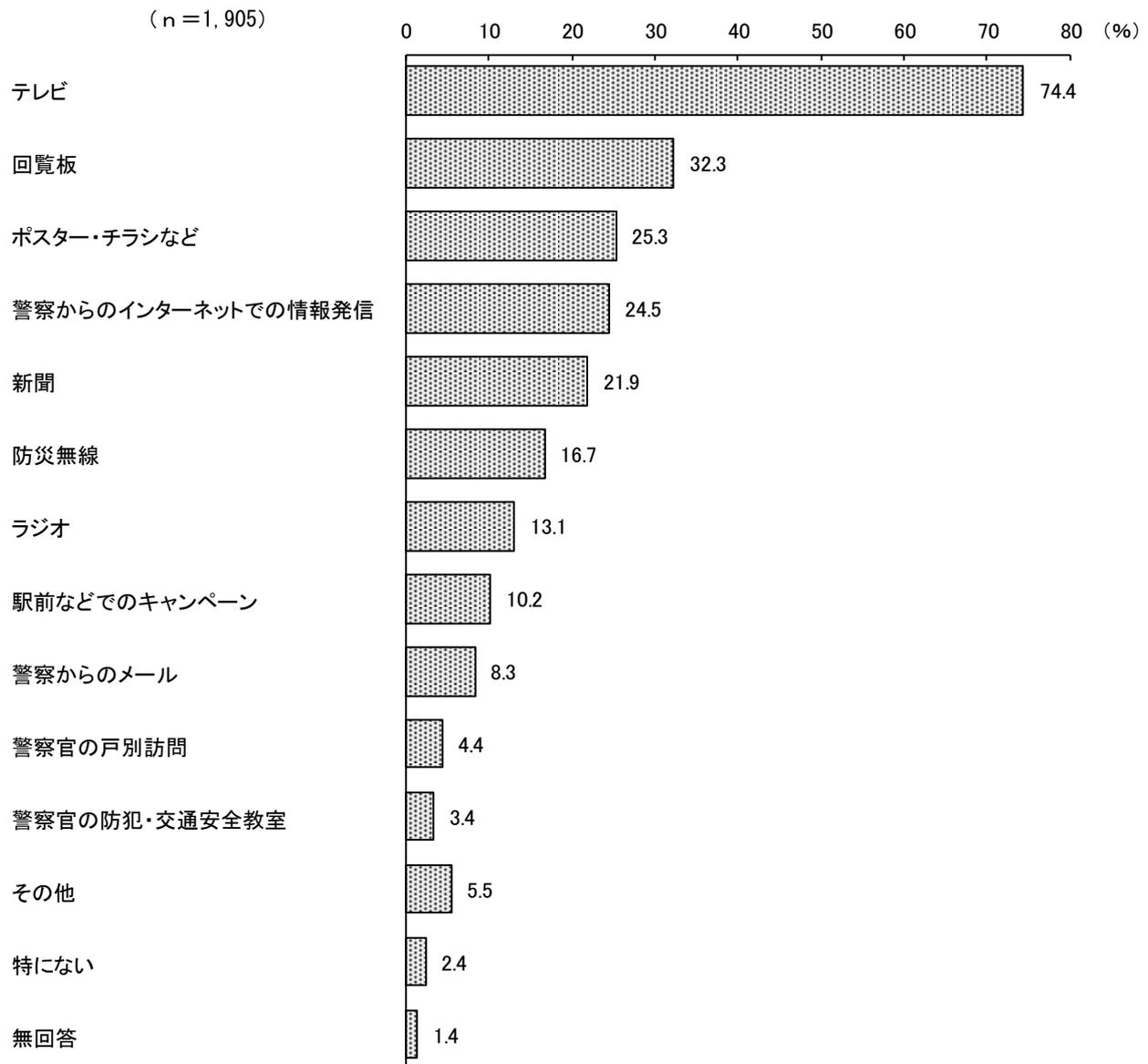
	n	空き巣	インターネットを利用した犯罪	傷害、強盗などの暴力行為を伴う犯罪	特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺	子どもの誘拐や子どもへのいたずら	ひったくり	自転車や自動車などの乗り物の盗難	痴漢や不同意わいせつなどの性犯罪	ストーカー行為	大麻や覚醒剤などの薬物犯罪	その他	特にない	無回答
全体	1,905	61.0	54.5	51.5	48.6	36.7	34.4	34.2	31.4	23.5	12.9	2.7	2.2	1.6
【地域別】														
横浜	736	59.9	55.2	51.2	48.0	38.3	35.7	30.2	31.8	23.9	12.0	2.7	2.0	1.8
川崎	324	55.2	58.6	53.4	47.8	38.6	36.1	32.1	33.0	25.0	13.3	2.8	2.2	1.2
相模原	133	68.4	51.1	51.9	45.9	40.6	35.3	41.4	34.6	24.1	15.0	2.3	3.0	-
横須賀三浦	127	60.6	52.0	51.2	54.3	31.5	33.9	29.1	25.2	21.3	16.5	1.6	4.7	2.4
県央	213	59.6	49.8	55.4	47.4	32.4	38.0	44.6	35.7	24.4	12.2	3.3	2.3	1.4
湘南	275	66.2	53.8	48.0	49.5	33.8	27.3	37.8	27.3	21.1	12.7	1.5	1.5	1.8
県西	73	69.9	57.5	50.7	58.9	37.0	28.8	39.7	31.5	19.2	13.7	6.8	-	-
【性・年代別】														
男性	827	57.7	50.7	50.9	49.5	27.8	25.5	37.8	20.2	17.8	12.9	3.3	3.5	1.3
女性	1,018	64.0	57.7	52.3	48.8	43.6	41.3	31.0	40.7	27.9	13.1	2.1	1.2	1.7
男性18～29歳	45	44.4	46.7	46.7	33.3	17.8	22.2	40.0	20.0	13.3	28.9	2.2	11.1	-
30歳代	91	52.7	41.8	38.5	29.7	41.8	18.7	39.6	18.7	22.0	18.7	8.8	4.4	-
40歳代	127	52.0	55.1	51.2	39.4	51.2	27.6	40.9	31.5	23.6	14.2	5.5	2.4	1.6
50歳代	183	66.1	54.6	55.2	54.6	26.2	23.0	44.3	24.6	19.7	10.9	2.2	1.6	-
60歳代	167	60.5	54.5	52.7	55.1	19.2	24.6	33.5	18.6	15.0	10.2	1.2	4.8	3.0
70～74歳	72	58.3	55.6	48.6	62.5	11.1	26.4	19.4	5.6	9.7	4.2	4.2	-	-
75歳以上	105	51.4	41.0	50.5	57.1	20.0	28.6	38.1	13.3	15.2	12.4	1.0	4.8	1.0
女性18～29歳	53	50.9	62.3	43.4	30.2	41.5	22.6	22.6	62.3	62.3	9.4	1.9	-	-
30歳代	117	58.1	65.0	56.4	41.0	66.7	33.3	39.3	54.7	40.2	17.9	1.7	2.6	0.9
40歳代	201	64.2	65.7	53.7	46.8	65.7	40.8	37.8	56.2	33.3	17.4	4.0	0.5	0.5
50歳代	238	70.2	63.9	51.7	47.5	34.9	42.4	37.8	42.4	23.9	17.2	2.1	0.8	1.7
60歳代	175	64.0	57.1	58.3	52.6	34.3	44.0	29.1	29.7	25.7	8.6	1.7	1.1	1.1
70～74歳	72	72.2	48.6	51.4	63.9	33.3	55.6	19.4	27.8	16.7	4.2	1.4	1.4	1.4
75歳以上	121	61.2	32.2	46.3	59.5	25.6	44.6	16.5	17.4	11.6	8.3	0.8	0.8	3.3

## 2 防犯や交通安全の情報について得やすい方法【問20】

### 【全体の状況】

防犯や交通安全の情報について、得やすい方法を複数回答で尋ねたところ、「テレビ」が74.4%で最も多く、次いで「回覧板」が32.3%であった。(図表7-2-1)

図表7-2-1 防犯や交通安全の情報について得やすい方法（複数回答）



図表7-2-2 防犯や交通安全の情報について得やすい方法（複数回答）—地域別、性・年代別

(%)

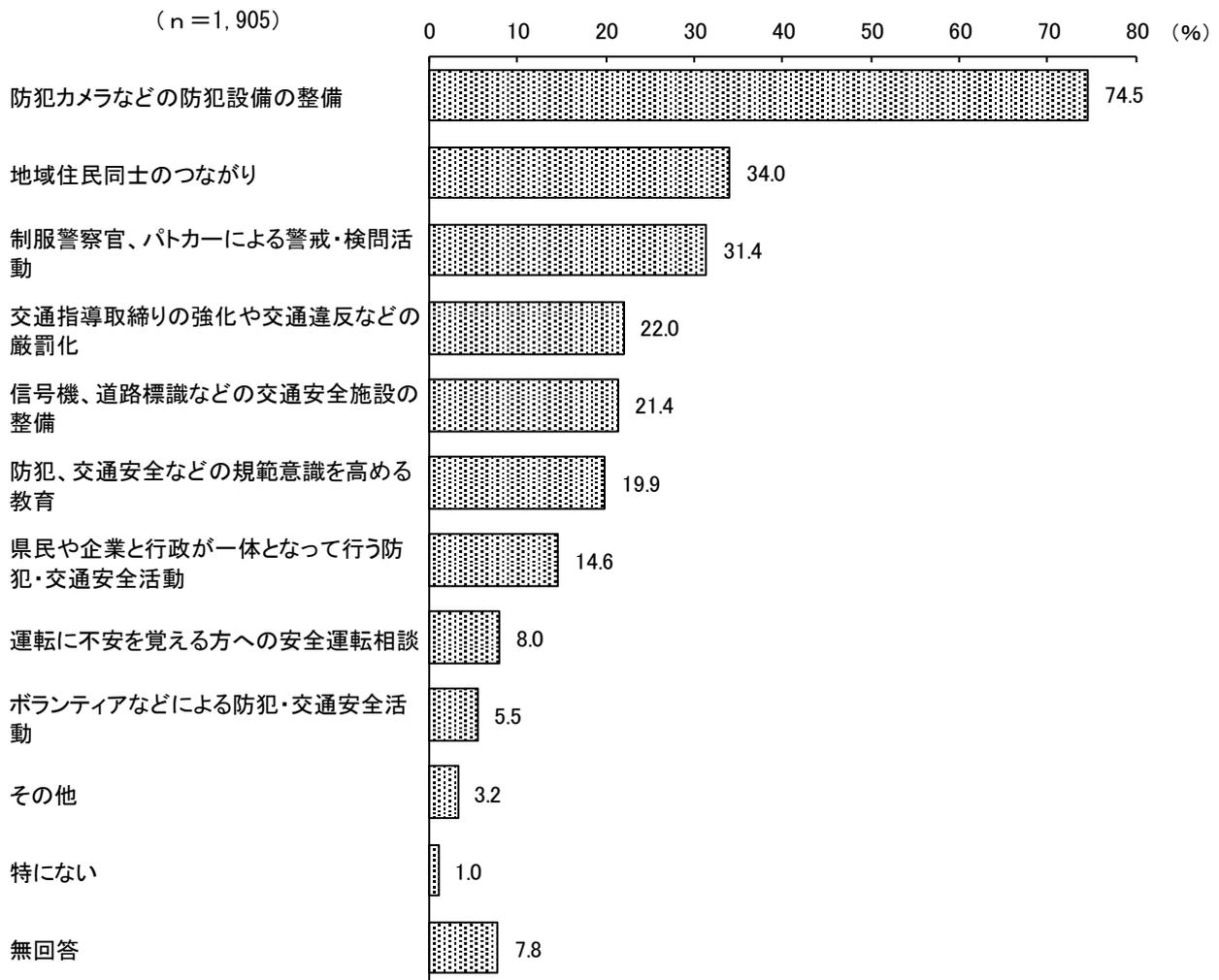
	n	テレビ	回覧板	ポスター・チラシなど	警察からのインターネットでの情報発信	新聞	防災無線	ラジオ	駅前などでのキャンペーン	警察からのメール	警察官の戸別訪問	警察官の防犯・交通安全教室	その他	特にない	無回答
全体	1,905	74.4	32.3	25.3	24.5	21.9	16.7	13.1	10.2	8.3	4.4	3.4	5.5	2.4	1.4
【地域別】															
横浜	736	73.4	31.7	25.8	28.5	21.9	4.6	11.7	11.1	9.8	4.1	2.7	6.7	2.9	1.2
川崎	324	73.8	20.1	25.6	31.5	20.7	13.0	11.4	13.0	6.2	3.4	4.6	5.9	1.9	0.9
相模原	133	70.7	30.1	21.8	15.8	14.3	21.8	12.0	9.0	8.3	5.3	3.0	5.3	2.3	0.8
横須賀三浦	127	73.2	37.8	22.0	22.8	20.5	31.5	15.7	9.4	11.8	4.7	1.6	6.3	3.1	2.4
県央	213	82.6	33.3	29.1	20.7	25.8	31.5	13.6	10.3	7.0	4.7	3.3	2.8	0.9	0.9
湘南	275	73.1	41.5	25.1	16.7	22.5	31.3	14.9	6.9	7.3	4.7	4.4	4.0	2.2	1.5
県西	73	78.1	47.9	19.2	15.1	28.8	28.8	24.7	5.5	4.1	5.5	2.7	5.5	4.1	1.4
【性・年代別】															
男性	827	70.6	29.7	21.4	24.5	22.5	16.0	16.2	9.8	5.9	5.2	2.7	5.6	3.5	1.2
女性	1,018	77.7	34.6	28.5	24.7	21.5	18.0	10.7	10.7	10.2	3.6	3.7	5.4	1.2	1.3
男性18～29歳	45	55.6	4.4	17.8	28.9	8.9	8.9	4.4	13.3	4.4	-	-	13.3	13.3	-
30歳代	91	53.8	11.0	12.1	26.4	3.3	12.1	5.5	15.4	6.6	-	1.1	9.9	9.9	-
40歳代	127	59.8	22.0	34.6	38.6	10.2	15.7	16.5	15.0	11.0	3.1	2.4	4.7	1.6	0.8
50歳代	183	67.2	27.3	20.2	33.9	13.7	16.4	23.0	9.3	6.6	5.5	1.6	6.6	2.2	0.5
60歳代	167	74.3	32.9	18.6	21.6	25.7	16.8	17.4	10.8	4.2	4.2	1.8	4.2	2.4	2.4
70～74歳	72	86.1	36.1	16.7	13.9	37.5	23.6	19.4	6.9	5.6	5.6	4.2	6.9	2.8	-
75歳以上	105	91.4	53.3	24.8	6.7	52.4	14.3	15.2	-	1.9	11.4	5.7	1.0	1.0	1.0
女性18～29歳	53	66.0	3.8	28.3	34.0	-	5.7	5.7	11.3	3.8	-	1.9	9.4	5.7	-
30歳代	117	66.7	28.2	35.0	32.5	3.4	14.5	7.7	12.8	11.1	-	9.4	11.1	0.9	0.9
40歳代	201	66.7	28.9	24.4	35.3	8.5	15.4	10.9	16.9	16.9	3.5	4.0	9.5	1.0	0.5
50歳代	238	78.2	23.5	24.8	25.2	17.6	24.4	8.8	7.1	10.5	2.5	1.3	4.2	1.7	1.3
60歳代	175	85.1	39.4	28.6	24.0	24.6	17.1	9.1	11.4	7.4	4.0	4.0	1.7	0.6	1.7
70～74歳	72	90.3	63.9	37.5	12.5	38.9	22.2	20.8	4.2	5.6	11.1	4.2	2.8	-	-
75歳以上	121	92.6	58.7	31.4	6.6	59.5	16.5	14.9	10.7	6.6	6.6	3.3	0.8	-	0.8

### 3 犯罪や交通事故がなく安心してくらすために重要だと思うもの【問21】

#### 【全体の状況】

犯罪や交通事故がなく、より安心してくらすために重要だと思うものを複数回答（3つまで選択可）で尋ねたところ、「防犯カメラなどの防犯設備の整備」が74.5%で最も多く、次いで「地域住民同士のつながり」が34.0%であった。（図表7-3-1）

図表7-3-1 犯罪や交通事故がなく安心してくらすために重要だと思うもの（複数回答）



図表7-3-2 犯罪や交通事故がなく安心してくらすために重要だと思うもの（複数回答）

－地域別、性・年代別

(%)

	n	防犯カメラなどの防犯設備の整備	地域住民同士のつながり	制服警察官、パトカーによる警戒・検問活動	交通指導取締りの強化や交通違反などの厳罰化	信号機、道路標識などの交通安全施設の整備	防犯、交通安全などの規範意識を高める教育	県民や企業と行政が一体となって行う防犯・交通安全活動	運転に不安を覚える方への安全運転相談	ボランティアなどによる防犯・交通安全活動	その他	特にない	無回答
全体	1,905	74.5	34.0	31.4	22.0	21.4	19.9	14.6	8.0	5.5	3.2	1.0	7.8
【地域別】													
横浜	736	76.5	35.2	31.4	22.6	21.3	20.8	15.6	7.3	5.6	2.6	0.7	5.8
川崎	324	72.8	30.9	29.6	23.8	22.2	21.9	13.9	5.6	6.2	4.3	0.3	9.3
相模原	133	72.9	30.1	38.3	24.8	20.3	17.3	12.8	9.0	4.5	3.0	1.5	6.0
横須賀三浦	127	73.2	33.1	32.3	19.7	19.7	15.0	15.7	12.6	3.9	2.4	1.6	10.2
県央	213	74.2	28.6	38.0	18.8	23.0	19.2	16.4	6.6	6.1	3.8	1.4	7.0
湘南	275	72.7	39.3	26.5	19.6	20.7	21.8	10.5	11.3	5.8	2.9	1.8	10.2
県西	73	76.7	41.1	27.4	26.0	23.3	13.7	16.4	9.6	4.1	5.5	-	9.6
【性・年代別】													
男性	827	75.3	32.0	32.5	22.0	21.9	18.6	14.5	7.9	6.0	4.1	1.3	6.5
女性	1,018	74.3	36.0	30.9	22.1	21.3	21.1	14.2	8.3	5.2	2.6	0.7	8.3
男性18～29歳	45	77.8	24.4	24.4	26.7	37.8	11.1	17.8	20.0	4.4	4.4	-	-
30歳代	91	75.8	17.6	42.9	29.7	27.5	16.5	12.1	9.9	7.7	5.5	2.2	1.1
40歳代	127	78.0	20.5	38.6	17.3	22.0	31.5	11.8	13.4	11.0	6.3	-	4.7
50歳代	183	80.3	37.7	37.7	18.0	25.1	18.6	17.5	4.9	2.7	3.3	0.5	1.6
60歳代	167	75.4	33.5	26.9	24.0	14.4	18.6	16.8	9.6	3.6	5.4	2.4	10.8
70～74歳	72	81.9	43.1	27.8	25.0	18.1	12.5	11.1	-	5.6	1.4	1.4	8.3
75歳以上	105	64.8	42.9	23.8	23.8	20.0	13.3	12.4	3.8	8.6	2.9	1.9	10.5
女性18～29歳	53	64.2	18.9	45.3	34.0	32.1	17.0	17.0	18.9	5.7	5.7	-	1.9
30歳代	117	75.2	28.2	41.9	30.8	18.8	23.9	19.7	9.4	7.7	-	-	6.8
40歳代	201	69.2	35.3	34.3	22.4	25.4	25.9	13.9	10.4	6.5	2.0	1.0	7.0
50歳代	238	74.4	30.3	30.7	18.5	17.2	25.2	13.9	10.1	4.6	5.0	0.8	8.4
60歳代	175	79.4	34.9	28.6	17.7	24.6	21.1	8.6	5.1	2.9	3.4	1.1	10.3
70～74歳	72	77.8	48.6	19.4	20.8	18.1	15.3	22.2	4.2	4.2	1.4	-	9.7
75歳以上	121	82.6	54.5	26.4	23.1	18.2	10.7	11.6	4.1	5.8	-	-	6.6

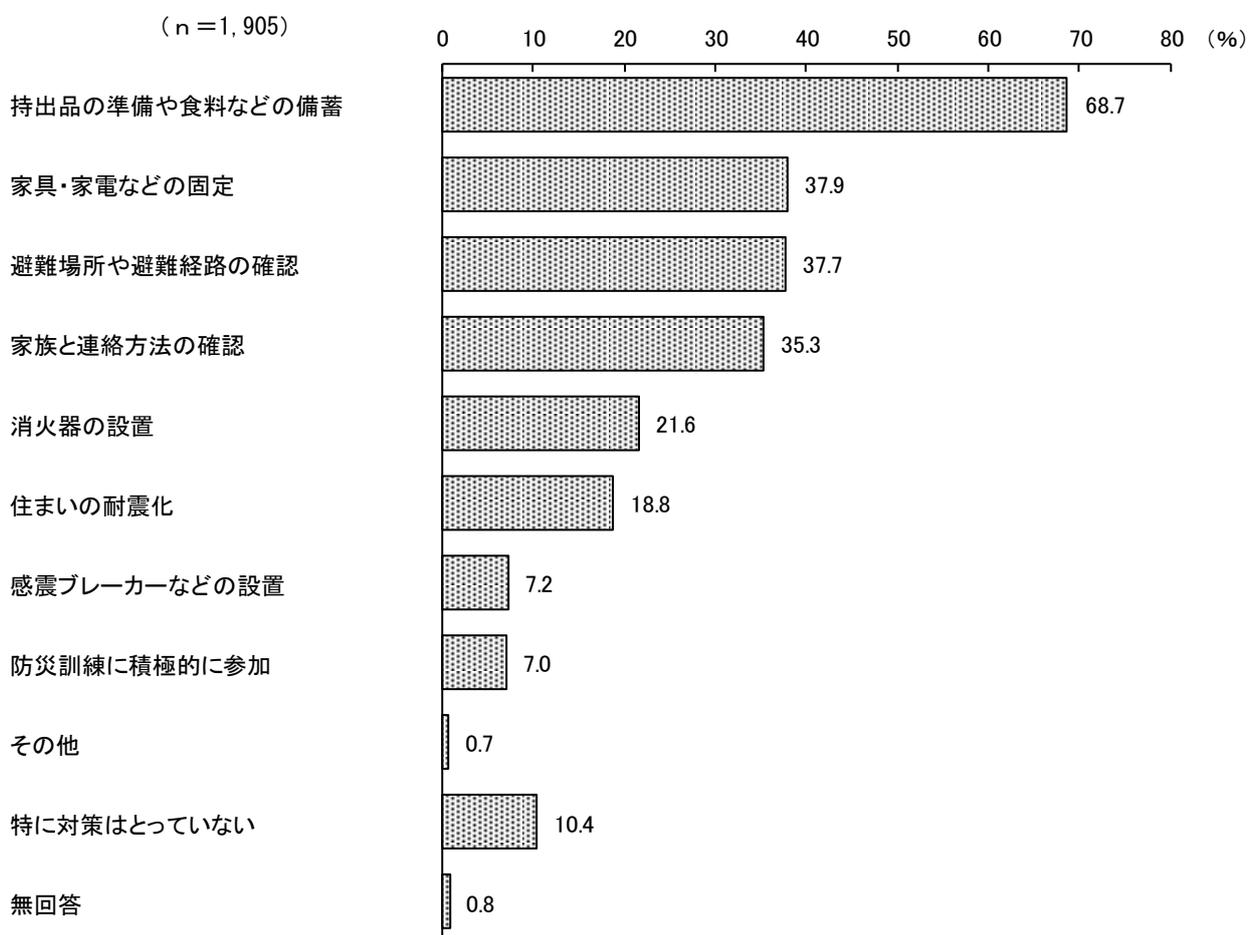
## 第8章 地震対策の取組み【問22】

### 1 大きな地震に備えた対策【問22】

#### 【全体の状況】

県では、首都直下地震や南海トラフ地震、県西部地震の発生の切迫性が指摘されるなど、大規模地震に対する備えが重要な課題になっていることも補足した上で、家では、大きな地震に備えて、どのような対策をとっているか複数回答で尋ねたところ、「持出品の準備や食料などの備蓄」が68.7%で最も多く、次いで「家具・家電などの固定」が37.9%であった。（図表8-1-1）

図表8-1-1 大きな地震に備えた対策（複数回答）



図表8-1-2 大きな地震に備えた対策（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)

	n	持出品の準備や食料などの備蓄	家具・家電などの固定	避難場所や避難経路の確認	家族と連絡方法の確認	消火器の設置	住まいの耐震化	感震ブレイカーなどの設置	防災訓練に積極的に参加	その他	特に対策はとっていない	無回答
全体	1,905	68.7	37.9	37.7	35.3	21.6	18.8	7.2	7.0	0.7	10.4	0.8
【地域別】												
横浜	736	68.2	36.7	35.3	34.1	21.9	18.6	9.1	5.8	0.8	10.1	1.0
川崎	324	67.9	36.7	38.0	35.8	21.0	21.9	5.2	7.1	0.3	13.6	0.3
相模原	133	68.4	36.8	41.4	32.3	14.3	18.0	3.8	7.5	-	11.3	0.8
横須賀三浦	127	63.0	34.6	44.9	40.2	25.2	15.7	7.9	8.7	0.8	6.3	-
県央	213	69.5	45.1	41.3	37.1	23.9	16.4	6.1	10.3	0.9	8.9	-
湘南	275	72.0	38.2	37.8	35.6	21.5	18.9	5.1	5.5	1.1	10.2	1.5
県西	73	76.7	41.1	34.2	35.6	23.3	19.2	15.1	13.7	-	11.0	-
【性・年代別】												
男性	827	63.4	37.1	34.3	34.2	20.9	17.4	7.5	7.7	0.6	13.9	0.7
女性	1,018	73.2	38.7	40.7	36.3	21.8	19.9	7.0	6.7	0.8	7.8	0.7
男性18～29歳	45	55.6	31.1	33.3	28.9	6.7	15.6	-	-	-	22.2	2.2
30歳代	91	70.3	19.8	27.5	33.0	13.2	15.4	3.3	-	1.1	15.4	-
40歳代	127	63.8	29.9	37.8	33.9	12.6	18.1	5.5	5.5	1.6	17.3	-
50歳代	183	59.0	36.6	33.3	35.5	19.1	18.0	5.5	8.2	0.5	17.5	0.5
60歳代	167	62.3	39.5	32.9	34.1	24.0	17.4	11.4	9.0	-	11.4	1.2
70～74歳	72	70.8	50.0	38.9	36.1	30.6	22.2	9.7	12.5	-	5.6	1.4
75歳以上	105	63.8	50.5	32.4	32.4	29.5	14.3	10.5	11.4	-	8.6	1.0
女性18～29歳	53	71.7	34.0	35.8	34.0	5.7	18.9	1.9	1.9	-	15.1	-
30歳代	117	80.3	35.0	43.6	28.2	9.4	26.5	1.7	6.8	0.9	6.8	-
40歳代	201	74.1	34.3	47.8	42.3	12.4	20.9	5.0	5.0	0.5	6.0	1.0
50歳代	238	73.9	37.4	38.7	36.1	21.0	16.4	5.5	6.7	1.3	5.5	0.4
60歳代	175	71.4	44.0	35.4	38.3	26.3	20.0	6.9	5.1	0.6	10.9	-
70～74歳	72	75.0	44.4	38.9	31.9	33.3	20.8	18.1	8.3	1.4	9.7	-
75歳以上	121	66.9	43.8	43.0	38.0	40.5	19.0	13.2	10.7	0.8	6.6	2.5

## 第9章 自転車ヘルメットの着用【問23～問23-1】

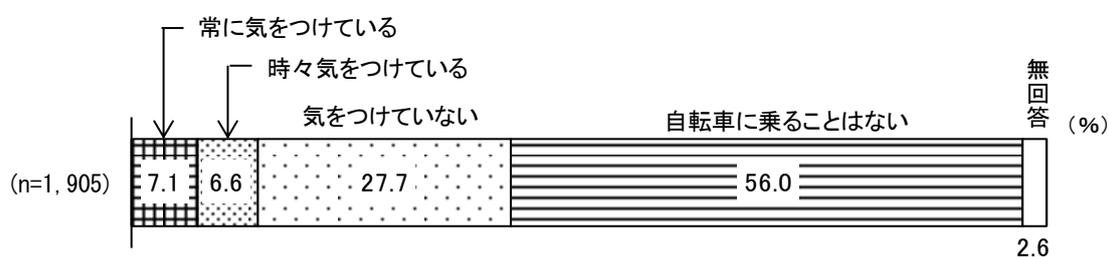
### 1 自転車ヘルメットの着用に関する意識【問23】

#### 【全体の状況】

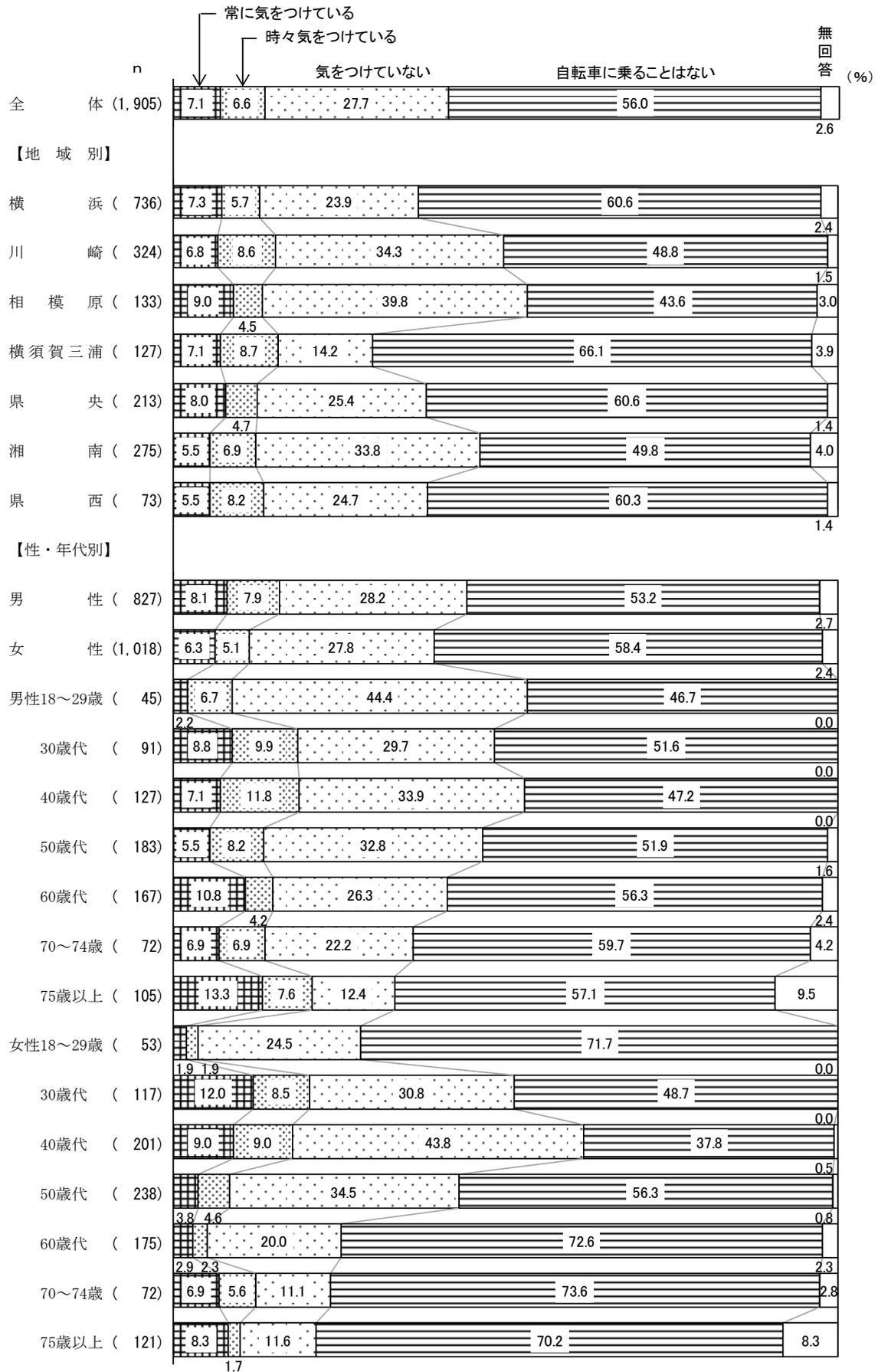
自転車に乗るときは、ヘルメットを着用するよう気をつけているか尋ねたところ、「常に気をつけている」が7.1%、「時々気をつけている」が6.6%であった。

一方、「気をつけていない」が27.7%であった。(図表9-1-1)

図表9-1-1 自転車ヘルメットの着用に関する意識



図表9-1-2 自転車ヘルメットの着用に関する意識—地域別、性・年代別

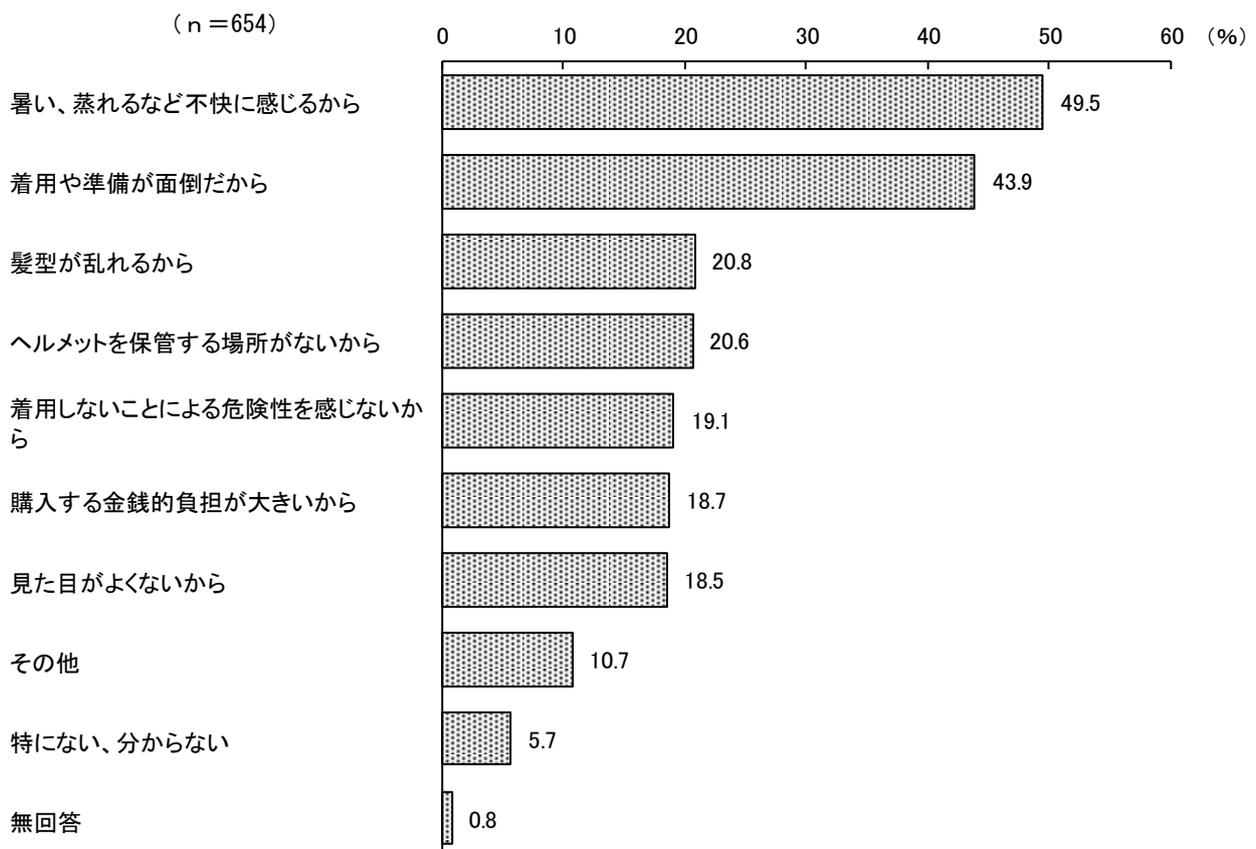


## 2 ヘルメットを着用するよう常に気をつけていない理由【問23-1】

### 【全体の状況】

自転車ヘルメットの着用に関する意識（問23）で、「時々気をつけている」または「気をつけていない」と回答した654人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「暑い、蒸れるなど不快に感じるから」が49.5%で最も多く、次いで「着用や準備が面倒だから」が43.9%であった。（図表9-2-1）

図表9-2-1 ヘルメットを着用するよう常に気をつけていない理由（複数回答）



図表9-2-2 ヘルメットを着用するよう常に気をつけていない理由（複数回答）

—地域別、性・年代別

(%)

	n	暑い、蒸れるなど不快に感じるから	着用や準備が面倒だから	髪型が乱れるから	ヘルメットを保管する場所がないから	着用しないことによる危険性を感じないから	購入する金銭的負担が大きいから	見た目がよくないから	その他	特にない、分からない	無回答
全 体	654	49.5	43.9	20.8	20.6	19.1	18.7	18.5	10.7	5.7	0.8
【地 域 別】											
横 浜	218	49.1	45.0	20.6	21.1	16.5	17.9	20.6	10.1	6.0	0.9
川 崎	139	48.9	49.6	23.0	22.3	18.7	19.4	16.5	8.6	5.8	0.7
相 模 原	59	59.3	40.7	25.4	22.0	28.8	11.9	22.0	10.2	3.4	-
横須賀三浦	29	37.9	34.5	6.9	31.0	20.7	10.3	6.9	10.3	6.9	3.4
県 央	64	43.8	46.9	20.3	18.8	20.3	18.8	20.3	14.1	4.7	-
湘 南	112	50.9	42.9	18.8	17.0	17.0	25.9	14.3	8.0	8.0	-
県 西	24	50.0	16.7	29.2	12.5	29.2	20.8	29.2	29.2	-	-
【性・年代別】											
男 性	298	46.0	47.3	17.1	20.1	26.8	14.8	14.4	9.7	6.4	0.3
女 性	335	52.5	41.2	23.9	20.6	12.5	22.4	21.5	10.7	5.1	0.9
男性18～29歳	23	69.6	60.9	30.4	34.8	26.1	26.1	21.7	8.7	4.3	-
30歳代	36	52.8	52.8	25.0	33.3	27.8	16.7	22.2	5.6	5.6	2.8
40歳代	58	51.7	46.6	20.7	17.2	19.0	13.8	19.0	8.6	6.9	-
50歳代	75	36.0	48.0	13.3	21.3	25.3	14.7	6.7	6.7	5.3	-
60歳代	51	43.1	54.9	11.8	13.7	35.3	9.8	15.7	9.8	3.9	-
70～74歳	21	33.3	28.6	-	9.5	38.1	19.0	9.5	19.0	9.5	-
75歳以上	21	47.6	42.9	14.3	9.5	28.6	9.5	9.5	14.3	9.5	-
女性18～29歳	14	42.9	50.0	42.9	28.6	21.4	42.9	28.6	7.1	7.1	-
30歳代	46	58.7	54.3	37.0	17.4	10.9	21.7	30.4	-	8.7	-
40歳代	106	50.9	39.6	29.2	23.6	9.4	22.6	27.4	14.2	3.8	-
50歳代	93	48.4	34.4	19.4	19.4	12.9	19.4	14.0	16.1	6.5	1.1
60歳代	39	64.1	46.2	17.9	20.5	17.9	25.6	23.1	7.7	-	-
70～74歳	12	33.3	41.7	-	16.7	16.7	16.7	8.3	-	16.7	-
75歳以上	16	62.5	31.3	6.3	6.3	6.3	18.8	12.5	6.3	-	12.5

## 第10章 スポーツ【問24～問27】

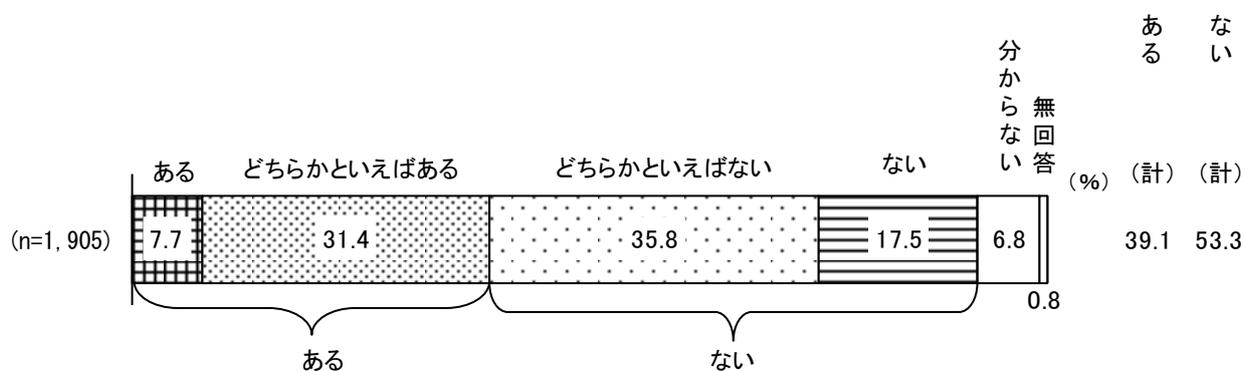
### 1 体力への自信の有無【問24】

#### 【全体の状況】

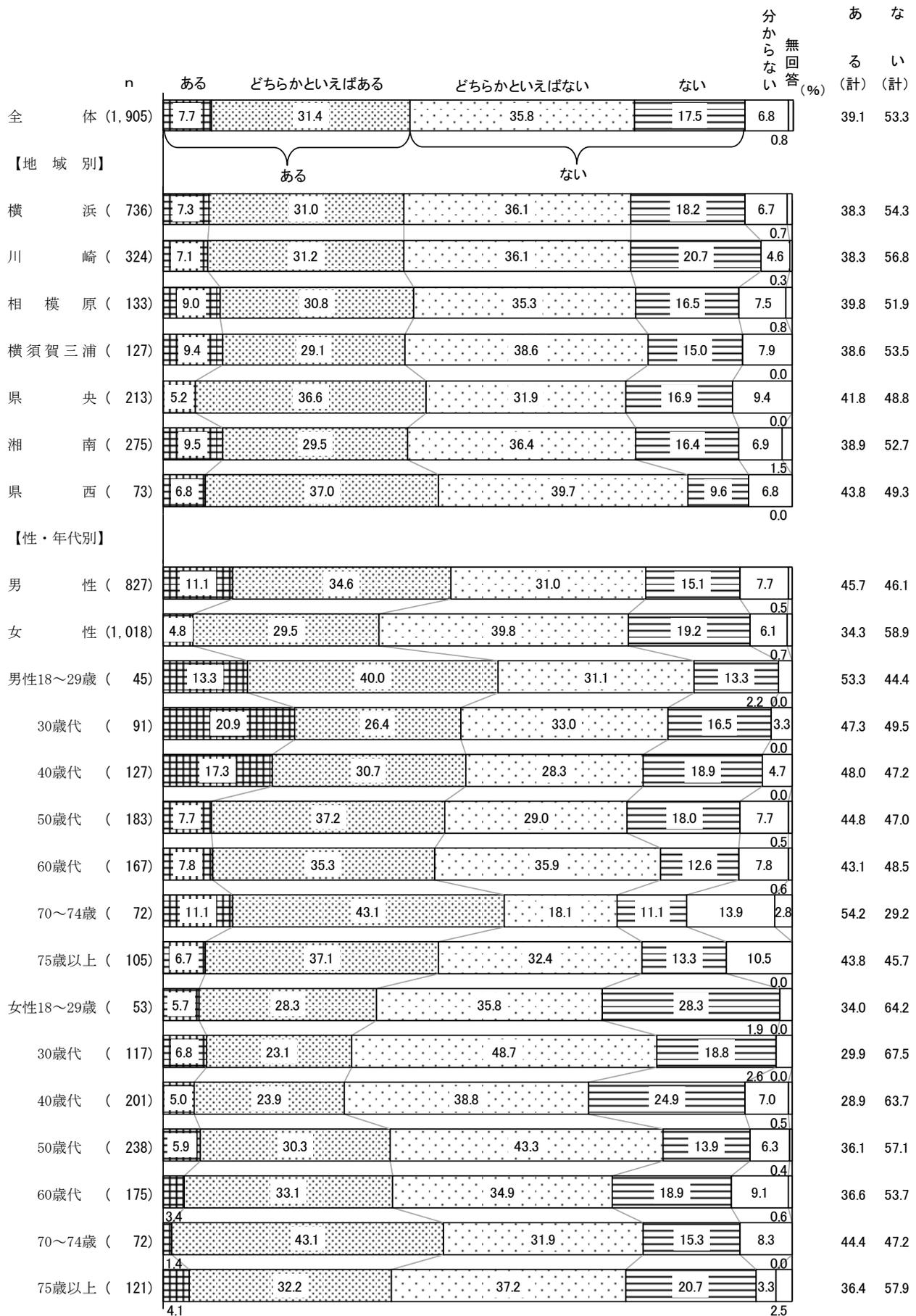
体力に自信があるか尋ねたところ、「ある」(7.7%)と「どちらかといえばある」(31.4%)を合わせた《ある》は39.1%であった。

一方、「ない」(17.5%)と「どちらかといえばない」(35.8%)を合わせた《ない》は53.3%であった。(図表10-1-1)

図表10-1-1 体力への自信の有無



図表10-1-2 体力への自信の有無—地域別、性・年代別

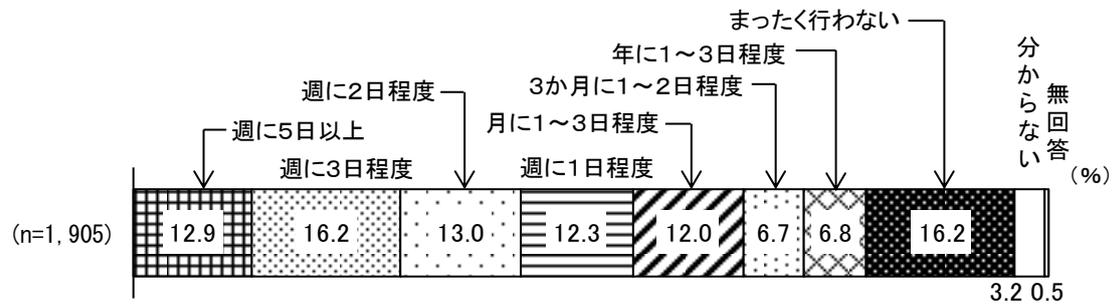


## 2 1年間のスポーツ実施日数【問25】

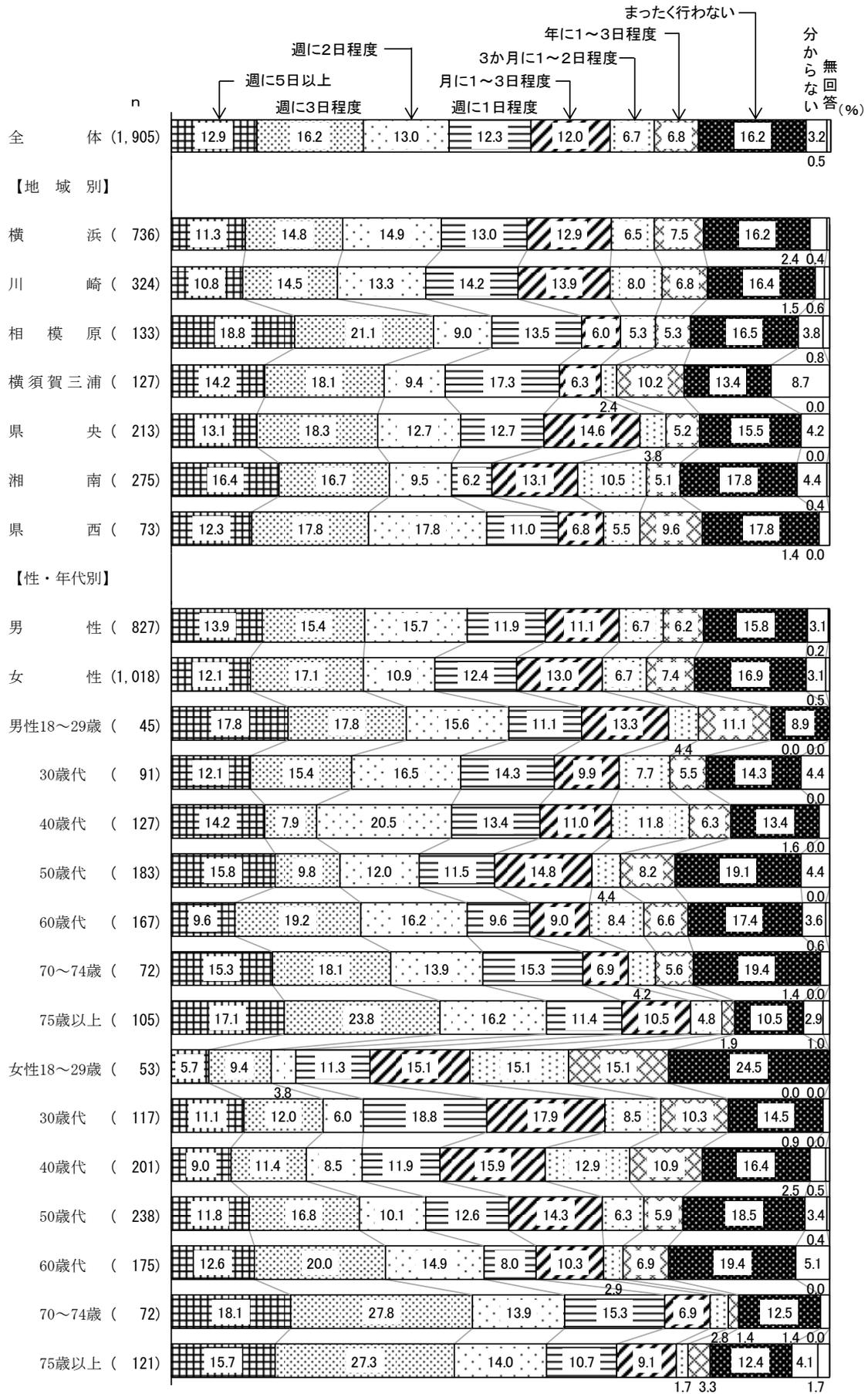
### 【全体の状況】

この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツをした日数を尋ねたところ、「週に3日程度」と「まったく行わない」がともに16.2%で最も多く、次いで「週に2日程度」が13.0%であった。(図表10-2-1)

図表10-2-1 1年間のスポーツ実施日数



図表10-2-2 1年間のスポーツ実施日数—地域別、性・年代別

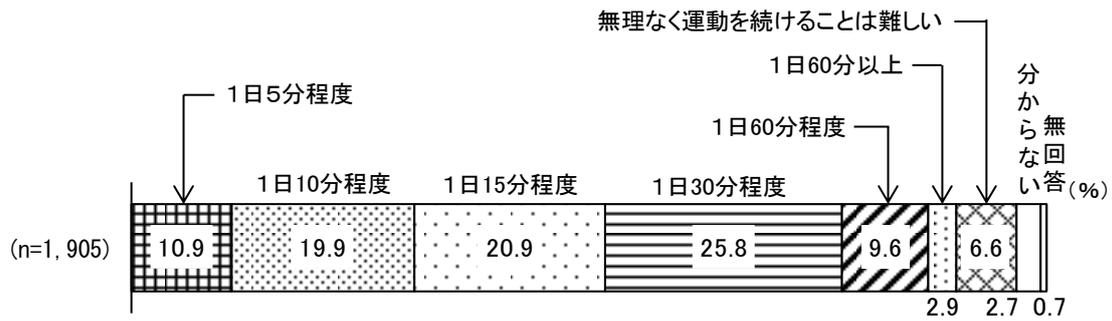


### 3 習慣として続けられる運動の時間【問26】

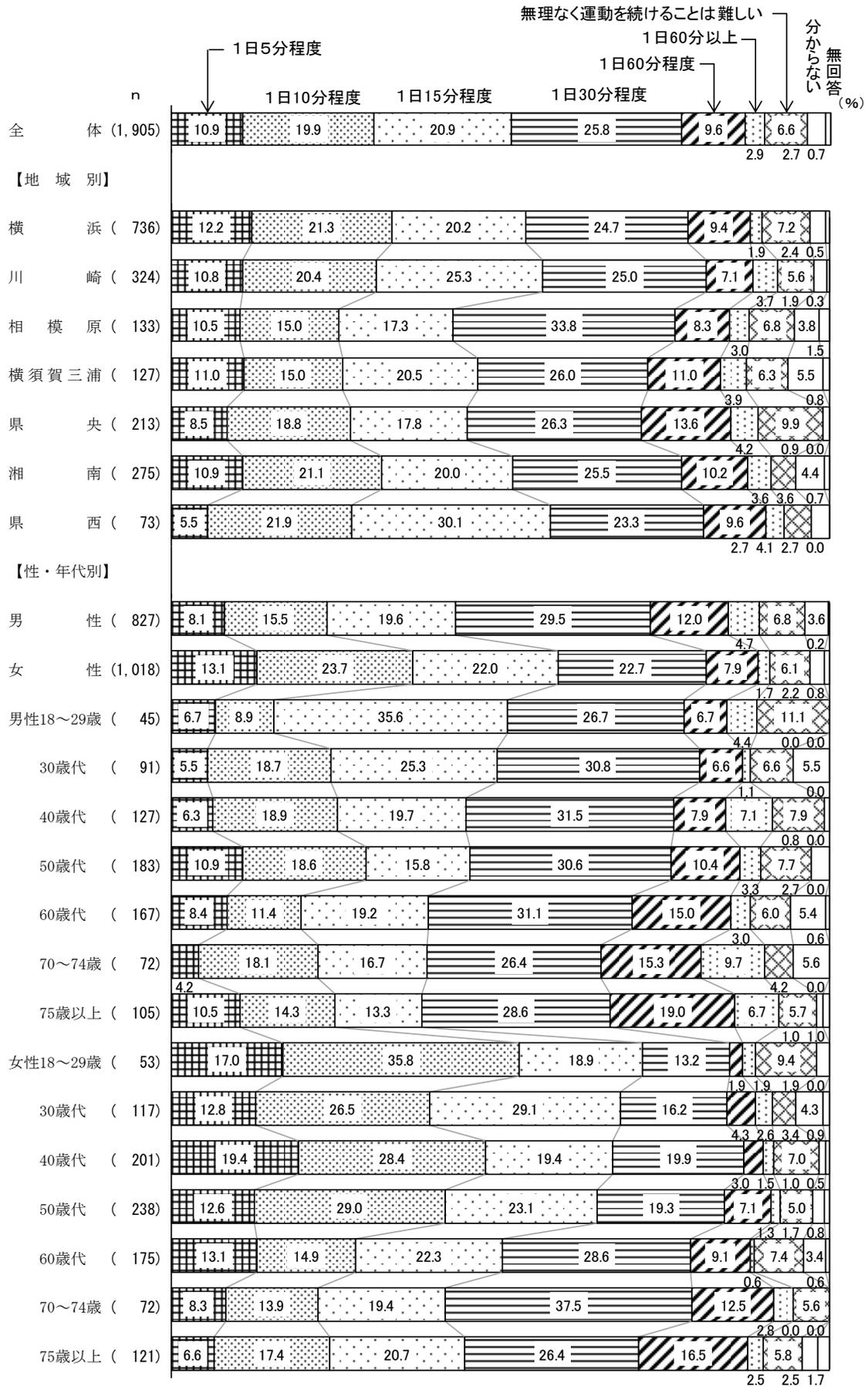
#### 【全体の状況】

日常の中で無理なく習慣として続けられる運動の時間はどのくらいだと思うか尋ねたところ、「1日30分程度」が25.8%で最も多く、次いで「1日15分程度」が20.9%であった。(図表10-3-1)

図表10-3-1 習慣として続けられる運動の時間



図表10-3-2 習慣として続けられる運動の時間—地域別、性・年代別



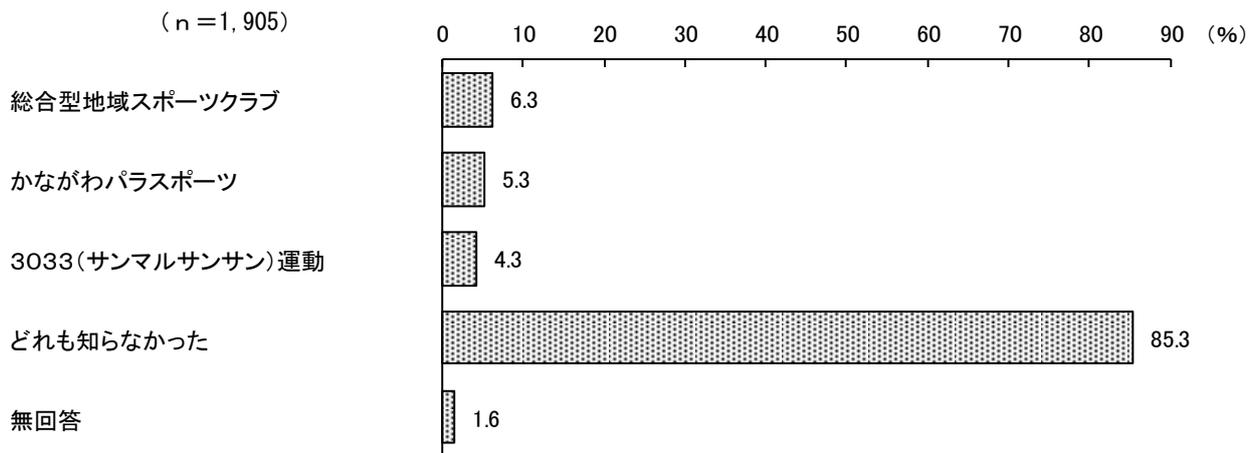
#### 4 スポーツ推進に係る取組みの認知度【問27】

##### 【全体の状況】

スポーツ推進に係る取組みについて、知っているものを複数回答で尋ねたところ、「総合型地域スポーツクラブ」が6.3%で最も多く、次いで「かながわパラスポーツ」が5.3%であった。

一方、「どれも知らなかった」が85.3%であった。(図表10-4-1)

図表10-4-1 スポーツ推進に係る取組みの認知度（複数回答）



図表10-4-2 スポーツ推進に係る取組みの認知度（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)						
	n	総合型地域スポーツクラブ	かながわパラスポーツ	動 3 0 3 3 (サンマルサンサン) 運	どれも知らなかった	無回答
全 体	1,905	6.3	5.3	4.3	85.3	1.6
<b>【地 域 別】</b>						
横 浜	736	5.7	5.2	2.7	87.5	1.5
川 崎	324	7.4	2.2	2.8	87.7	1.5
相 模 原	133	5.3	5.3	6.0	86.5	0.8
横 須 賀 三 浦	127	6.3	3.9	3.9	83.5	3.1
県 央	213	6.6	7.5	8.0	79.3	1.4
湘 南	275	6.5	6.9	6.5	83.3	0.7
県 西	73	8.2	9.6	5.5	82.2	1.4
<b>【性・年代別】</b>						
男 性	827	5.8	3.6	4.0	88.4	0.7
女 性	1,018	6.9	6.4	4.6	83.3	1.8
男性 18～29歳	45	4.4	6.7	-	91.1	-
30 歳 代	91	9.9	1.1	1.1	87.9	-
40 歳 代	127	2.4	3.9	1.6	92.1	-
50 歳 代	183	6.6	3.3	2.7	91.3	-
60 歳 代	167	6.0	5.4	6.6	85.0	1.2
70～74歳	72	8.3	1.4	4.2	87.5	-
75歳以上	105	3.8	4.8	7.6	85.7	2.9
女性 18～29歳	53	3.8	1.9	5.7	88.7	-
30 歳 代	117	4.3	7.7	7.7	83.8	0.9
40 歳 代	201	5.0	8.0	4.0	85.6	0.5
50 歳 代	238	5.0	5.9	2.5	87.4	0.8
60 歳 代	175	8.0	6.3	4.6	82.9	1.1
70～74歳	72	6.9	5.6	-	86.1	1.4
75歳以上	121	14.9	6.6	7.4	71.9	5.8

## 第11章 とともに生きる社会かながわ【問28～問34】

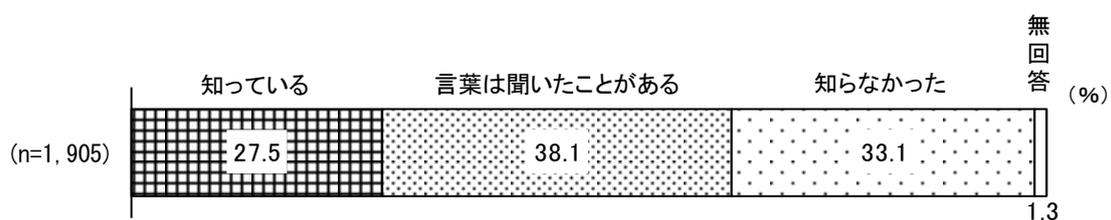
### 1 共生社会（ともに生きる社会）という考え方の認知度【問28】

#### 【全体の状況】

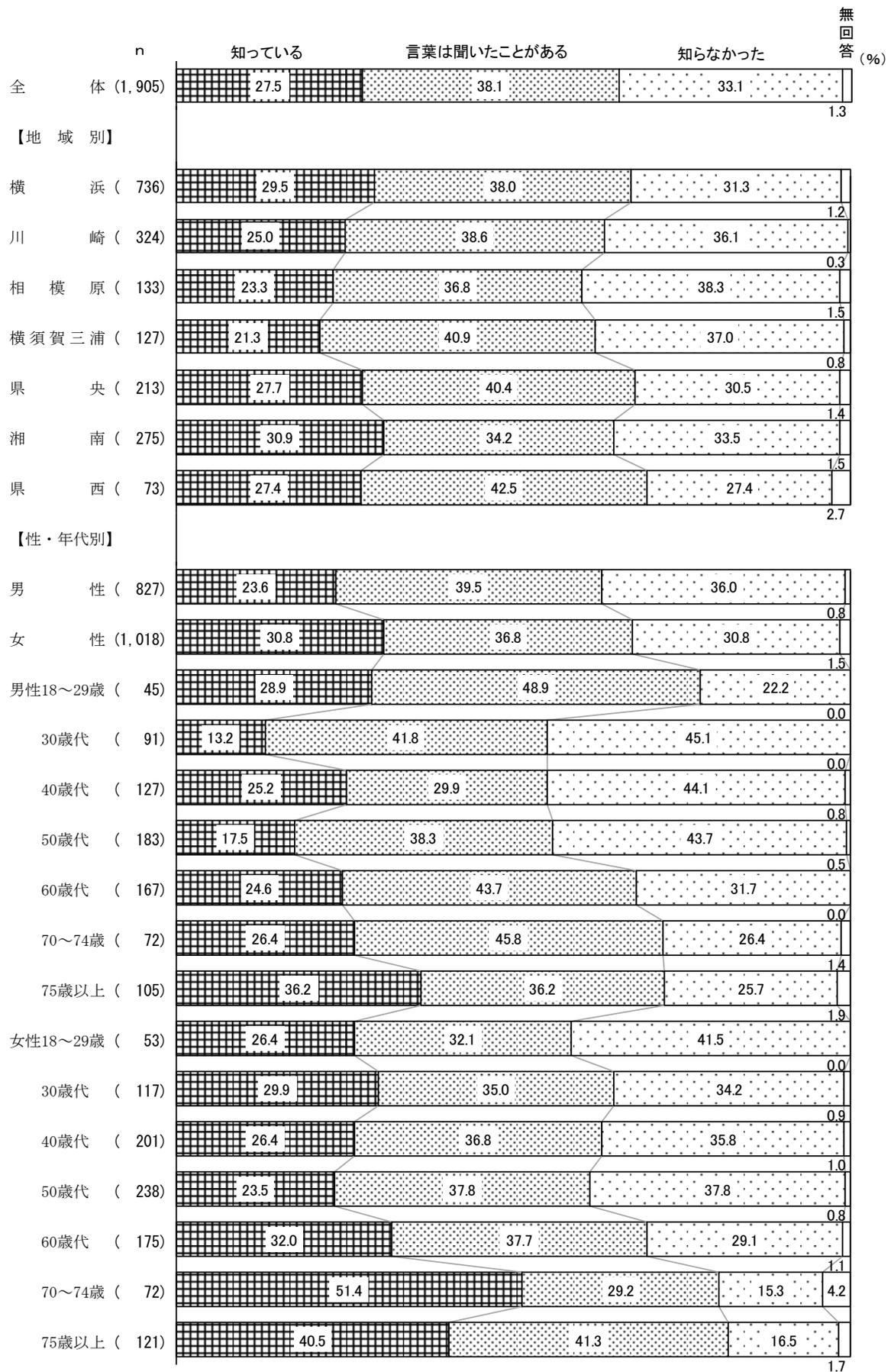
共生社会（ともに生きる社会）という考え方を知っているか尋ねたところ、「知っている」が27.5%であった。また、「言葉は聞いたことがある」が38.1%であった。

一方、「知らなかった」が33.1%であった。（図表11-1-1）

図表11-1-1 共生社会（ともに生きる社会）という考え方の認知度



図表11-1-2 共生社会（ともに生きる社会）という考え方の認知度—地域別、性・年代別



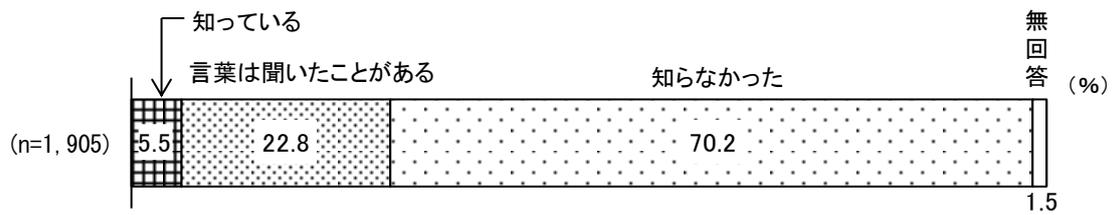
## 2 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度【問29】

### 【全体の状況】

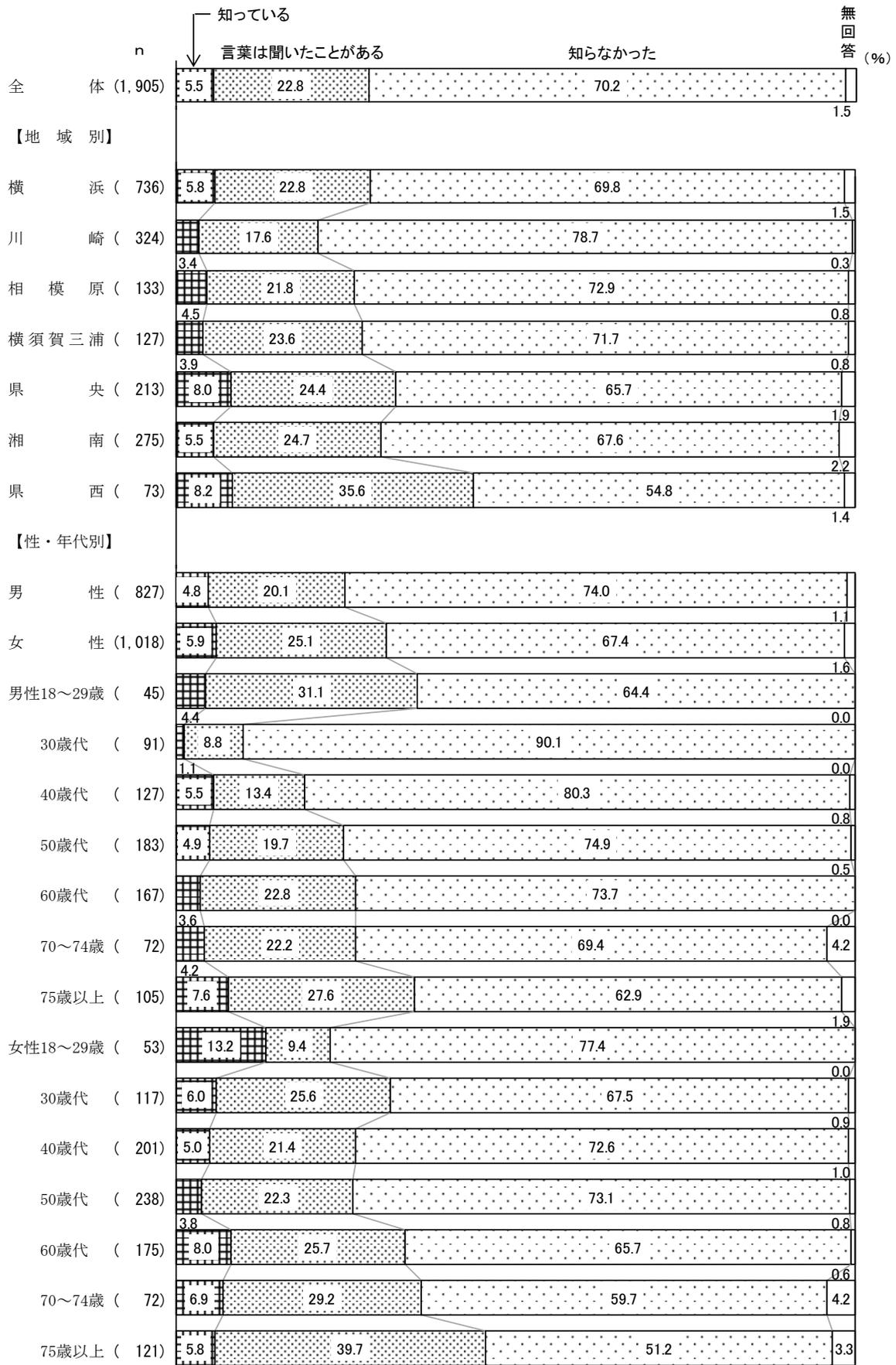
「ともに生きる社会かながわ憲章」を知っているか尋ねたところ、「知っている」が5.5%であった。また、「言葉は聞いたことがある」が22.8%であった。

一方、「知らなかった」が70.2%であった。(図表11-2-1)

図表11-2-1 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度



図表11-2-2 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度—地域別、性・年代別



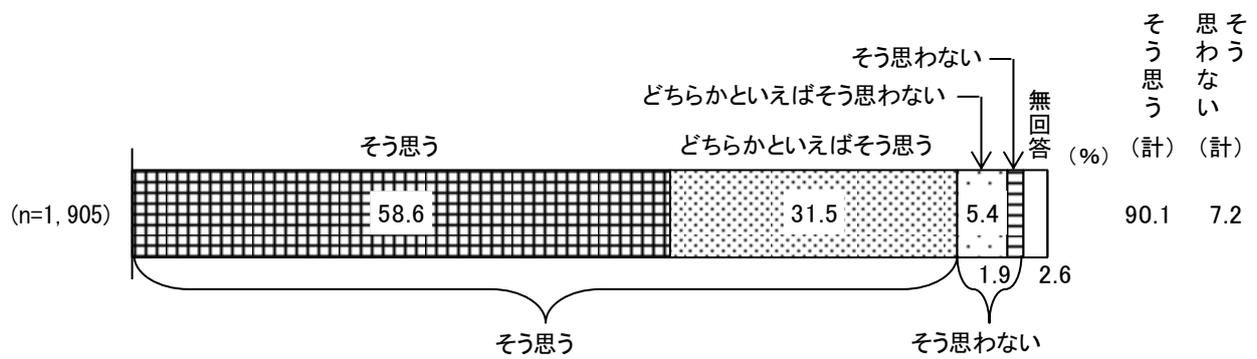
### 3 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方【問30】

#### 【全体の状況】

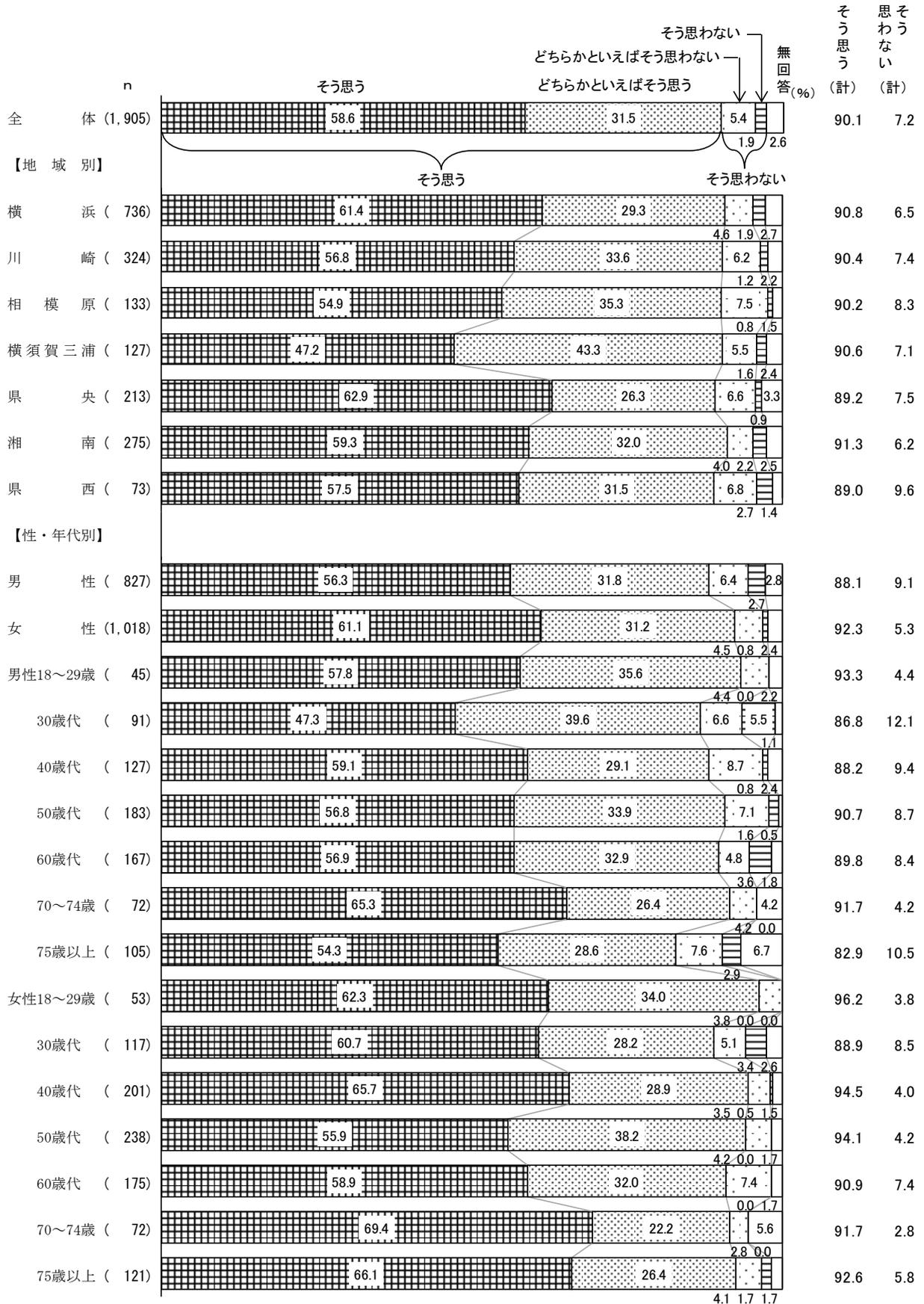
障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方についてどう思うか尋ねたところ、「そう思う」（58.6%）と「どちらかといえばそう思う」（31.5%）を合わせた《そう思う》は90.1%であった。

一方、「そう思わない」（1.9%）と「どちらかといえばそう思わない」（5.4%）を合わせた《そう思わない》は7.2%であった。（図表 11-3-1）

図表11-3-1 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方



図表11-3-2 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方  
—地域別、性・年代別



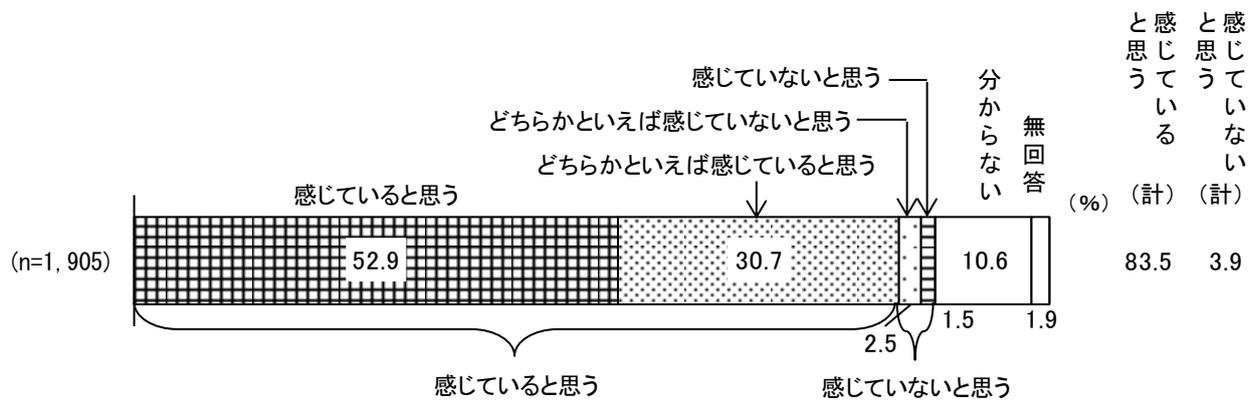
#### 4 障がいのある人は日ごろの生活の中で困りごとや不自由さを感じていると思うか【問31】

##### 【全体の状況】

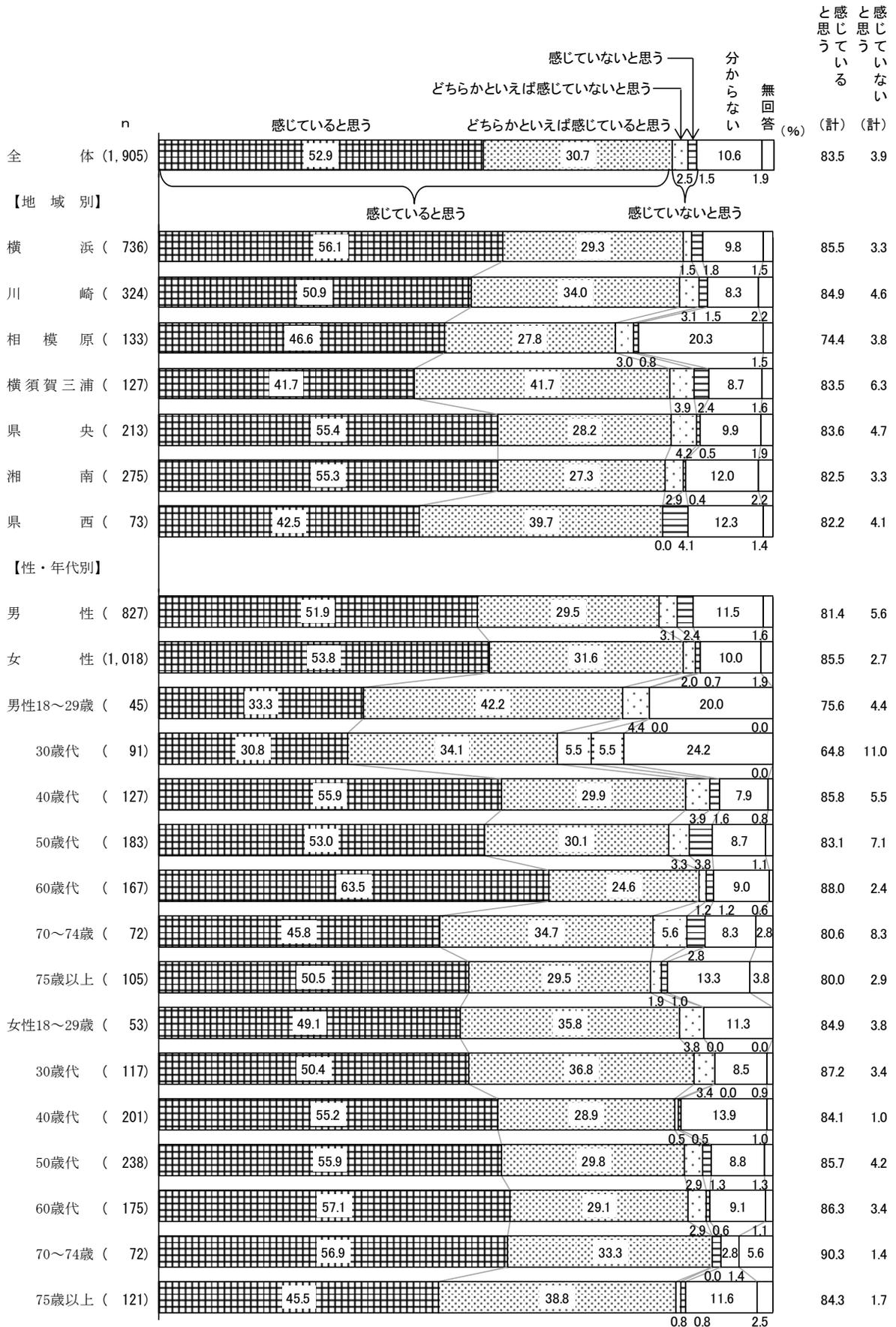
障がいのある人は、日ごろの生活の中で、困りごとや不自由さを感じていると思うか尋ねたところ、「感じていると思う」(52.9%)と「どちらかといえば感じていると思う」(30.7%)を合わせた《感じていると思う》は83.5%であった。

一方、「感じていないと思う」(1.5%)と「どちらかといえば感じていないと思う」(2.5%)を合わせた《感じていないと思う》は3.9%であった。(図表 11-4-1)

図表11-4-1 障がいのある人は日ごろの生活の中で困りごとや不自由さを感じていると思うか



図表11-4-2 障がいのある人は日ごろの生活の中で困りごとや不自由さを感じていると思うか  
—地域別、性・年代別



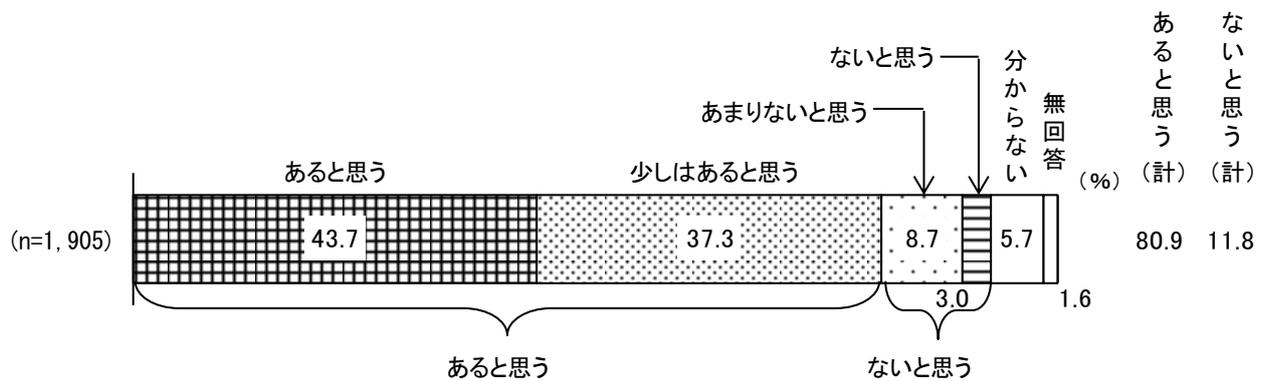
## 5 障がい者への差別・偏見の有無【問32】

### 【全体の状況】

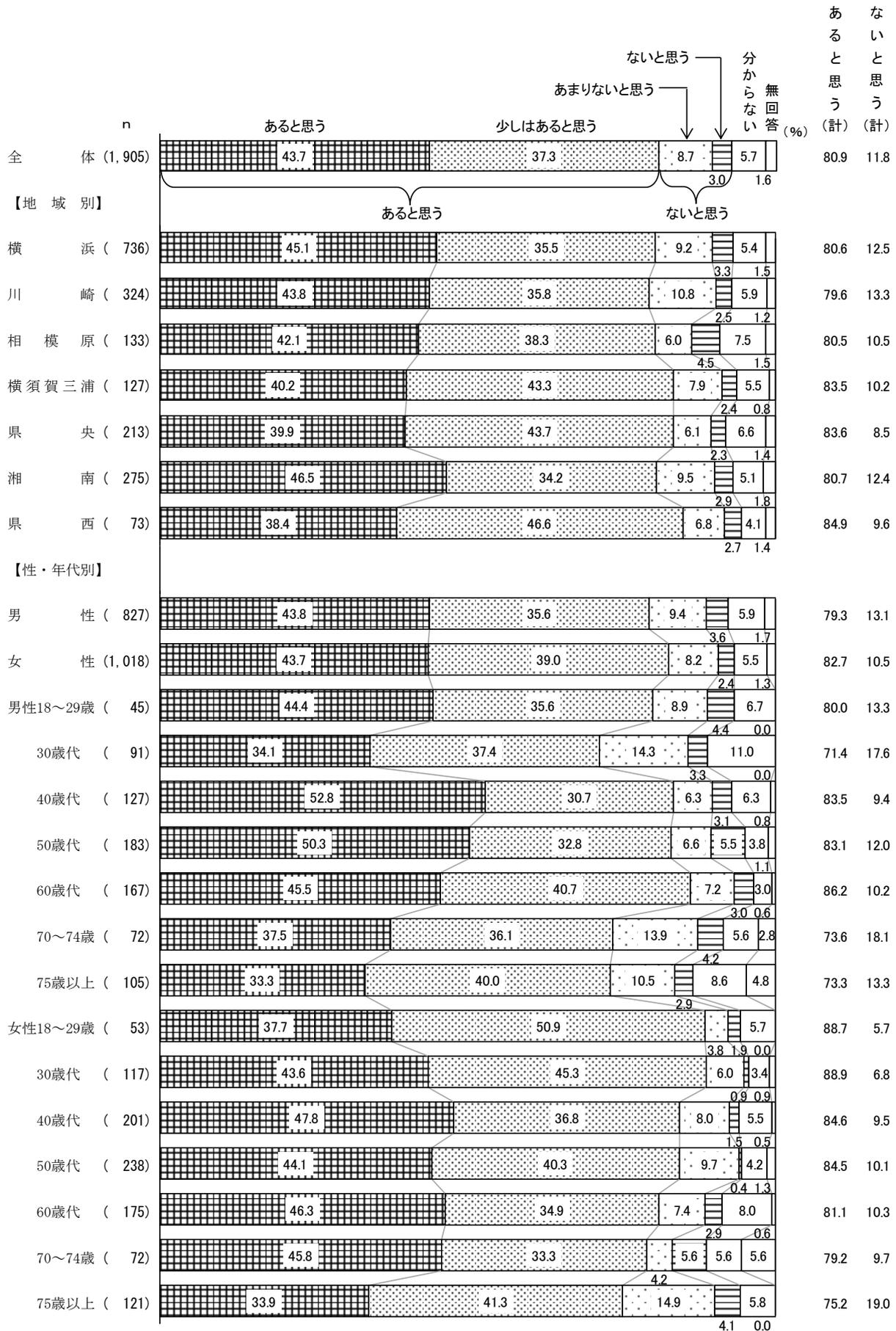
障がい者に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思うか尋ねたところ、「あると思う」(43.7%)と「少しはあると思う」(37.3%)を合わせた《あると思う》は80.9%であった。

一方、「ないと思う」(3.0%)と「あまりないと思う」(8.7%)を合わせた《ないと思う》は11.8%であった。(図表11-5-1)

図表11-5-1 障がい者への差別・偏見の有無



図表11-5-2 障がい者への差別・偏見の有無—地域別、性・年代別



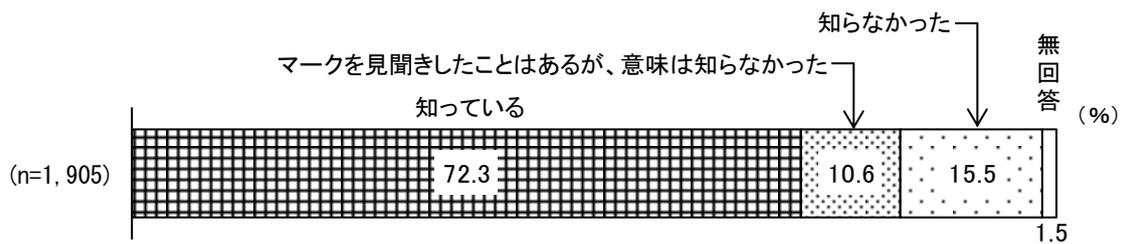
## 6 「ヘルプマーク」の認知度【問33】

### 【全体の状況】

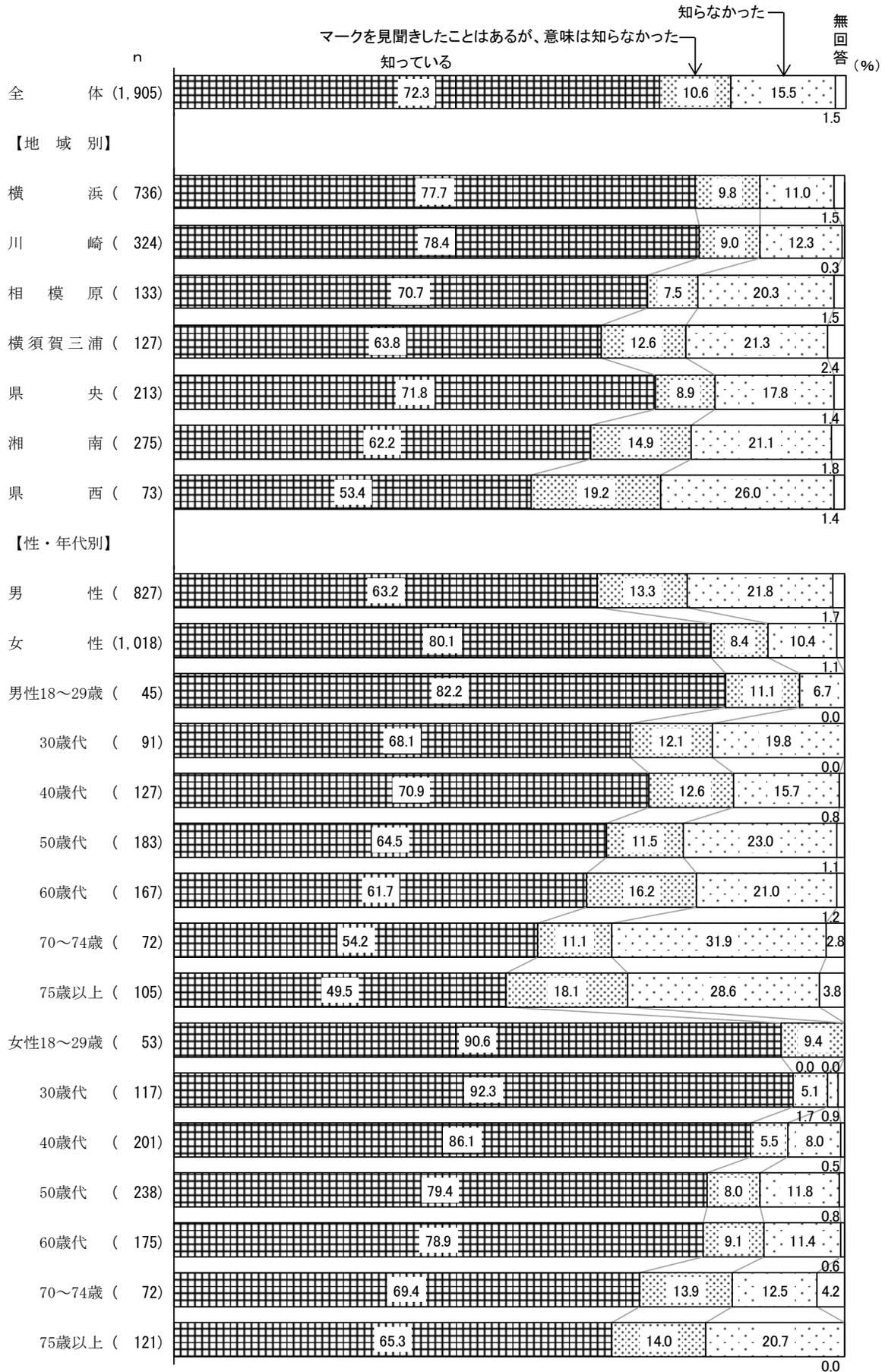
「ヘルプマーク」を知っているか尋ねたところ、「知っている」が72.3%であった。また、「マークを見聞きしたことはあるが、意味は知らなかった」が10.6%であった。

一方、「知らなかった」が15.5%であった。(図表 11-6-1)

図表11-6-1 「ヘルプマーク」の認知度



図表11-6-2 「ヘルプマーク」の認知度—地域別、性・年代別

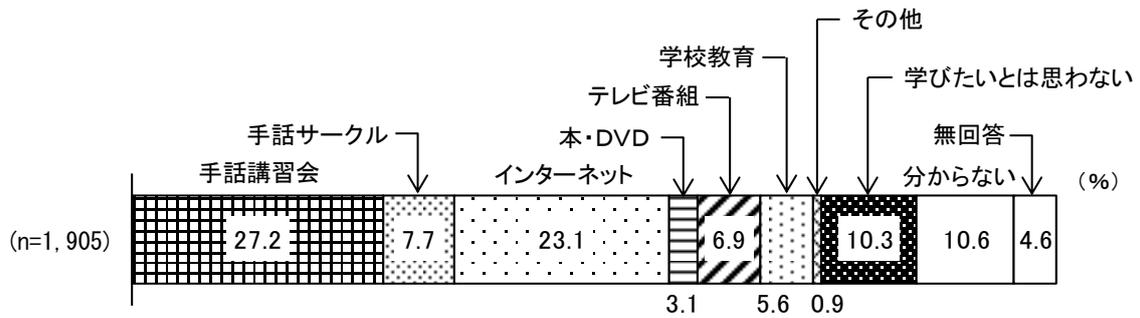


## 7 希望する手話の学習方法【問34】

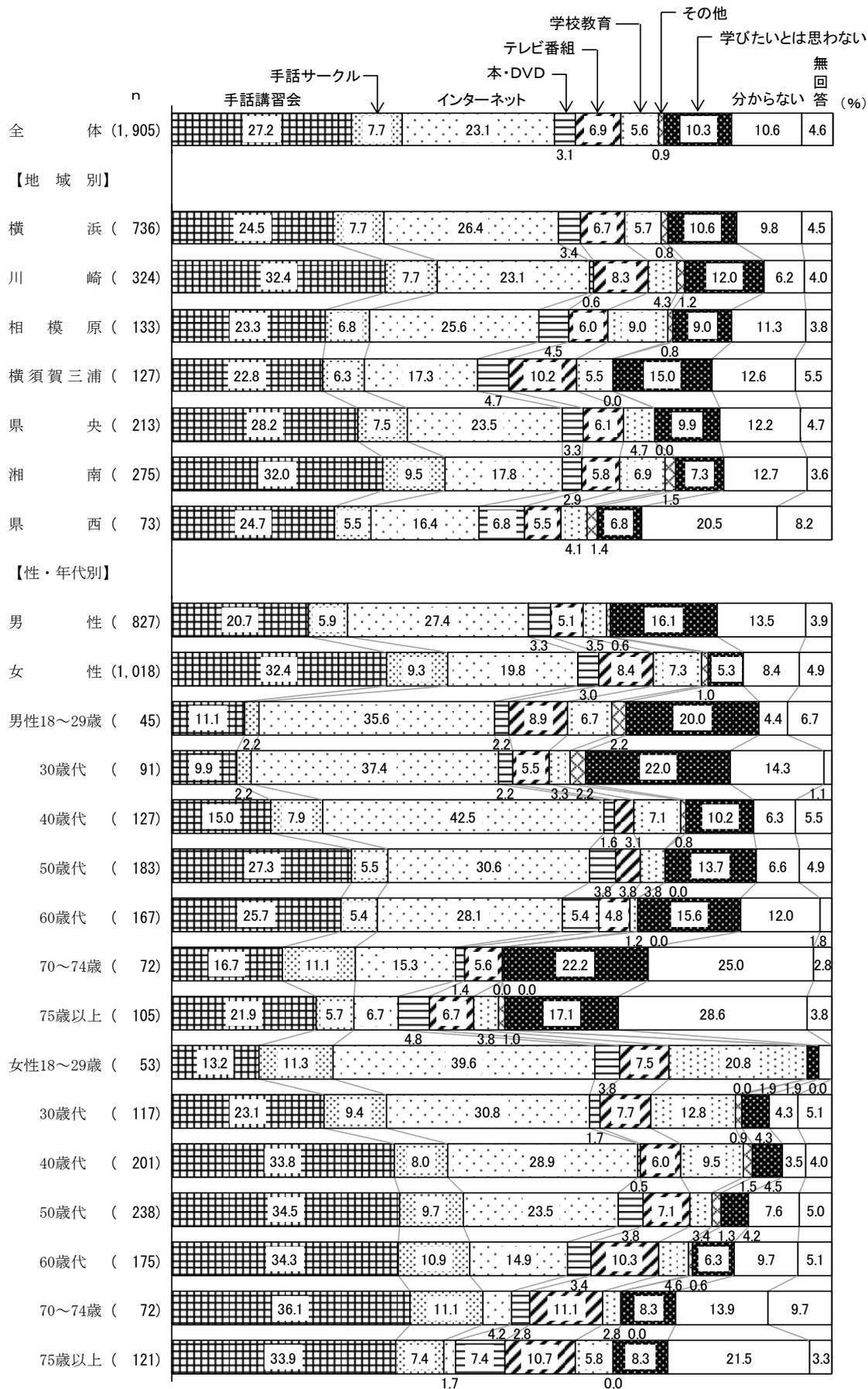
### 【全体の状況】

手話を学ぶ場合、どのような方法で学びたいか尋ねたところ、「手話講習会」が27.2%で最も多く、次いで「インターネット」が23.1%であった。(図表 11-7-1)

図表11-7-1 希望する手話の学習方法



図表11-7-2 希望する手話の学習方法—地域別、性・年代別



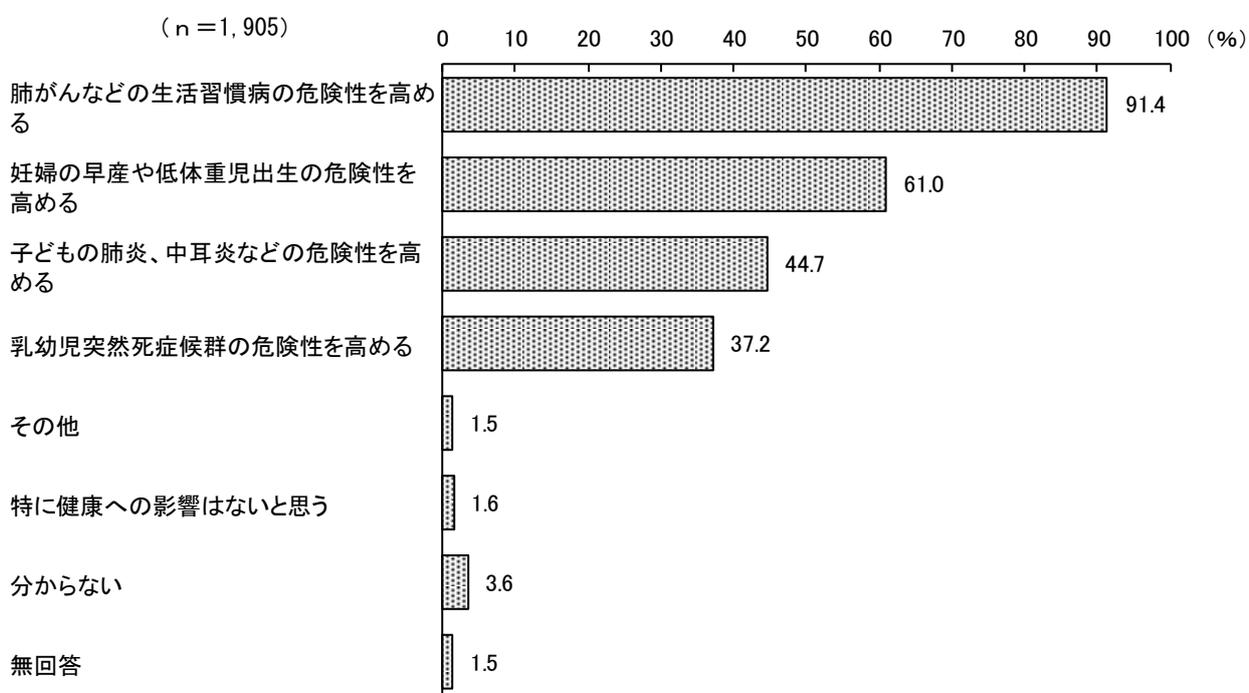
## 第12章 受動喫煙【問35～問37】

### 1 受動喫煙による健康への影響【問35】

#### 【全体の状況】

受動喫煙により、どのような健康への影響があると思うか複数回答で尋ねたところ、「肺がんなどの生活習慣病の危険性を高める」が91.4%で最も多く、次いで「妊婦の早産や低体重児出生の危険性を高める」が61.0%であった。(図表12-1-1)

図表12-1-1 受動喫煙による健康への影響（複数回答）



図表12-1-2 受動喫煙による健康への影響（複数回答）－地域別、性・年代別

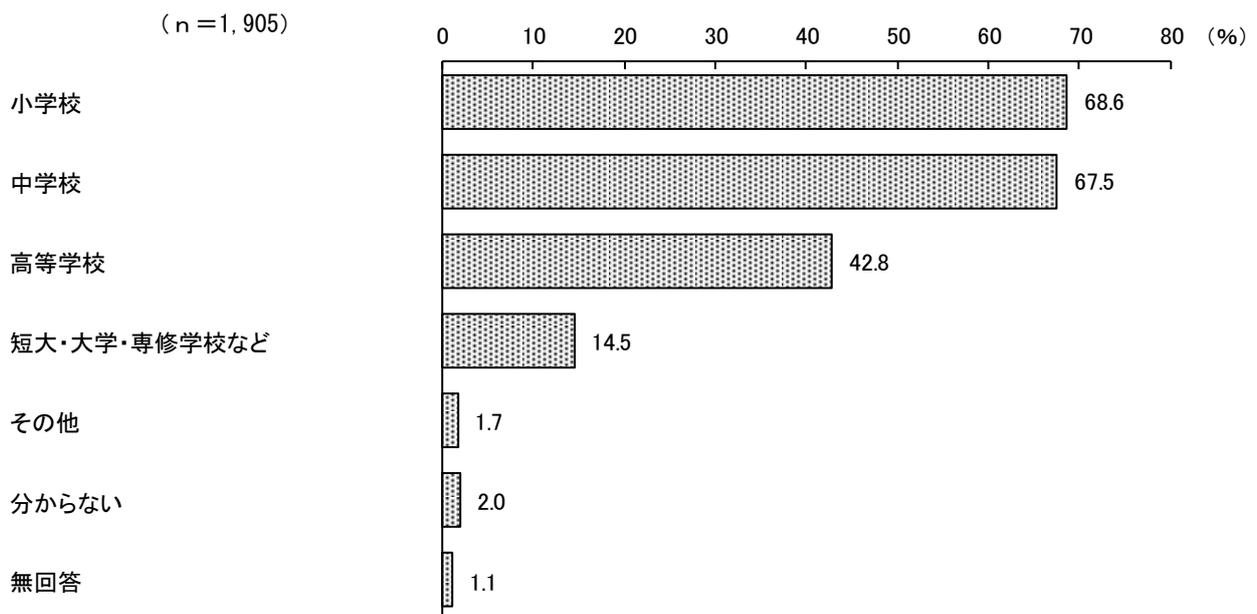
		(%)							
	n	肺がんなどの生活習慣病の危険性を高める	妊婦の早産や低体重児出生の危険性を高める	子どもの肺炎、中耳炎などの危険性を高める	乳幼児突然死症候群の危険性を高める	その他	特に健康への影響はないと思う	分からない	無回答
全体	1,905	91.4	61.0	44.7	37.2	1.5	1.6	3.6	1.5
【地域別】									
横浜	736	92.4	61.4	48.9	40.8	1.6	1.8	3.3	0.7
川崎	324	93.8	64.5	42.3	37.7	1.2	1.2	3.4	0.3
相模原	133	87.2	59.4	40.6	30.8	0.8	1.5	8.3	-
横須賀三浦	127	92.1	62.2	44.1	35.4	0.8	0.8	3.1	1.6
県央	213	94.8	58.7	45.5	33.8	1.4	0.9	3.8	-
湘南	275	90.9	62.2	41.8	35.6	1.8	2.2	2.9	0.4
県西	73	93.2	61.6	39.7	39.7	2.7	1.4	2.7	-
【性・年代別】									
男性	827	88.9	50.2	45.0	30.8	1.8	2.8	5.8	0.5
女性	1,018	95.2	70.4	44.8	42.6	1.3	0.4	2.0	0.5
男性18～29歳	45	93.3	48.9	57.8	37.8	-	4.4	-	-
30歳代	91	93.4	62.6	56.0	44.0	1.1	1.1	2.2	-
40歳代	127	91.3	59.8	58.3	39.4	2.4	2.4	5.5	-
50歳代	183	83.6	44.3	33.3	23.5	1.6	3.8	8.7	0.5
60歳代	167	88.0	54.5	44.3	31.7	-	2.4	7.2	-
70～74歳	72	93.1	36.1	37.5	20.8	5.6	4.2	2.8	-
75歳以上	105	89.5	41.9	41.9	23.8	1.0	2.9	4.8	1.9
女性18～29歳	53	100.0	81.1	50.9	41.5	-	-	-	-
30歳代	117	95.7	82.9	62.4	60.7	1.7	-	0.9	-
40歳代	201	96.0	76.1	52.2	55.7	1.5	-	3.0	-
50歳代	238	95.0	64.7	35.3	38.7	1.3	0.4	2.1	0.4
60歳代	175	93.7	70.9	44.6	34.3	2.3	1.1	1.7	0.6
70～74歳	72	94.4	66.7	40.3	33.3	-	-	1.4	-
75歳以上	121	92.6	59.5	33.9	31.4	0.8	0.8	3.3	2.5

## 2 たばこの健康被害や受動喫煙防止に関して教わる時期【問36】

### 【全体の状況】

たばこの健康被害や受動喫煙防止に関して、学校などで教わる時期はいつがよいと思うか複数回答で尋ねたところ、「小学校」が68.6%で最も多く、次いで「中学校」が67.5%であった。(図表12-2-1)

図表12-2-1 たばこの健康被害や受動喫煙防止に関して教わる時期（複数回答）



図表12-2-2 たばこの健康被害や受動喫煙防止に関して教わる時期（複数回答）  
—地域別、性・年代別

(%)

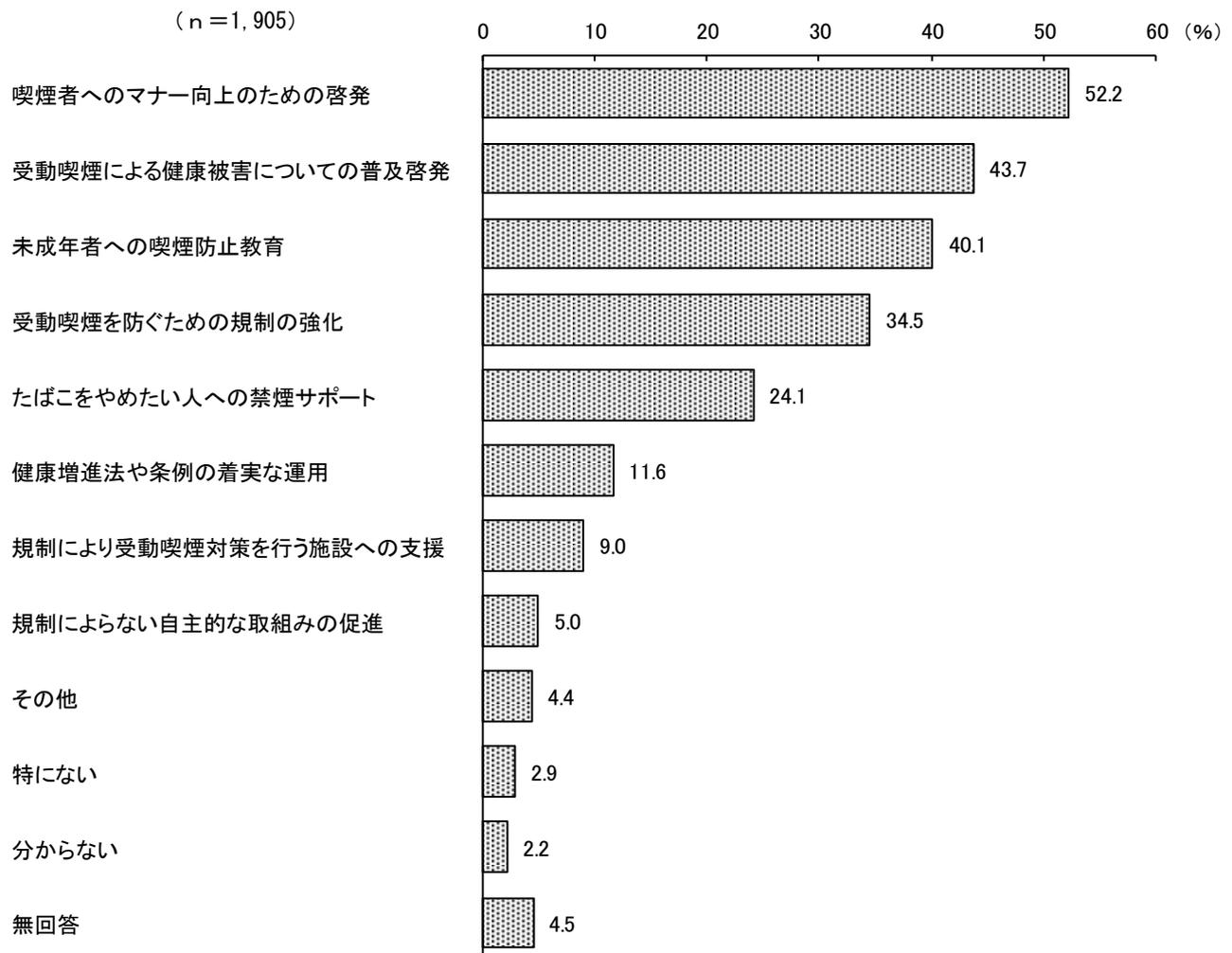
	n	小学校	中学校	高等学校	短大・大学・専修学校など	その他	分からない	無回答
全 体	1,905	68.6	67.5	42.8	14.5	1.7	2.0	1.1
【地 域 別】								
横 浜	736	71.1	69.4	45.2	15.4	2.0	1.9	0.1
川 崎	324	70.7	72.5	48.1	17.0	1.2	1.9	-
相 模 原	133	67.7	66.9	46.6	12.0	-	3.8	-
横 須 賀 三 浦	127	59.1	70.1	42.5	15.7	3.1	3.9	0.8
県 央	213	72.3	64.8	41.3	14.1	1.4	1.9	-
湘 南	275	67.3	63.3	36.7	13.1	1.1	1.5	-
県 西	73	65.8	63.0	28.8	6.8	4.1	1.4	-
【性・年代別】								
男 性	827	67.1	69.3	44.6	12.6	1.9	2.7	-
女 性	1,018	71.0	67.5	42.1	16.2	1.5	1.6	0.2
男性18～29歳	45	62.2	77.8	64.4	31.1	4.4	2.2	-
30歳代	91	74.7	75.8	52.7	17.6	2.2	1.1	-
40歳代	127	78.0	72.4	44.9	15.0	3.9	0.8	-
50歳代	183	68.3	65.6	37.2	8.2	1.6	2.7	-
60歳代	167	68.9	69.5	47.3	10.2	-	2.4	-
70～74歳	72	58.3	66.7	36.1	9.7	-	2.8	-
75歳以上	105	54.3	67.6	45.7	10.5	1.9	4.8	-
女性18～29歳	53	66.0	66.0	54.7	37.7	3.8	-	-
30歳代	117	81.2	71.8	55.6	24.8	-	0.9	-
40歳代	201	74.6	73.1	49.3	16.4	2.0	0.5	-
50歳代	238	71.8	61.3	42.4	16.8	2.1	2.1	-
60歳代	175	70.3	63.4	32.0	12.0	0.6	2.9	0.6
70～74歳	72	69.4	66.7	33.3	11.1	1.4	1.4	-
75歳以上	121	61.2	69.4	36.4	9.1	1.7	1.7	0.8

### 3 受動喫煙を防ぐために、県に期待すること【問37】

#### 【全体の状況】

受動喫煙を防ぐために、県にどのようなことを期待するか複数回答（3つまで選択可）で尋ねたところ、「喫煙者へのマナー向上のための啓発」が52.2%で最も多く、次いで「受動喫煙による健康被害についての普及啓発」が43.7%であった。（図表12-3-1）

図表12-3-1 受動喫煙を防ぐために、県に期待すること（複数回答）



図表12-3-2 受動喫煙を防ぐために、県に期待すること（複数回答）—地域別、性・年代別

(%)

	n	発 喫煙者へのマナー向上のための啓	の 受動喫煙による健康被害について普及啓発	未 成年者への喫煙防止教育	受 動喫煙を防ぐための規制の強化	た ばこをやめたい人への禁煙サ	ポ ート	健 康増進法や条例の着実な運用	設 規制により受動喫煙対策を行う施設への支援	促 規制によらない自主的な取組みの進	そ の他	特 にない	分 からない	無 回答
全 体	1,905	52.2	43.7	40.1	34.5	24.1	11.6	9.0	5.0	4.4	2.9	2.2	4.5	
【地 域 別】														
横 浜	736	50.0	43.5	39.3	36.8	25.1	13.3	9.6	5.4	5.4	2.7	1.8	2.9	
川 崎	324	56.5	41.7	43.5	37.0	21.0	15.4	10.2	4.3	4.0	2.2	2.5	3.7	
相 模 原	133	45.9	39.8	41.4	33.1	27.1	7.5	12.0	3.8	3.0	3.0	3.0	4.5	
横 須 賀 三 浦	127	51.2	50.4	36.2	31.5	22.0	10.2	9.4	4.7	4.7	3.9	3.9	3.9	
県 央	213	60.1	47.9	42.3	36.6	22.1	9.4	6.6	4.7	4.7	1.4	3.3	2.3	
湘 南	275	53.8	45.1	40.7	29.1	25.8	9.1	8.4	5.8	2.9	4.4	1.5	5.1	
県 西	73	54.8	42.5	39.7	28.8	32.9	6.8	4.1	6.8	2.7	5.5	1.4	5.5	
【性・年代別】														
男 性	827	51.0	40.7	34.1	35.3	21.0	14.3	10.6	5.4	5.9	4.8	2.7	3.0	
女 性	1,018	54.4	46.6	45.5	34.3	27.2	9.7	7.9	4.7	3.2	1.2	2.0	4.0	
男性18~29歳	45	35.6	37.8	26.7	26.7	17.8	24.4	13.3	2.2	24.4	4.4	2.2	-	
30歳代	91	47.3	28.6	37.4	40.7	26.4	22.0	14.3	2.2	7.7	6.6	1.1	3.3	
40歳代	127	42.5	26.8	31.5	44.9	17.3	19.7	15.7	9.4	12.6	5.5	-	3.1	
50歳代	183	52.5	36.6	30.1	38.3	27.9	14.2	10.4	6.0	2.7	5.5	1.6	1.1	
60歳代	167	59.9	45.5	34.7	35.3	19.8	9.6	7.8	6.0	3.6	2.4	4.8	1.8	
70~74歳	72	52.8	51.4	34.7	30.6	9.7	12.5	9.7	4.2	4.2	5.6	2.8	5.6	
75歳以上	105	53.3	61.0	44.8	24.8	19.0	6.7	4.8	4.8	1.0	5.7	4.8	3.8	
女性18~29歳	53	54.7	22.6	34.0	64.2	35.8	15.1	15.1	9.4	7.5	1.9	1.9	-	
30歳代	117	41.9	40.2	47.9	52.1	30.8	23.9	10.3	1.7	4.3	0.9	0.9	2.6	
40歳代	201	54.7	35.8	47.3	33.8	31.8	10.4	9.0	5.0	4.5	0.5	0.5	5.5	
50歳代	238	65.1	42.0	34.9	31.5	27.7	6.7	9.7	3.8	4.2	0.8	3.8	2.1	
60歳代	175	55.4	53.1	42.3	30.9	25.1	7.4	4.6	4.6	1.1	3.4	1.1	5.1	
70~74歳	72	54.2	68.1	55.6	23.6	23.6	5.6	2.8	2.8	1.4	1.4	4.2	2.8	
75歳以上	121	49.6	66.1	63.6	23.1	19.0	5.0	5.0	8.3	0.8	-	1.7	5.0	

## 第13章 肝炎対策【問38～問39-1】

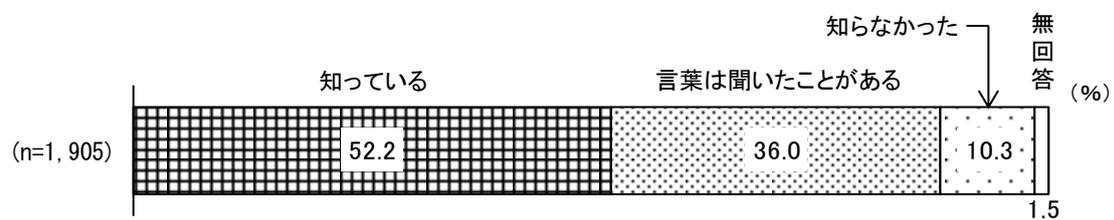
### 1 ウイルス性肝炎の認知度【問38】

#### 【全体の状況】

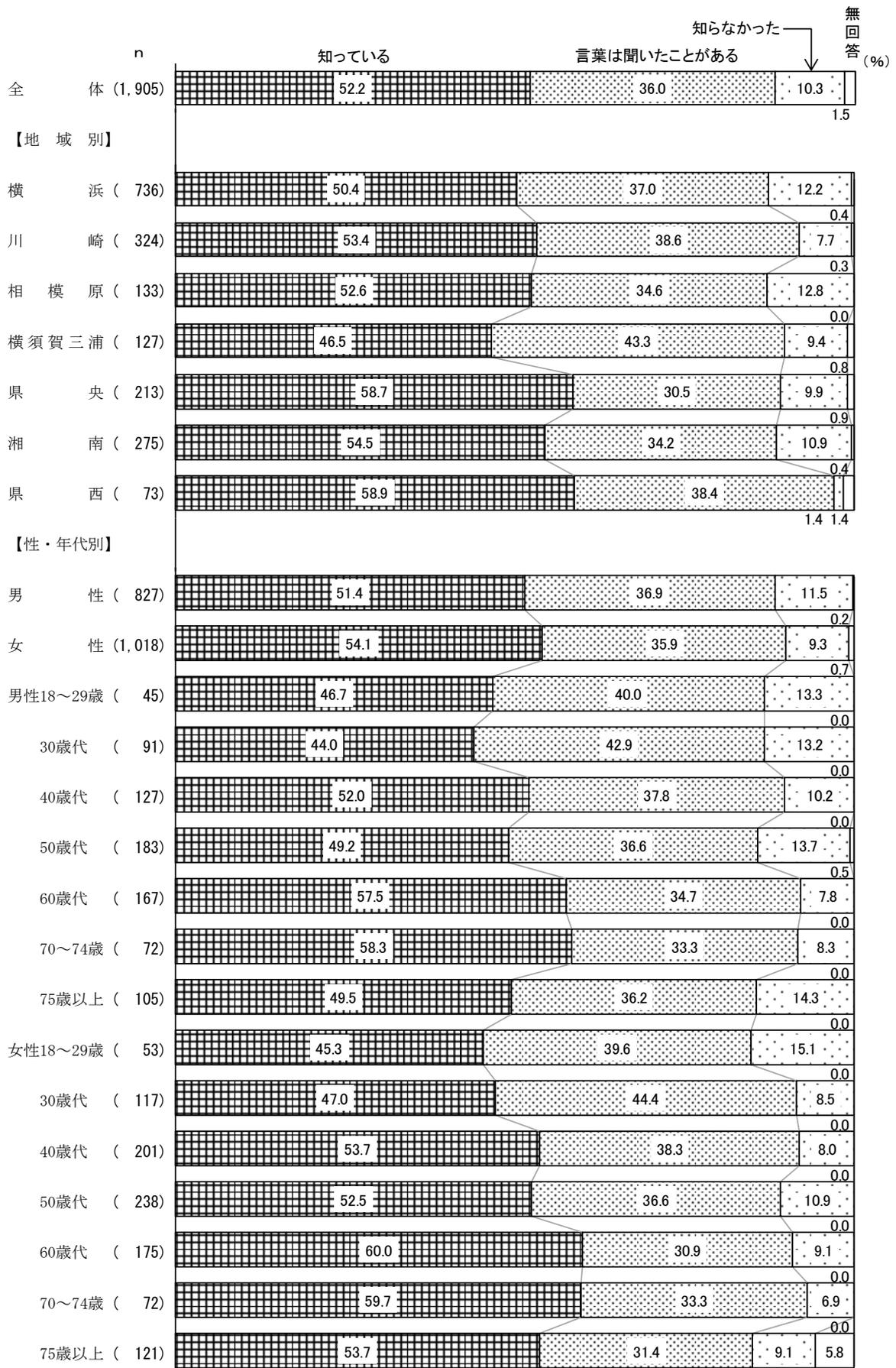
ウイルス性肝炎という病気を知っているか尋ねたところ、「知っている」が52.2%であった。また、「言葉は聞いたことがある」が36.0%であった。

一方、「知らなかった」は、10.3%であった。(図表 13-1-1)

図表13-1-1 ウイルス性肝炎の認知度



図表13-1-2 ウイルス性肝炎の認知度—地域別、性・年代別



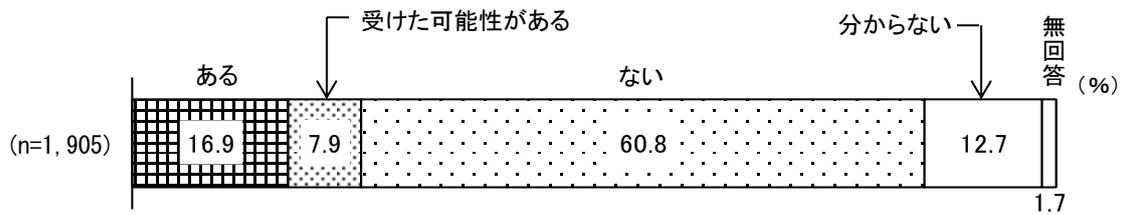
## 2 「肝炎ウイルス検査」の受検状況【問39】

### 【全体の状況】

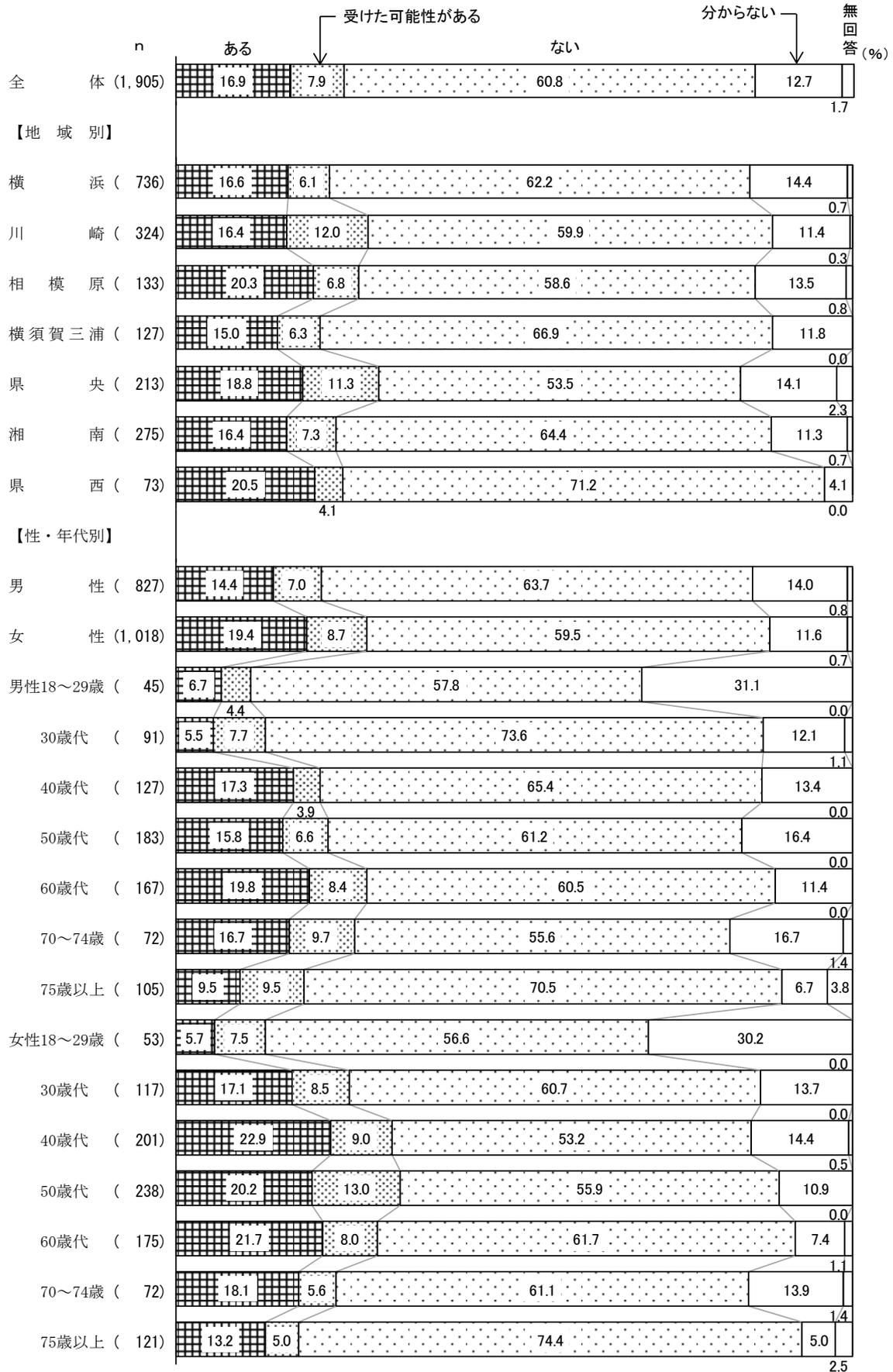
これまでに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがあるかを尋ねたところ、「ある」が16.9%であった。

一方、「ない」が60.8%であった。(図表13-2-1)

図表13-2-1 「肝炎ウイルス検査」の受検状況



図表13-2-2 「肝炎ウイルス検査」の受検状況—地域別、性・年代別



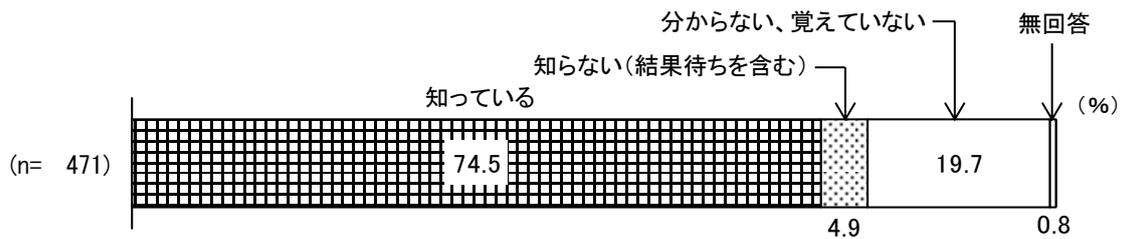
### 3 検査結果の把握状況【問39-1】

#### 【全体の状況】

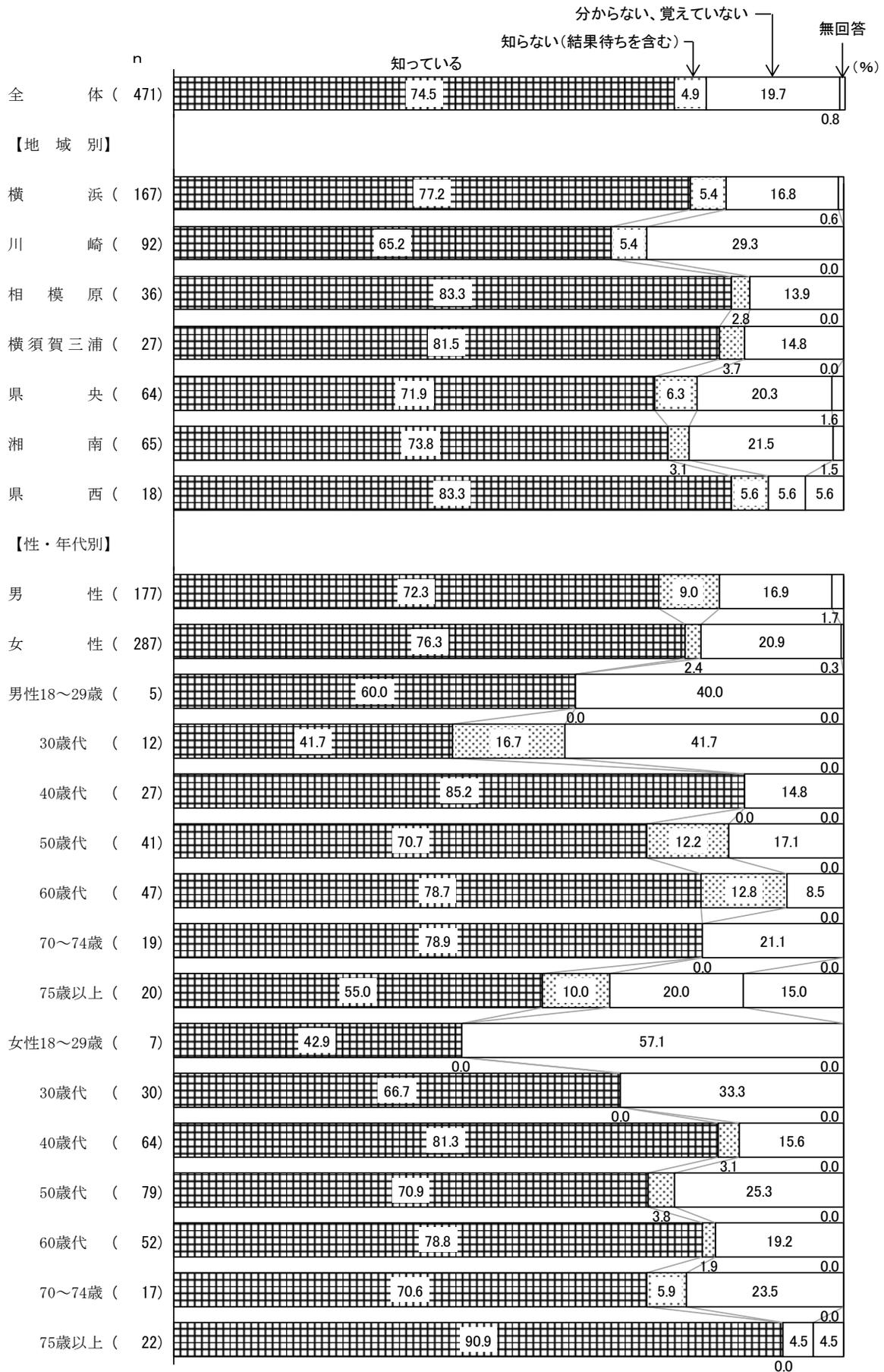
「肝炎ウイルス検査」の受検状況（問39）で、「ある」または「受けた可能性がある」と回答した471人に、検査の結果を知っているか尋ねたところ、「知っている」が74.5%であった。

一方、「知らない（結果待ちを含む）」は、4.9%であった。（図表13-3-1）

図表13-3-1 検査結果の把握状況



図表13-3-2 検査結果の把握状況—地域別、性・年代別



第IV部 調査票と単純集計結果



調査期間 令和7年9月5日～9月30日  
標本設計数 4,000 有効回収数(率) 1,905 (47.6%)  
※「n」は、質問に対する回答者の総数を表す。  
「-」は、回答者が皆無であることを示す。  
※ 比率(%)の数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

# 令和7年度(2025年)神奈川県『県民ニーズ調査』(第1回課題調査) 調査票

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。



神奈川県 PR  
キャラクター  
かながわ  
キンタロウ

## 【テーマ】

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1 食の安全・安心    | 8 地震対策の取組み       |
| 2 食・食育       | 9 自転車ヘルメットの着用    |
| 3 かながわの農林水産業 | 10 スポーツ          |
| 4 かながわの水源地域  | 11 とともに生きる社会かながわ |
| 5 地域社会との関わり  | 12 受動喫煙          |
| 6 地域活動       | 13 肝炎対策          |
| 7 治安対策       |                  |

## ◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、**封筒のあて名のご本人様**にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前やご住所の**記入は不要**です。
- お答えは、直接、この調査票の**あてはまる番号を○**で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

ご記入いただいた調査票は、同封の**返送用封筒**に入れ、  
**9月30日(火)まで**にご投函ください。  
(切手の貼り付け、お名前やご住所の記入は不要です)



※インターネットからもご回答いただけます！  
(左記二次元コードから回答画面へ)

インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

## 【お問い合わせ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

○ お問い合わせフォーム



二次元コードから送信

※9月30日まで受付

○ 電話 (045)210-3672

※ 受付時間 月～金 8:30～17:15

(12:00～13:00を除く／土日祝日は閉庁)

# 1 食の安全・安心

問1 食品を購入する際に、確認している表示内容がありますか。(○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 期限表示(消費期限や賞味期限)	92.4	6 保存方法	41.1
2 原産地や原産国	74.1	7 遺伝子組換え食品に関する事項	22.7
3 アレルギー表示	11.4	8 その他	3.4
4 原材料名	38.6	9 確認している表示内容はない	1.8
5 食品添加物(保存料や着色料など)	35.5		(無回答 1.6)

問2 食中毒を予防する上で重要なことについて、知っていたことを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 食品を購入したら寄り道せずに帰宅する	51.9
2 食品を保存するときは、冷凍庫や冷蔵庫を活用する	94.9
3 調理や食事前によく手を洗う	85.8
4 生肉や生魚を扱った調理器具は、使用後に消毒する	65.8
5 調理した食品はすぐに食べるようにし、残った食品は速やかに適切な温度で保存する	80.9
6 生肉は、食中毒を起こす細菌がついていることがあるので、よく加熱する	82.5
7 どれも知らなかった	0.3
	(無回答 1.7)

問3 調理や食事前によく手を洗う、生肉をよく加熱するなど、食品を安全に食べるために必要な知識を持っていると思いますか。

(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 持っていると思う	44.3	4 持っていないと思う	0.6
2 ある程度持っていると思う	47.8	5 分からない	0.7
3 あまり持っていないと思う	4.8		(無回答 1.8)

## 2 食・食育

問4 「食育」※に関心がありますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 関心がある	29.7	4 関心がない	4.6
2 どちらかといえば関心がある	42.4	5 分からない	5.7
3 どちらかといえば関心がない	15.8		(無回答 1.8)

※ 食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいいます。

問5 歯と口の健康を保つために、かかりつけ歯科医を決めていますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 決めている	75.9	3 分からない	1.2
2 決めていない	21.4		(無回答 1.6)

### 【複数人でお住まいの方のみお答えください】

問6 朝食・夕食を同居の方と一緒に食べていますか。 (○はそれぞれ1つずつ) (n=1,504) (%)

#### 【朝食】

1 ほとんど毎日	45.4	3 週に2～3日	11.6	5 ほとんど食べない	27.7
2 週に4～5日	5.5	4 週に1日程度	7.9		(無回答 1.9)

#### 【夕食】

1 ほとんど毎日	62.8	3 週に2～3日	13.0	5 ほとんど食べない	6.7
2 週に4～5日	10.4	4 週に1日程度	3.9		(無回答 3.2)

### 【一人暮らしの方のみお答えください】

問7 昼食・夕食を仲間や友人など、複数で一緒に食べていますか。 (○はそれぞれ1つずつ) (n=306) (%)

#### 【昼食】

1 ほとんど毎日	4.2	3 週に2～3日	8.5	5 ほとんど食べない	59.5
2 週に4～5日	7.8	4 週に1日程度	15.4		(無回答 4.6)

#### 【夕食】

1 ほとんど毎日	5.9	3 週に2～3日	5.9	5 ほとんど食べない	68.6
2 週に4～5日	0.7	4 週に1日程度	14.7		(無回答 4.2)

### 3 かながわの農林水産業

問8 県の農業に特にどのような役割を期待しますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 食料の安定供給	25.0	6 美しい風景や文化の継承	2.8
2 安全・安心な食料の供給	35.1	7 働く場の提供	0.9
3 価格の安い食料の供給	11.7	8 その他	0.7
4 災害時の避難場所など安全な空間の提供	2.4	9 分からない	2.3
5 自然や土とふれあう場・学習の場の提供	1.9		(無回答 17.2)

問9 県内の農林水産業を活性化する上で、「地産地消」※の取組みを重要だと思いますか。

(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 重要だと思う	57.2	4 重要だと思わない	2.2
2 どちらかといえば重要だと思う	32.3	5 分からない	5.0
3 どちらかといえば重要だと思わない	1.9		(無回答 1.4)

※ **地産地消**とは、地域の需要に即した生産を行い、その産物を地域で消費するための取組みのことをいいます。

問10 「かながわブランド」※という言葉の意味について知っていますか。

(○は1つ)  
(n=1,905) (%)

1 知っている	25.0	3 知らなかった	30.7
2 言葉は聞いたことがある	42.9		(無回答 1.3)

※ **かながわブランド**とは、県と生産者団体が構成する「かながわブランド振興協議会」が登録する、組織的な生産・出荷基準によって品質を確保するなどの要件を満たした農林水産物やその加工品のことをいいます。

問11 環境に配慮した農林水産物や食品※を選ぶよう心掛けていますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 心掛けている	13.2	4 心掛けていない	16.6
2 どちらかといえば心掛けている	43.8	5 分からない	6.8
3 どちらかといえば心掛けていない	18.5		(無回答 1.2)

※ **環境に配慮した農林水産物や食品**とは、近隣の地域で生産されたものや、有機JASマークなど環境への配慮に関する表示のあるもの、過剰包装ではないものなどのことをいいます。

## 4 かながわの水源地域

問 12 県にあるダム湖（ダム）のうち、知っているものを選んでください。 (○はいくつでも)  
(n=1,905) (%)

1 相模湖（相模ダム）	83.0	4 丹沢湖（三保ダム）	61.2
2 奥相模湖（道志ダム）	22.2	5 宮ヶ瀬湖（宮ヶ瀬ダム）	71.8
3 津久井湖（城山ダム）	60.2	6 どれも知らなかった	5.7
（無回答 1.2）			

問 13 水源地域※で参加したい活動はありますか。 (○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 カヌーなどのスポーツ体験	21.4	6 工芸品などの工作体験	21.3
2 野菜や果物の収穫体験	32.6	7 地域のお祭りなどの運営体験	7.1
3 くんせい作りなどの自然を生かした食品 作り体験	20.9	8 その他	1.6
4 まき割りや森林での間ばつなどの林業体験	12.7	9 特にない	34.8
5 山登りなどの自然体験	23.4	10 分からない	3.1
（無回答 1.7）			

※ 水源地域とは、水道水源としてのダム湖（相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖及び宮ヶ瀬湖）が位置する地域である相模原市（城山地区、津久井地区、相模湖地区及び藤野地区）、山北町、愛川町、清川村のことをいいます。

問 14 「やまなみ五湖」※に関する観光やグルメなどの情報収集をする場合、どの手段を利用したいと思いますか。 (○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 パンフレット	28.0	6 Instagram	22.7
2 ポスター・チラシ	21.4	7 その他	1.5
3 ホームページ	56.6	8 特にない	11.2
4 YouTube などの動画媒体	26.5	9 分からない	5.8
5 X（旧 Twitter）	11.9	（無回答 1.4）	

※ やまなみ五湖とは、県の北西部にある、相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖及び宮ヶ瀬湖の5つのダム湖の総称のことをいいます。

## 5 地域社会との関わり

問 15 長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしていますか。  
(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 そう思う	65.2	2 そう思わない	32.3	(無回答 2.5)
--------	------	----------	------	-----------

## 6 地域活動

問 16 地域活動(※1)の情報をどこで入手していますか。(○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 回覧板	52.3	6 その他	1.2
2 地域の掲示板	34.6	7 どこからも入手していない	11.8
3 自治体の刊行物やホームページなど	37.6	8 分からない、覚えていない	0.9
4 家族や友人、知人からのクチコミ	27.4		
5 個人や団体のチラシやホームページ、ブログ、SNS(※2)など	17.4	(無回答 1.4)	

※1 ここでいう**地域活動**とは、住民などの地域の人が自ら、地域の問題の解決や、生活をより良くするために、様々な活動や取組みのことをいいます。

※2 **SNS**とは、ソーシャルメディアの一つで、例えばX(旧Twitter)、Facebook、Instagramなどのことをいいます。

問 17 地域活動に参加したいと思いませんか。(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 そう思う	32.2	3 分からない	29.8
2 そう思わない	35.7	(無回答 2.2)	

→【問 17 で 2 を選んだ方へ】

問 17-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも) (n=681) (%)

1 負担が大きいと感じるため	50.7	5 興味がないため	29.4
2 人間関係で苦労しそうのため	45.2	6 その他	5.4
3 時間に余裕がないため	51.5	7 特に理由はない	2.3
4 どんな活動があるか知らないため	16.2	(無回答 -)	

問 18 どのような地域活動があれば参加してみたいですか。(○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 お祭りなどのイベント	37.3	7 子どもや親子向けの活動	14.3
2 ゴミ拾いなどの美化活動	22.8	8 コミュニティカフェなど居場所づくりに関する活動	16.2
3 ガーデニングや植物の手入れなどの活動	13.8	9 新たな活動の立ち上げ	4.0
4 防災に関する活動	27.1	10 その他	1.9
5 スポーツなど体を動かす活動	22.2	11 参加したい活動はない	20.9
6 高齢者や障がい者支援など福祉に関する活動	10.7	(無回答 3.9)	

## 7 治安対策

問 19 不安に感じる身近な犯罪は何ですか。 (○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 ひったくり	34.4	7 傷害、強盗などの暴力行為を伴う犯罪	51.5
2 特殊詐欺(※1)や SNS 型投資・ロマンス詐欺(※2)	48.6	8 自転車や自動車などの乗り物の盗難	34.2
3 空き巣	61.0	9 インターネットを利用した犯罪(※3)	54.5
4 子どもの誘拐や子どもへのいたずら	36.7	10 大麻や覚醒剤などの薬物犯罪	12.9
5 痴漢や不同意わいせつなどの性犯罪	31.4	11 その他	2.7
6 ストーカー行為	23.5	12 特になし	2.2
		(無回答)	1.6

※1 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みなどにより、不特定多数の者から現金などをだまし取る犯罪のことをいいます。

※2 SNS 型投資・ロマンス詐欺とは、SNS などを通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、指定した預貯金口座への振込みなどにより金銭などをだまし取る犯罪のことをいいます。

※3 インターネットを利用した犯罪とは、コンピューターへの不正アクセス、詐欺、ネットポルノ、児童買春などのことをいいます。

問 20 防犯や交通安全の情報について、得やすいのはどのような方法ですか。 (○はいくつでも) (n=1,905) (%)

1 テレビ	74.4	8 警察からのインターネットでの情報発信※	24.5
2 ラジオ	13.1	9 警察からのメール	8.3
3 新聞	21.9	10 警察官の防犯・交通安全教室	3.4
4 ポスター・チラシなど	25.3	11 警察官の戸別訪問	4.4
5 回覧板	32.3	12 その他	5.5
6 防災無線	16.7	13 特になし	2.4
7 駅前などでのキャンペーン	10.2	(無回答)	1.4

※ 警察からのインターネットでの情報発信とは、警察のホームページ、X (旧 Twitter)、「Yahoo! 防災速報」、神奈川県警察公式の YouTube チャンネルやモバイルアプリ「かながわポリス」などのことをいいます。

問 21 犯罪や交通事故がなく、より安心してくらすために重要だと思うものは何ですか。 (○は3つまで) (n=1,905) (%)

1 防犯カメラなどの防犯設備の整備	74.5	7 交通指導取締りの強化や交通違反などの厳罰化	22.0
2 地域住民同士のつながり	34.0	8 制服警察官、パトカーによる警戒・検問活動	31.4
3 県民や企業と行政が一体となって行う防犯・交通安全活動	14.6	9 運転に不安を覚える方への安全運転相談	8.0
4 防犯、交通安全などの規範意識を高める教育	19.9	10 その他	3.2
5 ボランティアなどによる防犯・交通安全活動	5.5	11 特になし	1.0
6 信号機、道路標識などの交通安全施設の整備	21.4	(無回答)	7.8

## 8 地震対策の取組み

問 22 家では、大きな地震に備えて、どのような対策をとっていますか。 (○はいくつでも)  
(n=1,905) (%)

1 持出品の準備や食料などの備蓄	68.7	6 防災訓練に積極的に参加	7.0
2 住まいの耐震化	18.8	7 感震ブレーカー※などの設置	7.2
3 家具・家電などの固定	37.9	8 消火器の設置	21.6
4 避難場所や避難経路の確認	37.7	9 その他	0.7
5 家族と連絡方法の確認	35.3	10 特に対策はとっていない	10.4
(無回答 0.8)			

県では、首都直下地震や南海トラフ地震、県西部地震の発生の切迫性が指摘されるなど、大規模地震に対する備えが重要な課題となっています。

※ 感震ブレーカーとは、揺れを感知して電気を止める器具のことをいいます。

## 9 自転車ヘルメットの着用

問 23 自転車に乗るときは、ヘルメットを着用するよう気をつけていますか。 (○は1つ)  
(n=1,905) (%)

1 常に気をつけている	7.1	4 自転車に乗ることはない	56.0
2 時々気をつけている	6.6		
3 気をつけていない	27.7		(無回答 2.6)

【問 23 で 2、3 を選んだ方へ】

問 23-1 ヘルメットを着用するよう常に気をつけていない理由は何ですか。 (○はいくつでも)  
(n=654) (%)

1 髪型が乱れるから	20.8	6 購入する金銭的負担が大きいから	18.7
2 見た目がよくないから	18.5	7 着用しないことによる危険性を感じないから	19.1
3 暑い、蒸れるなど不快に感じるから	49.5	8 その他	10.7
4 着用や準備が面倒だから	43.9	9 特にない、分からない	5.7
5 ヘルメットを保管する場所がないから	20.6		(無回答 0.8)

## 10 スポーツ

問 24 体力に自信はありますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 ある	7.7	3 どちらかといえない	35.8	5 分からない	6.8
2 どちらかといえばある	31.4	4 ない	17.5	(無回答)	0.8

問 25 この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツ※をした日数はどのくらいになりますか。

(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 週に5日以上	12.9	6 3か月に1～2日程度	6.7
2 週に3日程度	16.2	7 年に1～3日程度	6.8
3 週に2日程度	13.0	8 まったく行わない	16.2
4 週に1日程度	12.3	9 分からない	3.2
5 月に1～3日程度	12.0	(無回答)	0.5

※ 1回10分程度の運動やスポーツを合計して30分でも構いません。また、レクリエーションとして行う身体活動やウォーキングなどの軽度の運動も含まれます。

問 26 日常の中で無理なく習慣として続けられる運動の時間※はどのくらいだと思いますか。

(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 1日5分程度	10.9	5 1日60分程度	9.6
2 1日10分程度	19.9	6 1日60分以上	2.9
3 1日15分程度	20.9	7 無理なく運動を続けることは難しい	6.6
4 1日30分程度	25.8	8 分からない	2.7
		(無回答)	0.7

※ レクリエーション活動やウォーキング、家でできる体操や筋力トレーニングも含まれますが、日常生活を行う上での歩く時間は除きます。また、朝に5分、夜に5分など、継続していない場合でも、合計の運動時間でお考えください。

問 27 スポーツ推進に係る取組みについて、知っているものを選んでください。 (○はいくつでも)

(n=1,905) (%)

1 3033 (サンマルサンサン) 運動 (※1)	4.3	3 かながわパラスポーツ (※3)	5.3
2 総合型地域スポーツクラブ (※2)	6.3	4 どれも知らなかった	85.3
		(無回答)	1.6

※1 **3033 (サンマルサンサン) 運動**とは、運動やスポーツを1日30分、週3回、3か月間継続して行い、くらしの一部として習慣化する取組みのことをいいます。

※2 **総合型地域スポーツクラブ**とは、地域住民によって自主的・主体的に運営され、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)スポーツクラブのことをいいます。

※3 **かながわパラスポーツ**とは、すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えることをいいます。

## 11 ともに生きる社会かながわ

問 28 共生社会（ともに生きる社会）※という考え方を知っていますか。（○は1つ）（n=1,905）（%）

1 知っている	27.5	2 言葉は聞いたことがある	38.1	3 知らなかった	33.1
（無回答 1.3）					

※ 共生社会（ともに生きる社会）とは、障がいの状態や程度にかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いに尊重し、支え合ってくらすことを目指す社会のことをいいます。

問 29 「ともに生きる社会かながわ憲章」を知っていますか。（○は1つ）（n=1,905）（%）

1 知っている	5.5	2 言葉は聞いたことがある	22.8	3 知らなかった	70.2
（無回答 1.5）					

県では、ともに生きる社会かながわの実現をめざし、2016年10月に「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めました。

### ともに生きる社会かながわ憲章

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます



問 30 障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だという考え方について、どう思いますか。（○は1つ）（n=1,905）（%）

1 そう思う	58.6	3 どちらかといえばそう思わない	5.4
2 どちらかといえばそう思う	31.5	4 そう思わない	1.9
（無回答 2.6）			

問 31 障がいのある人は、日ごろの生活の中で、施設や設備、制度などがなかったり、障がいへの理解が足りなかったりすることで、困りごとや不自由さ※を感じていると思いますか。(○は1つ)  
(n=1,905) (%)

1 感じていると思う	52.9	4 感じていないと思う	1.5
2 どちらかといえば感じていると思う	30.7	5 分からない	10.6
3 どちらかといえば感じていないと思う	2.5	(無回答)	1.9

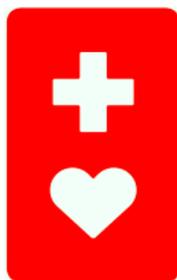
※ ここでいう困りごとや不自由さとは、例えば、障がいを理由に、「診療を断られる」、「契約を断られる」、「避難場所などで我慢している」、「ヘルパーが足りず、自宅で生活できない」ことなどをいいます。

問 32 障がい者に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。(○は1つ)  
(n=1,905) (%)

1 あると思う	43.7	3 あまりないと思う	8.7	5 分からない	5.7
2 少しはあると思う	37.3	4 ないと思う	3.0	(無回答)	1.6

問 33 「ヘルプマーク」を知っていますか。(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 知っている	72.3	2 マークを見聞きしたことはあるが、 意味は知らなかった	10.6	3 知らなかった	15.5
				(無回答)	1.5



ヘルプマークとは、外見から分からなくても援助や配慮を必要とする方が援助を得やすくなるよう、東京都が考案したマークのことをいいます。県でもその目的に賛同し、普及・啓発を進めています。マークの実際の背景色は赤色です。

詳細は、下記HPをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yv4/cnt/f536306>

問 34 手話やろう者についての理解を深めるために、手話を学ぶとしたら、最も学びたい方法はどれですか。(○は1つ) (n=1,905) (%)

1 手話講習会	27.2	6 学校教育	5.6
2 手話サークル	7.7	7 その他	0.9
3 インターネット	23.1	8 学びたいとは思わない	10.3
4 本・DVD	3.1	9 分からない	10.6
5 テレビ番組	6.9	(無回答)	4.6

## 12 受動喫煙

問 35 受動喫煙（※1）により、どのような健康への影響があると思いますか。（○はいくつでも）  
 (n=1,905) (%)

1 肺がんなどの生活習慣病の危険性を高める	91.4	
2 子どもの肺炎、中耳炎などの危険性を高める	44.7	
3 乳幼児突然死症候群（※2）の危険性を高める	37.2	
4 妊婦の早産や低体重児（※3）出生の危険性を高める	61.0	
5 その他	1.5	
6 特に健康への影響はないと思う	1.6	
7 分からない	3.6	（無回答 1.5）

※1 受動喫煙とは、自分の意思とは関係なく、周りの人のたばこの煙にさらされることをいいます。

※2 乳幼児突然死症候群とは、何のきざしや病歴もないまま乳幼児が死に至る、原因の分からない病気のことをいいます。

※3 低体重児とは、出生体重 2500g 未満の新生児のことをいいます。

問 36 たばこの健康被害や受動喫煙防止に関して、学校などで教わる時期はいつがよいと思いますか。（○はいくつでも） (n=1,905) (%)

1 小学校	68.6	4 短大・大学・専修学校など	14.5
2 中学校	67.5	5 その他	1.7
3 高等学校	42.8	6 分からない	2.0

（無回答 1.1）

問 37 受動喫煙を防ぐために、県にどのようなことを期待しますか。（○は3つまで） (n=1,905) (%)

1 受動喫煙による健康被害についての普及啓発	43.7	7 受動喫煙を防ぐための規制の強化	34.5
2 喫煙者へのマナー向上のための啓発	52.2	8 規制によらない自主的な取組みの促進	5.0
3 たばこをやめたい人への禁煙サポート	24.1	9 その他	4.4
4 未成年者への喫煙防止教育	40.1	10 特にない	2.9
5 健康増進法や条例※の着実な運用	11.6	11 分からない	2.2
6 規制により受動喫煙対策を行う施設への支援	9.0		

（無回答 4.5）

※ ここでいう条例とは、神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例のことをいいます。

## 13 肝炎対策

問 38 「ウイルス性肝炎」※という病気を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 知っている	52.2	2 言葉は聞いたことがある	36.0	3 知らなかった	10.3
(無回答 1.5)					

※ **ウイルス性肝炎**とは、肝炎ウイルスにより肝臓の細胞が破壊され炎症が起きる病気のことをいいます。日本では特にB型、C型肝炎にかかる人が多くなっており、肝硬変や肝がんなどの命に関わる病気に進行することもあります。

問 39 これまでに「肝炎ウイルス検査」※を受けたことがありますか。 (○は1つ) (n=1,905) (%)

1 ある	16.9	3 ない	60.8	(無回答 1.7)
2 受けた可能性がある	7.9	4 分からない	12.7	

※ **肝炎ウイルス検査**は、本人が自覚的に受ける場合のほか、大きな外科手術（全身麻酔での手術で1993年以降に経験）、妊娠・出産（1993年以降に経験）及び献血（1990年以降に経験）をしたときに無自覚に受けた可能性があります。

【問 39 で 1、2 を選んだ方へ】

問 39-1 検査の結果を知っていますか。 (○は1つ) (n=471) (%)

1 知っている	74.5	3 分からない、覚えていない	19.7
2 知らない（結果待ちを含む）	4.9	(無回答 0.8)	

…\*\*

最後に、集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。（個人を特定するものではありません。）

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1,905) (%)

1 横浜（横浜市）	38.6
2 川崎（川崎市）	17.0
3 相模原（相模原市）	7.0
4 横須賀三浦（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）	6.7
5 県央（厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）	11.2
6 湘南（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）	14.4
7 県西（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）	3.8
(無回答 1.3)	

F 2 差し支えなければ、あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,905) (%)

1 男性	43.4	2 女性	53.4	(無回答 3.1)
------	------	------	------	-----------

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。(2025年9月1日現在) (n=1,905) (%)

1	18～19歳	-	5	35～39歳	6.6	9	55～59歳	11.7	13	75～79歳	7.9
2	20～24歳	1.8	6	40～44歳	7.9	10	60～64歳	10.2	14	80歳以上	4.1
3	25～29歳	3.4	7	45～49歳	9.9	11	65～69歳	8.3			
4	30～34歳	4.8	8	50～54歳	11.0	12	70～74歳	7.6		(無回答)	4.8

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものをすべて選んでください。(同居、別居は問いません。) (n=1,905) (%)

1	小学校入学前	6.8	5	短大、専門学校等在学中	0.8	9	その他	2.7
2	小学校在学中	10.4	6	大学、大学院等在学中	8.3	10	子どもはいない	30.6
3	中学校在学中	7.1	7	学校教育終了 [未婚]	22.3			
4	高校在学中	6.5	8	学校教育終了 [既婚]	22.5			(無回答) 5.5

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。 (n=1,905) (%)

1	一人暮らし (単身世帯)	16.1	4	祖父母と親と子の世帯 (3世代世帯)	3.6
2	夫婦のみ (1世代世帯)	27.8	5	その他の世帯	4.1
3	親と子の世帯 (2世代世帯)	43.4			(無回答) 5.0

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。  
また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,905) (%)

(n=1,191) (%)

1	自営業主	5.0	ア～ウから 1つ選んで ください。	ア	農林水産業	0.4
2	家族従業者 (家業手伝い)	1.2		イ	商工サービス業 (各種商店、飲食店、工事店などの経営)	4.4
3	勤め (フルタイム)	40.9	エ～ケから 1つ選んで ください。	ウ	自由業 (開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	4.5
4	勤め (パートタイム)	15.2		エ	経営・管理職 (会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	7.1
5	内職	0.2		オ	専門・技術職 (研究員、技術者、勤務医、看護師など)	23.9
6	主婦・主夫 (勤めていない)	13.2		カ	事務職 (事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	24.5
7	学生	0.9		キ	教育職 (教諭、保育士など)	4.9
8	無職	14.4		ク	技能・労務職 (工場の生産工程従事者、運転士など)	9.2
9	その他	2.4		ケ	販売・サービス職 (商店、サービス業などの従業員)	18.3
	(無回答)	6.7				(無回答) 2.8

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、9月30日（火）までにご投函ください。（切手は不要です。）

なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。

ご意見やご提案を希望するテーマの番号に○をつけてください。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1 食の安全・安心    | 8 地震対策の取組み       |
| 2 食・食育       | 9 自転車ヘルメットの着用    |
| 3 かながわの農林水産業 | 10 スポーツ          |
| 4 かながわの水源地域  | 11 とともに生きる社会かながわ |
| 5 地域社会との関わり  | 12 受動喫煙          |
| 6 地域活動       | 13 肝炎対策          |
| 7 治安対策       |                  |

下記にその内容をご記載ください。

310人（16.3%）から自由意見が寄せられました。

